

福知山市子ども・子育て支援事業計画の策定に係る
子育てニーズアンケート調査

【結果報告書】

令和6年7月

福知山市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的	2
2 調査の概要	2
3 報告書の見方	2
II. 調査結果の概略	3
1 子どもや家族の状況等について	4
2 子育てについて	4
3 保護者の就労状況、職場の両立支援制度等について	5
4 子ども・子育て支援事業について	6
5 子育て支援施策について	8
III. 調査結果	9
1 お住まいの地域・ご家族の状況等について	10
2 子どもの育ちをめぐる環境について	16
3 保護者の就労状況について	37
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）	47
5 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）	57
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）	64
7 病気の際の対応について	71
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	79
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について	86
10 職場の両立支援制度について（就学前児童）	105
11 子育て支援対策について	121

I . 調査の概要

1 調査の目的

福知山市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、令和 7 年度から 5 年間の第二期とする「子ども・子育て支援事業計画」を作成する予定です。

本調査は、教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後のニーズを把握し、計画策定の資料とするため実施しました。

2 調査の概要

●調査地域：福知山市全域

●調査対象者：福知山市内在住の「就学前児童」をお持ちの保護者（就学前児童調査）

福知山市内在住の「小学生児童」をお持ちの保護者（小学生児童調査）

●抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童 1,300 人、小学生 1,000 人の合計 2,300 人を無作為抽出

●調査期間：令和 6 年 2 月 5 日（月）～令和 6 年 2 月 19 日（月）

●調査方法：郵送配布・郵送（WEB 回答可能）回収による郵送調査法

●調査票の回収率

調査票	調査対象者数 （配布数）	有効回収数	有効回収率
就 学 前 児 童	1,300	507	39.0%
小 学 生 児 童	1,000	367	36.7%
合 計	2,300	874	38.0%

3 報告書の見方

●調査票回収の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ．調査結果の概略

1 子どもや家族の状況等について

(1) 子どもの人数

子どもの人数については、就学前児童は「1人」が6割近く、小学生児童は「2人」が5割近くで最も高くなっています。

(2) 家族の状況

子どもの祖父母が近くに住んでいるかについては、「住んでいる」と回答された就学前児童が6割を超え、小学生児童では7割を超えています。

子育てを主に行っているのは誰かについては、就学前児童と小学生児童とも「父母ともに」が最も多くなっています。

2 子育てについて

(1) 子育てについての不安や悩み

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童と小学生児童とも6割となっています。一方、「子どもをみてもらえる親族・知人がいずれもない」が就学前児童は2割、小学生児童は1割となっています。祖父母等の親族にみてもらっている状況について、就学前児童の令和5年度調査結果は令和元年度調査結果に比べて「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」や「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が高くなっています。

子育てについて感じる気持ちについては、「楽しい」（「とても楽しい」と「楽しい」の合計）が就学前児童で6割超え、小学生児童で7割近くになっています。一方、「不安又は負担を感じる」（「少し不安又は負担を感じる」と「とても不安又は負担を感じる」の合計）就学前児童と小学生児童の保護者ともに3割で、保護者の少なくない割合が子育てに不安や負担を感じていることがわかります。

子育てをする上で、子どものことで日頃悩んでいることや不安に感じることにについては、就学前児童では「子どものしつけ」と「子どもの教育や将来の教育費」が5割となっています。小学生児童では「子どもの教育や将来の教育費」が5割超え、「学力」が4割近くとなっています。

子育てをする上で、保護者が日頃悩んでいることや不安に感じることにについては、「子どもを叱りすぎているような気がする」が就学前児童3割近くになっていますが、令和元年度調査結果に比べて減少傾向にあります。

子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はあるかについては、「ない」が就学前児童で1割、小学生児童で2割程みられます。

就学前児童と小学生児童の保護者の相談相手として、「祖父母等の親族」「友人や知人」が7から8割となっています。特に就学前児童で「祖父母等の親族」に限れば8割を超えており、子育ての相談先に身近な親族が大きな役割を果たしていることがうかがえます。一方、小学生児童で「学校の先生」が2割となっているものの、その他の公的機関等への相談は1割に満たない状況です。

（２）地域の状況

近所や地域の人々との付き合いについては、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が就学前児童は５割、小学生児童は４割近くで最も多い結果となっています。

子どもの催しへの参加状況については、就学前児童では「子育て支援サークルの活動」が２割、小学生児童では「スポーツ活動」が５割近くとなっています。令和元年度調査結果に比べて令和５年度調査結果では、小学生児童の「子ども会等の青少年団体活動」の割合が高くなっています。

就学前児童に比べて小学生児童の方が、比較的近所付き合いがあり、地域の催しへの参加する割合も高いことがわかります。

（３）就学前児童の遊び場の状況

子どもが日中どこで遊ぶことが多いかについては、「自宅」が６割、「公園」が２割となっています。

遊び場で困ること・困ったことについては、「雨の日に遊べる場所がない」が７割に迫っており、「遊具などの種類が充実していない」が３割超え、「近くに遊び場がない」が３割となっています。

子どもと外出する際に、困ること・困ったことについては、「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」が４割を超えたほか、「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」、「オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」が３割近くとなっています。令和元年度調査結果に比べて令和５年度調査結果では、「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」の割合が高く、「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」「歩道の段差などベビーカー等の通行が困難」の割合が低くなっており、就学前児童のための施設や設備の充実が望まれています。

３ 保護者の就労状況、職場の両立支援制度等について

（１）保護者の就労状況・就労意向

母親の就労状況について「就労している」（「フルタイム」「パート・アルバイト等」（産休・育休・介護休業中を含む））をみると、就学前児童で８割、小学生児童で９割となっています。特に就学前児童の令和元年度調査結果に比べて、フルタイムで就労する母親の割合が高くなっています。

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で４割超、小学生児童で５割となっています。就学前児童の令和元年度調査結果に比べて、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が低くなっています。

現在就労していない母親の就労希望については、「今は子育てに専念したい」の割合が小学生児童で３割となっています。一方で、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が就学前児童で３割近く、小学生児童で３割となっています。「１年より先、一番下の子どもがある年齢になったところには就労したい」も就学前児童で４割超えるなど、子育てしつつ早期に就労したいという希望が高くなっています。

子ども・子育て支援事業の提供体制の整備にあたっては、保護者の就労状況や就労意向を踏まえながらきめ細かく行っていく必要があります。また、就学前児童の母親のフルタイム勤務に対応した支援の充実が必要です。

（２）職場の両立支援制度の利用状況（就学前児童のみ）

子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況について「取得した（取得中である）」は、母親で６割、父親で２割近くとなっています。令和元年度調査結果に比べて、母親と父親とも「取得した（取得中である）」の割合が高くなっています。

育児休業を取得していない理由については、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が３割、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が３割近くとなっています。父親では、「仕事が忙しかった」と「配偶者が育児休業制度を利用した」が４割となっています。令和元年度調査結果に比べて、母親の「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が低く、父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」の割合が高くなっています。

また、母親に比べて父親では「配偶者が育児休業制度を利用した」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が高くなっており、未だに父親が育児休業制度を取得しにくい環境にあることがうかがえます。

４ 子ども・子育て支援事業について

（１）平日の定期的な教育・保育事業（就学前児童のみ）

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」が７割、「利用していない」が３割となっています。

利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が５割、次いで「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」が４割に届かない程度の割合となっています。令和元年度調査結果に比べて、「利用したいが、幼稚園や保育園（所）に空きがない」の割合が高くなっています。

現在、平日にどのような教育・保育事業を定期的に利用しているかについては、「保育園（所）」が４割超え、「認定こども園」が４割近くとなっており、令和元年度調査結果に比べて「認定こども園」の利用が増えています。

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業については、「保育園（所）」が６割近く、「認定こども園」が５割近く、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」が２割近くとなっています。利用状況と同様に、「認定こども園」の利用希望が増えています。

（２）地域子育て支援拠点事業（就学前児童のみ）

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業」が２割超えとなっています。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「利用していないが、今後利用したい」が３割近く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が１割となっています。

（３）子育てサービスの認知度と利用経験、今後の利用意向等（就学前児童のみ）

子育てに関する機関や子育てサービスの事業で知っているものについては、「福知山市発行の『子育てガイド』」「保健福祉センターの子育て相談事業」「保健福祉センターの教室（離乳教室等）」「保健福祉センターのパパ・ママ学級」「保育園（所）の園庭開放や子育て講座」が５割以上と、認知度が高くなっています。

利用したことがある事業については、「保健福祉センターのパパ・ママ学級」「児童館の活動」「保健福祉センターの教室（離乳教室等）」「福知山市発行の『子育てガイド』」の順で、2割を超える方が利用経験ありと回答されています。

今後利用したいと思う事業については、「児童館の活動」が3割と利用意向が高くなっています。

（４）病児・病後児保育事業

この1年間に、子どもが病気やケガで幼稚園、保育園（所）、または、小学校を休んだことの有無については、「あった」が就学前児童で10割近く、小学生児童で8割超えとなっています。

子どもが病気やケガの際、この1年間に行った対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が就学前児童で8割、小学生児童で7割超えとなっています。令和元年度調査結果に比べて就学前児童と小学生児童とも、「父親が休んだ」の割合が高く、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が低くなっています。

子どもが病気やケガの際、父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについては、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で2割超え、小学生児童でも1割となっています。仕事を休んでみることができなかった理由について、令和元年度調査結果に比べると、就学前児童と小学生児童とも「休暇日数が足りないので休めない」の割合が高くなっています。

（５）一時預かり（就学前児童のみ）

保護者の用事や病気等で不定期に利用することができる一時預かりの事業を、利用しているかどうかについては、「利用していない」が9割となっています。

保護者の用事で、事業を利用したことがある保護者では、今後も事業を利用する必要・希望があるかについては、「利用したい」が8割となっています。

不定期に利用したい事業の目的別内訳については、「私用、リフレッシュ目的」が7割近く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が6割となっています。令和元年度調査結果に比べて、「私用、リフレッシュ目的」と「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院」の割合が高くなっています。

（６）放課後児童クラブ

就学前児童が、小学校就学後に放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、小学校低学年では「自宅」が4割、「放課後児童クラブ」が6割となっています。小学校高学年では「自宅」が7割近く、「習い事」が4割、「放課後児童クラブ」が3割超となっています。令和元年度調査結果に比べて、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

小学生児童で、子どもが放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしているかについては、「自宅」が8割近く、「習い事」が3割超、「放課後児童クラブ」が3割近くとなっています。令和元年度調査結果に比べて、「自宅」と「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

5 子育て支援施策について

(1) 望ましい子育て支援施策

望ましい子育て支援施策については、「子育てにおける経済的負担の軽減」が就学前児童・小学生児童ともに7割を超えており、「子育てのための安心、安全な環境整備」「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が就学前児童・小学生児童ともに5割を超えています。

(2) 子育てに必要な施策などの情報の入手方法

子育てに必要な施策などの情報をどのように入手しているかについては、「市町村の広報やパンフレット」が就学前児童で5割、小学生児童で6割近くとなるなど、本来的な役割を果たしている一方で、「インターネット」が就学前児童で6割近く、小学生児童で5割にのぼり、いずれも重要な情報源であることがうかがえます。令和元年度調査結果に比べて、就学前児童と小学生児童とも「インターネット」の割合が高くなっています。

また、「友人・知人」が就学前児童で4割近く、小学生児童で4割、「保育園（所）、幼稚園、学校」が就学前児童・小学生児童ともに3割を超え、保護者にとって身近な人や機関から情報を入手していることがうかがえます。

(3) 乳幼児期の幼稚園・保育園（所）等の望ましいと思う役割（小学生児童のみ）

乳幼児期の幼稚園・保育園（所）等の望ましいと思う役割については、「集団の中で社会性や協調性を身につけられる」が8割、「親から離れて過ごすことで自立心が養われる」が5割近く、「小学校入学までに必要な幼児教育を受けられる」が4割度、「親の働く時間に合わせて預けられる」が3割超えとなっています。

幼稚園・保育園（所）は、協調性や自立心など、乳幼児期の子どもの育ちを確保するとともに、小学校へのつながりを配慮した幼児教育が求められていることがうかがえます。

(4) これからも子どもに福知山市で育ってほしいと思うか（小学生児童のみ）

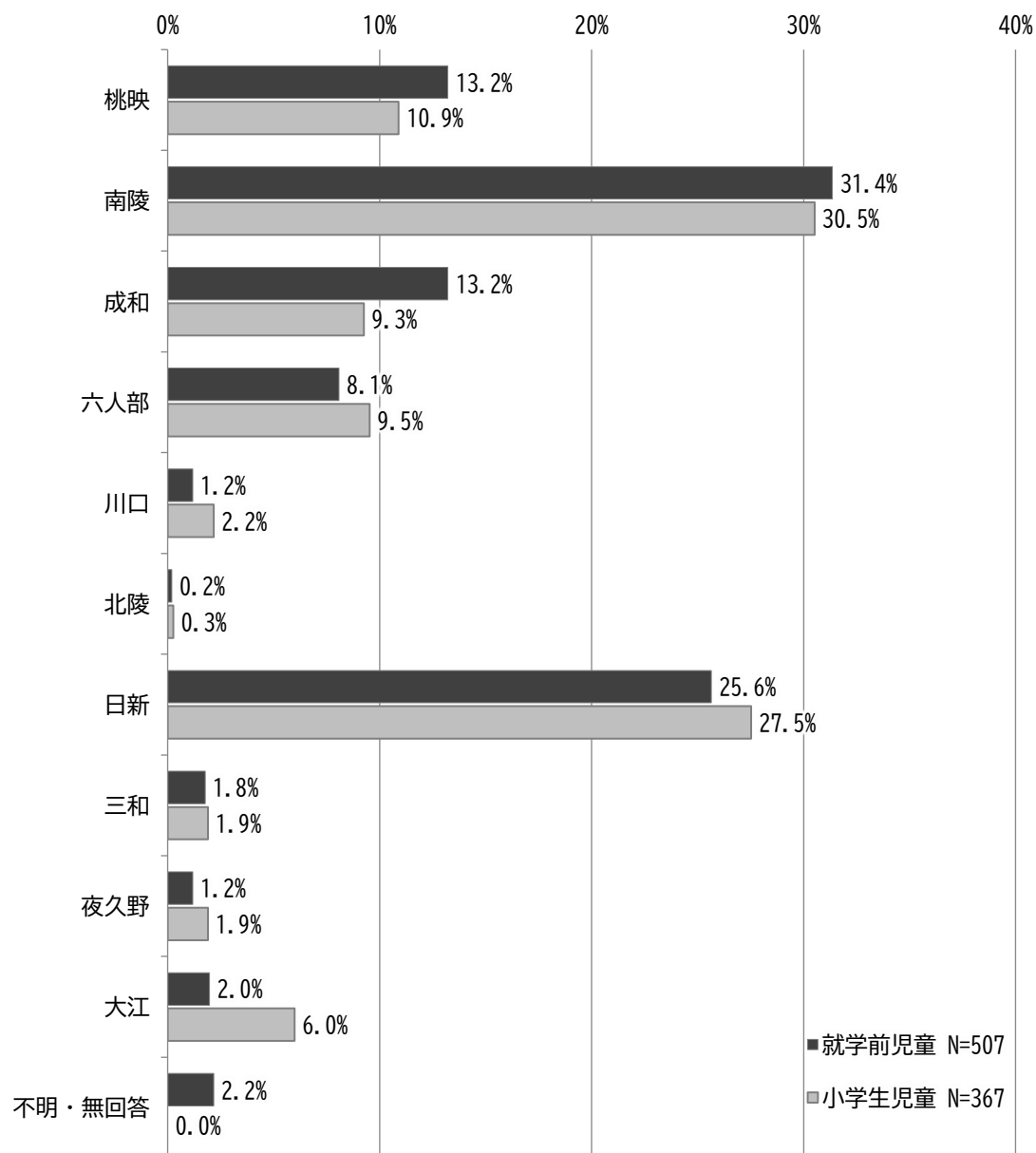
これからも子どもに福知山市で育ってほしいと思うかについては、「そう思う」（「そう思う」と「どちらかというとそう思う」の合計）が6割超えとなっています。

Ⅲ. 調査結果

(就学前児童調査・小学生児童調査)

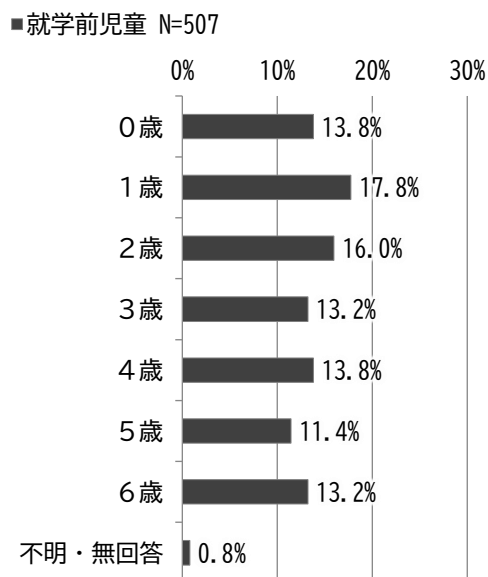
1 お住まいの地域・ご家族の状況等について

(1) 居住地域〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

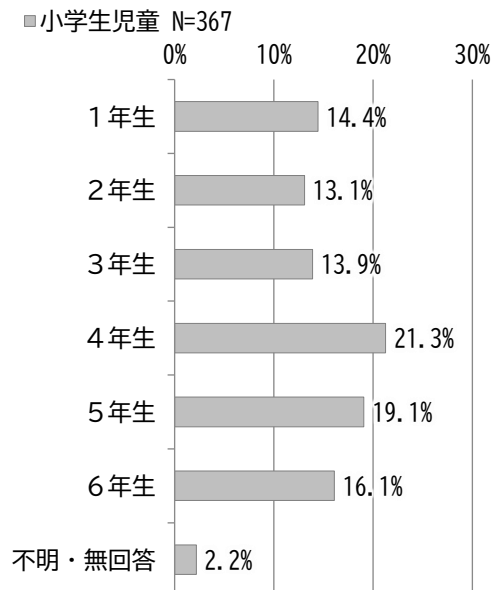


(2) 対象の子どもの生年月〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

[就学前児童]

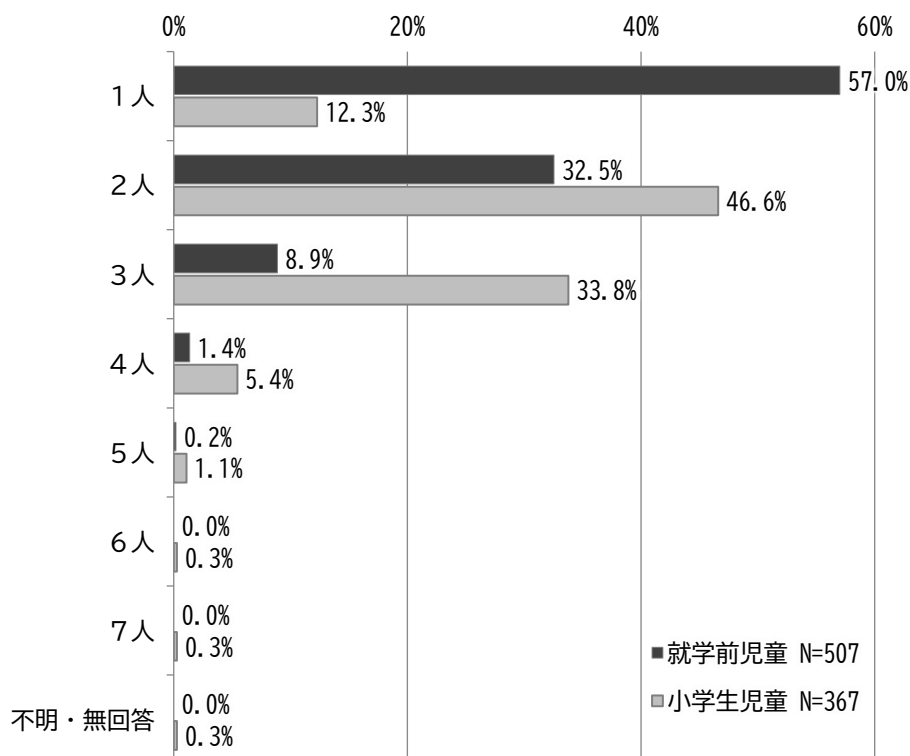


[小学生児童]



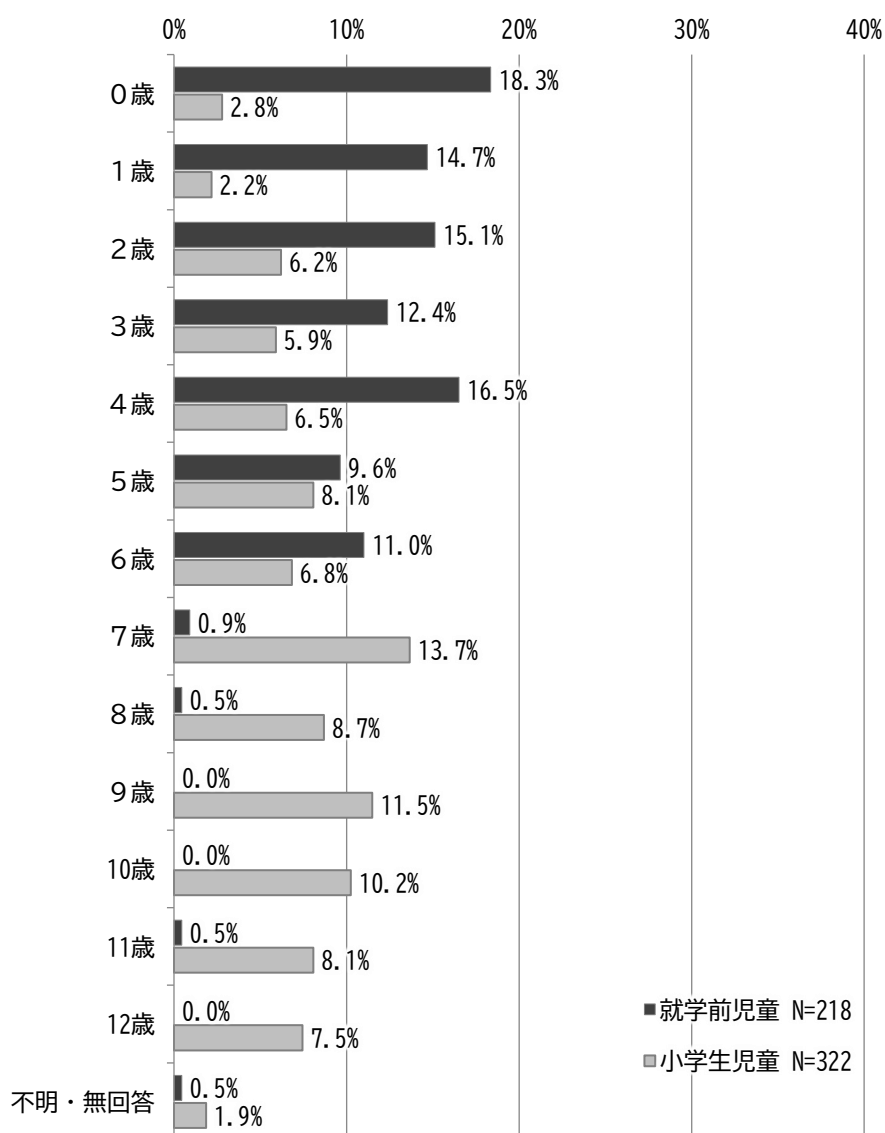
(3) 子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

子どもの人数については、就学前児童では「1人」が57.0%、次いで「2人」が32.5%となっています。小学生児童では「2人」が46.6%と最も高く、「3人」が33.8%となっています。



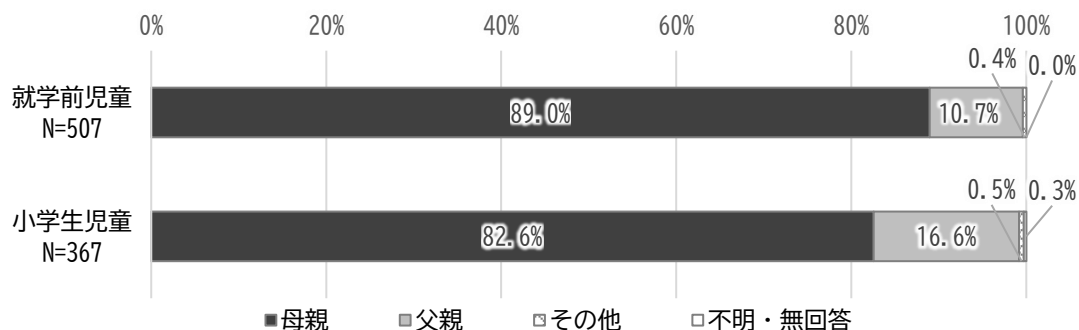
子どもが2人以上いる場合の末子の年齢については、就学前児童では「0歳」が18.3%と最も高く、次いで「4歳」が16.5%となっています。小学生児童では「7歳」が13.7%と最も高く、次いで「9歳」が11.5%となっています。

◎子どもが2人以上いる場合の末子の年齢〈数量回答〉

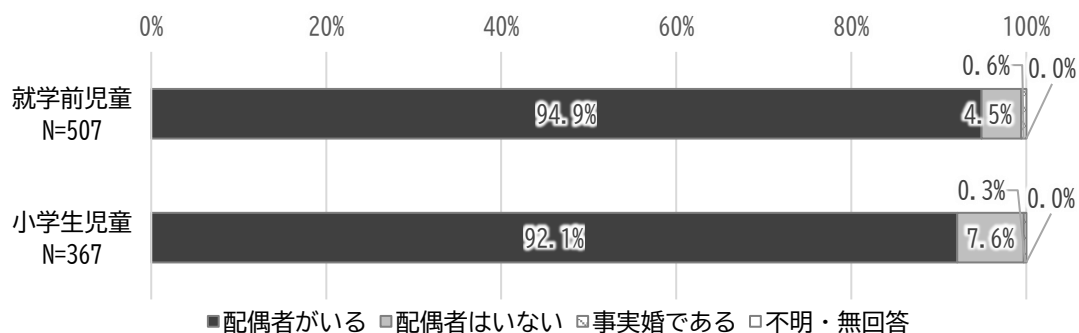


(4) 調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

回答者については、就学前児童、小学生児童ともに「母親」がそれぞれ 89.0%、82.6%と最も高くなっています。

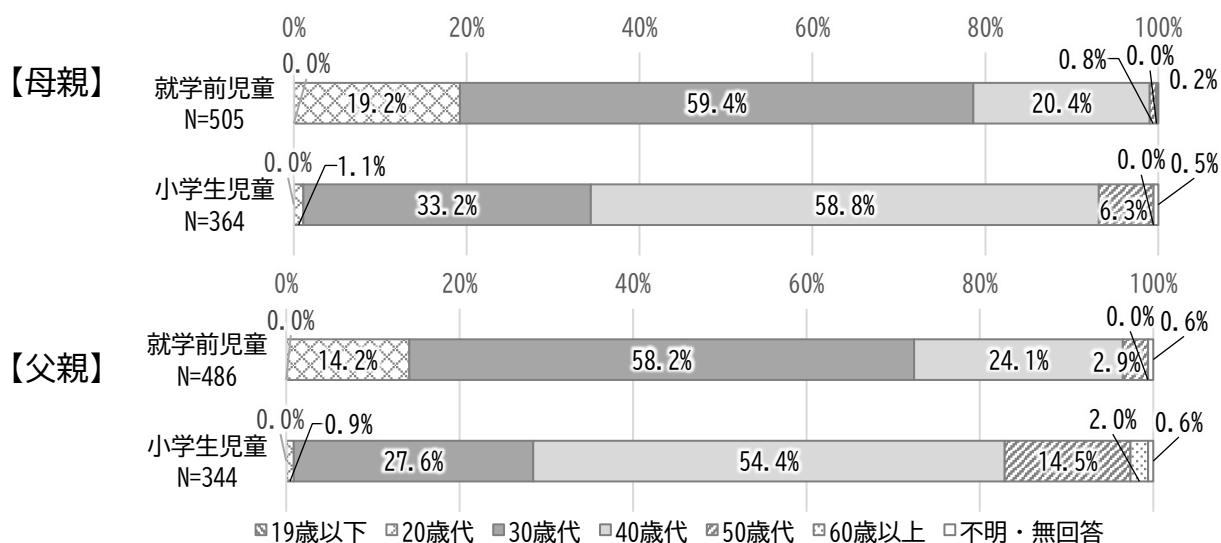


(5) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕



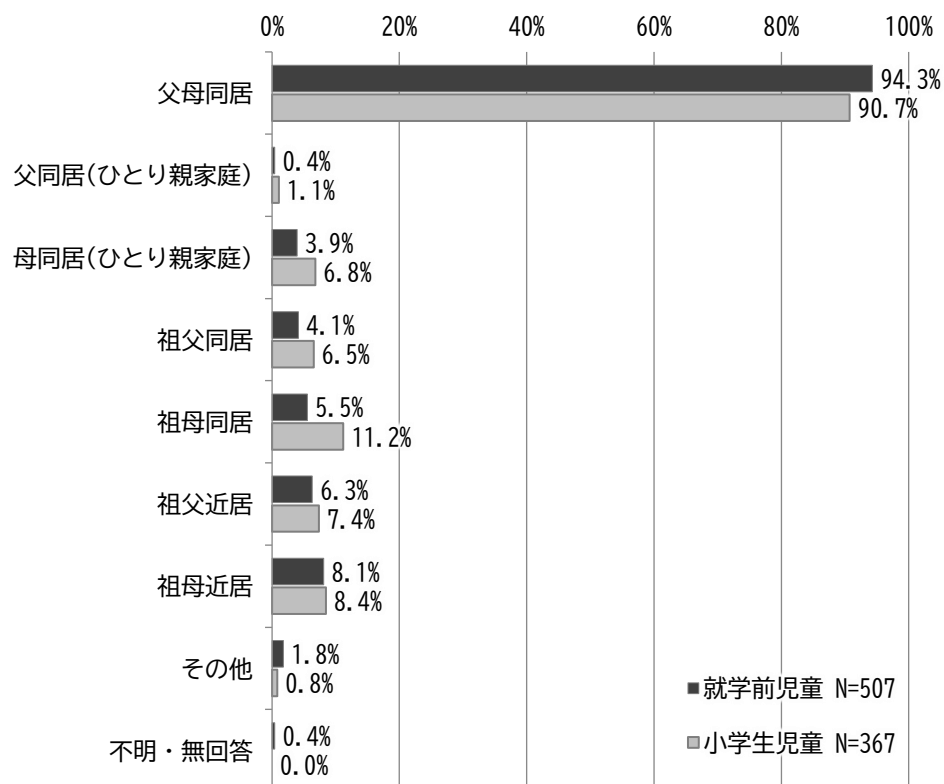
(6) 母親、父親の年齢〈単数回答〉〔就学前児童調査…問5-1、小学生児童調査…問6〕

母親、父親の年齢については、就学前児童、小学生児童ともに母親より父親の方が高い年代が占める結果となっています。



(7) 子どもとの同居の状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問5-2、小学生児童調査…問7〕

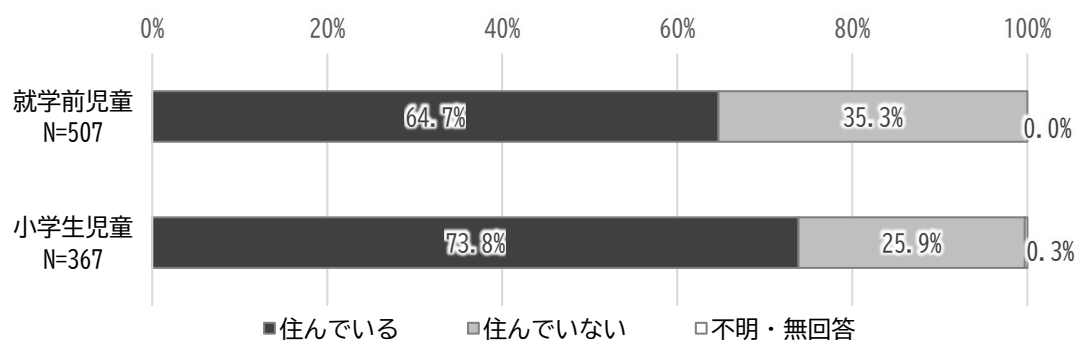
子どもとの同居の状況（続柄は子どもからみた関係）については、就学前児童では「父母同居」が94.3%と最も高く、次いで、「祖母同居」が8.1%となっています。小学生児童では「父母同居」が90.7%と最も高く、次いで「祖母同居」が11.2%となっています。



(8) 子どもの祖父母が近くに住んでいるか〈単数回答〉

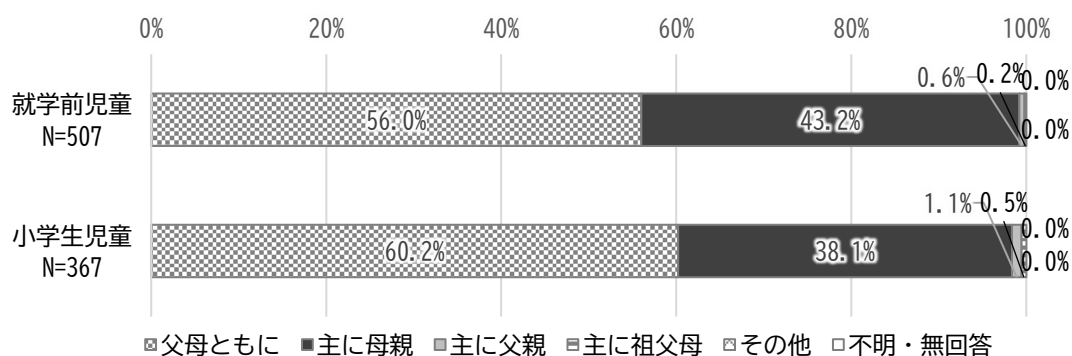
〔就学前児童調査…問5-3、小学生児童調査…問8〕

子どもの祖父母が近くに住んでいるかについては、「住んでいる」が就学前児童で64.7%、小学生児童で73.8%と最も高くなっています。



(9) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査…問6、小学生児童調査…問9〕

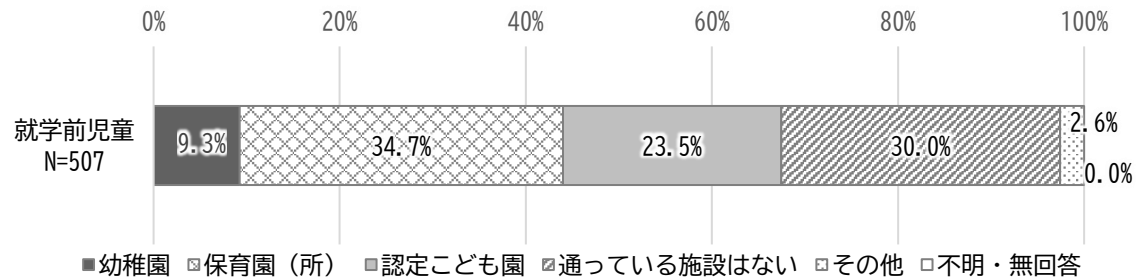
子育てを主に行っている方については、就学前児童、小学生児童ともに「父母ともに」がそれぞれ56.0%、60.2%と最も高くなっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

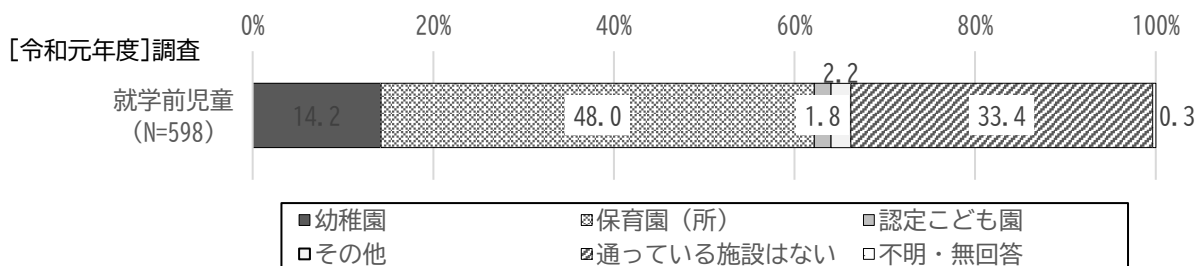
(1) 子どもが日常的に通っている施設〈単数回答〉〔就学前児童調査…問7〕

子どもが日常的に通っている施設について、就学前児童では、「保育園（所）」が 34.7%と最も高く、次いで「通っている施設はない」が 30.0%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「認定こども園」の割合が高く、「保育園（所）」の割合が低くなっています。



(2) 子どもの成長に大きく影響すると思われる環境〈複数回答〉

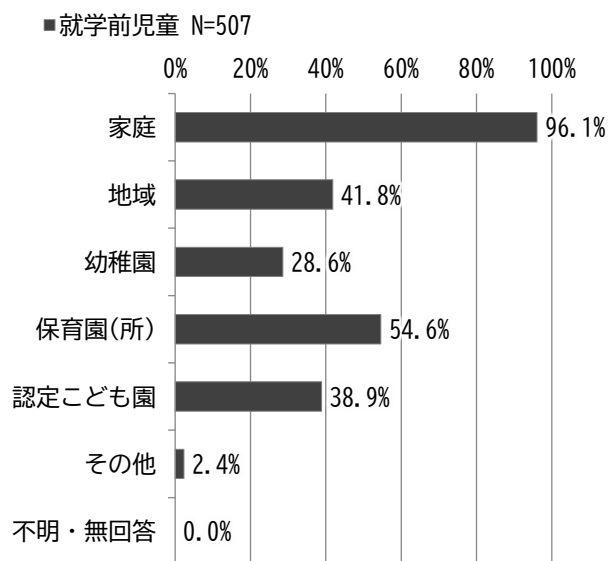
〔就学前児童調査…問8、小学生児童調査…問10〕

子どもの成長に大きく影響すると思われる環境について、就学前児童では「家庭」が96.1%と最も高く、次いで、「保育園（所）」が54.6%となっています。小学生児童では「家庭」が96.5%と最も高く、次いで「小学校」が80.9%となっています。

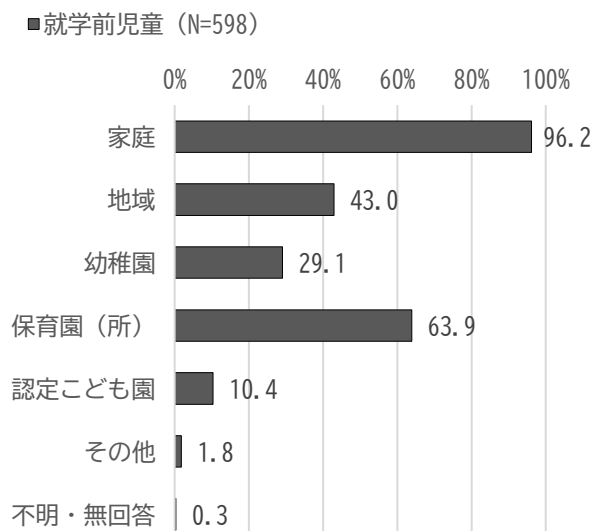
【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「認定こども園」の割合が高くなっています。

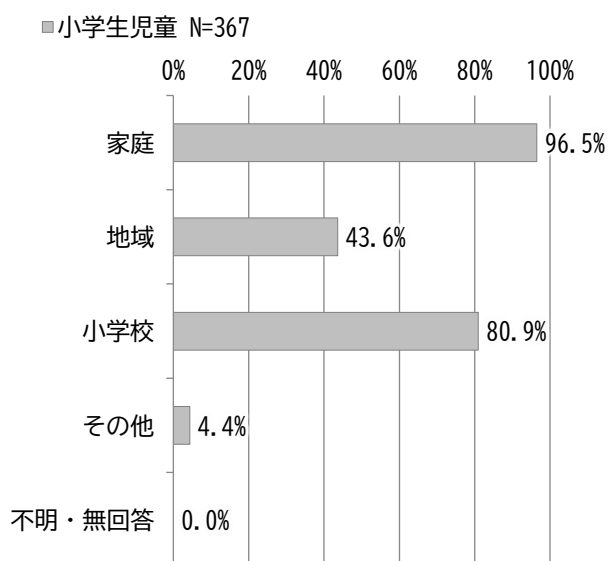
〔就学前児童〕



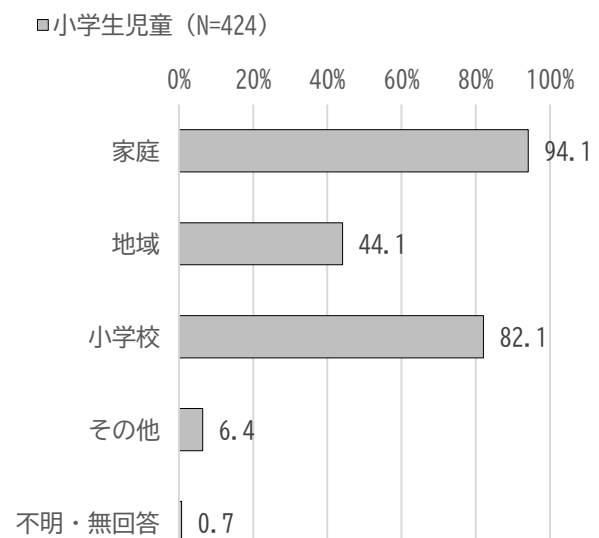
〔令和元年度〕調査



〔小学生児童〕



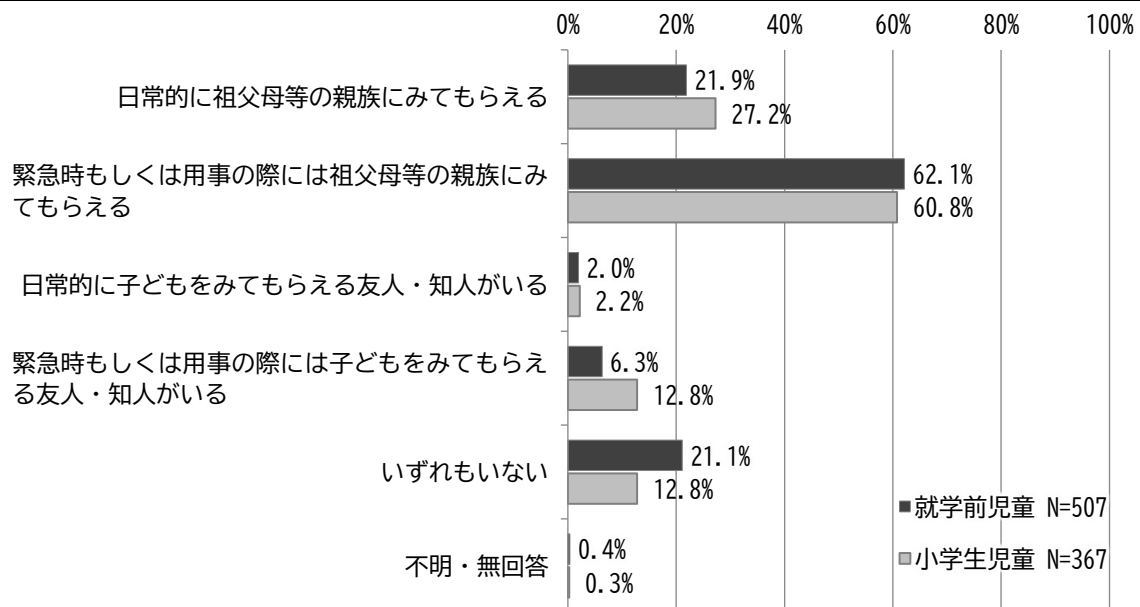
〔令和元年度〕調査



(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9、小学生児童調査…問11〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、就学前児童、小学生児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ 62.1%、60.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ 21.9%、27.2%となっています。

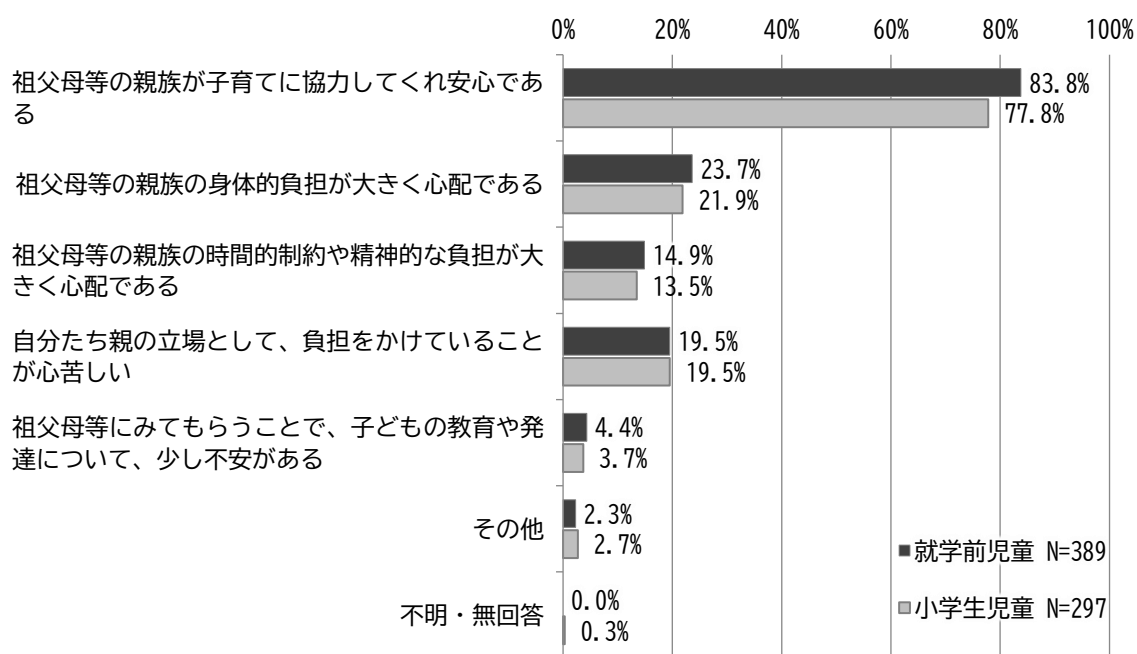


(3) で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際は祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

(3) - 1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

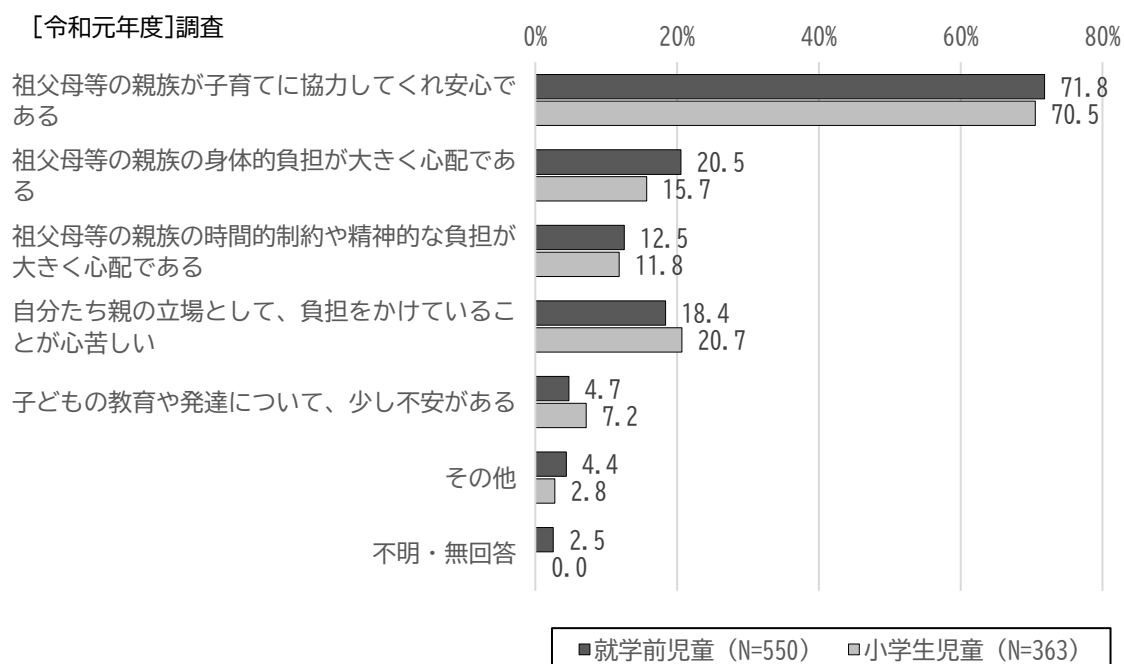
〔就学前児童調査…問9-1、小学生児童調査…問11-1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況について、就学前児童、小学生児童ともに「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」がそれぞれ83.8%、77.8%と最も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が高くなっています。

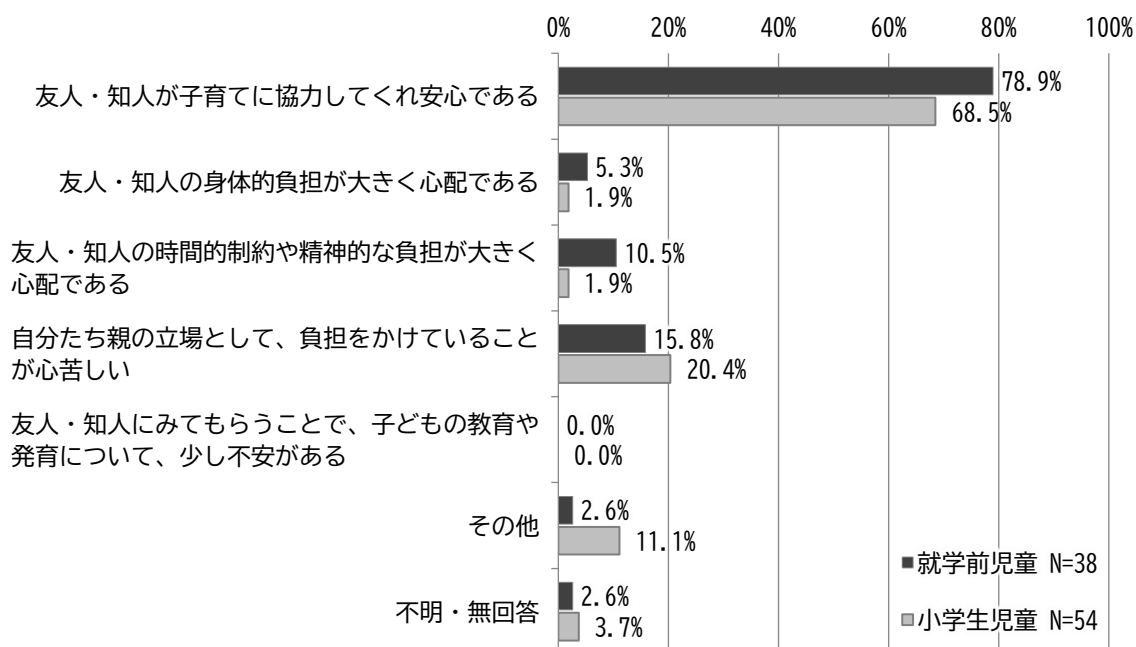


(3) で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際は子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

(3) - 2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9-2、小学生児童調査…問11-2〕

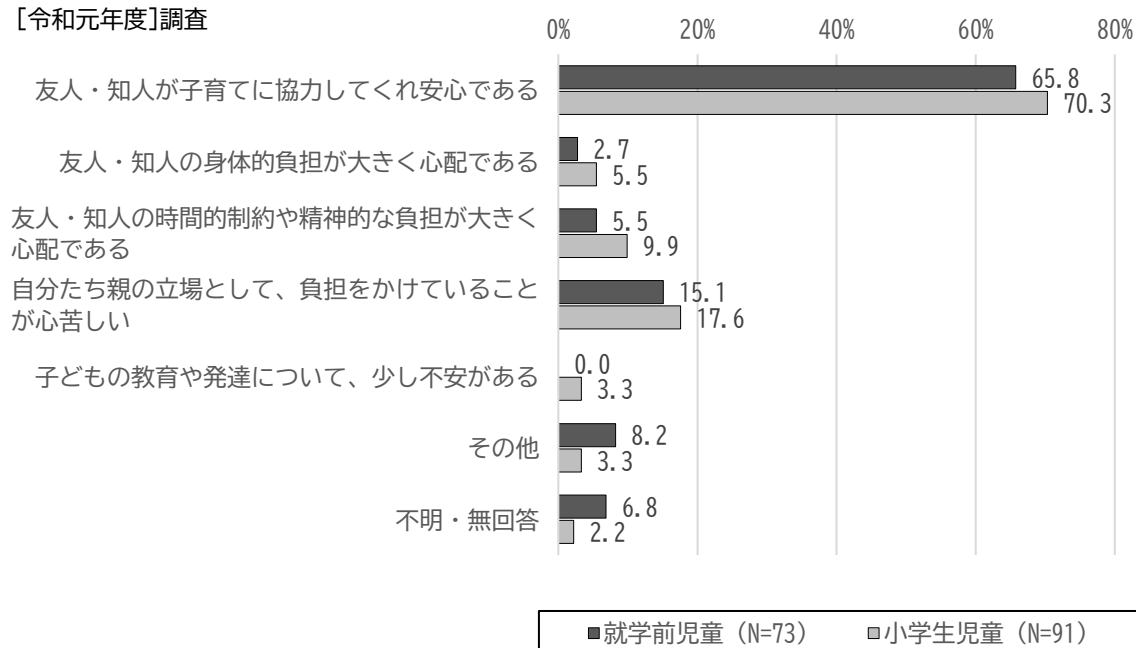
友人・知人にみてもらっている状況について、就学前児童、小学生児童ともに「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」がそれぞれ78.9%、68.5%と最も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が高くなっています。

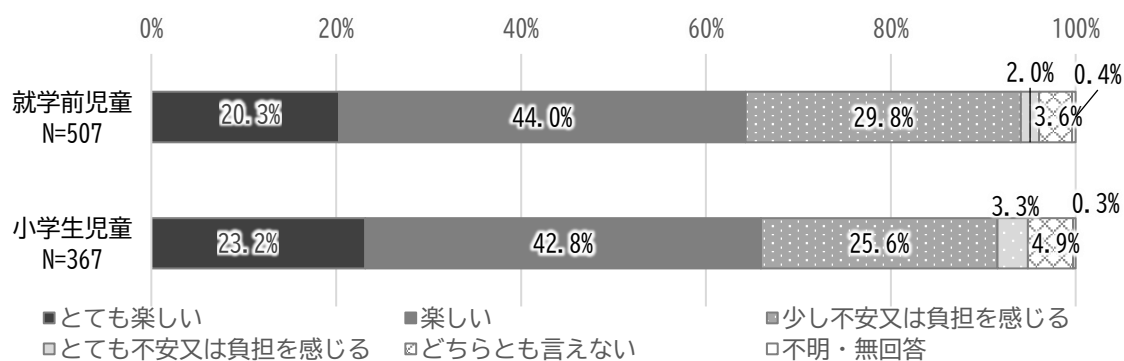
〔令和元年度〕調査



(4) 子育てについて感じる気持ち〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問9-3、小学生児童調査…問12〕

子育てについて感じる気持ちについて、「楽しい」（「とても楽しい」と「楽しい」の合計）が就学前児童で 64.3%、小学生児童で 65.9%、「不安又は負担を感じる」（「少し不安又は負担を感じる」と「とても不安又は負担を感じる」の合計）が就学前児童で 31.8%、小学生児童で 28.9%となっています。



(5) 子育てをする上での悩みや不安〈複数回答〉

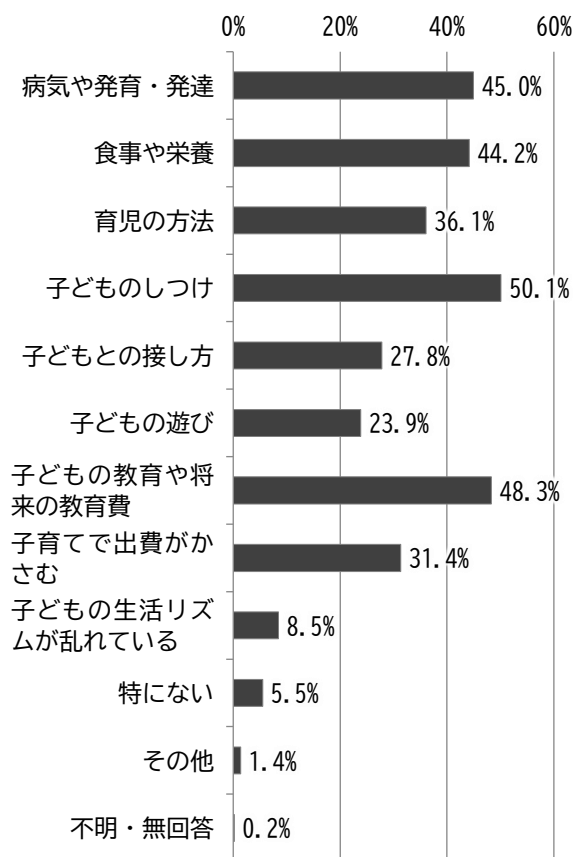
〔就学前児童調査…問9-4、小学生児童調査…問13〕

子育てをする上で、子どものことで日頃悩んでいることや不安に感じることにについて、就学前児童では「子どものしつけ」が50.1%と最も高く、次いで「子どもの教育や将来の教育費」が48.3%となっています。小学生児童では「子どもの教育や将来の教育費」が53.1%と最も高く、次いで「学力」が36.2%となっています。

①子どものこと

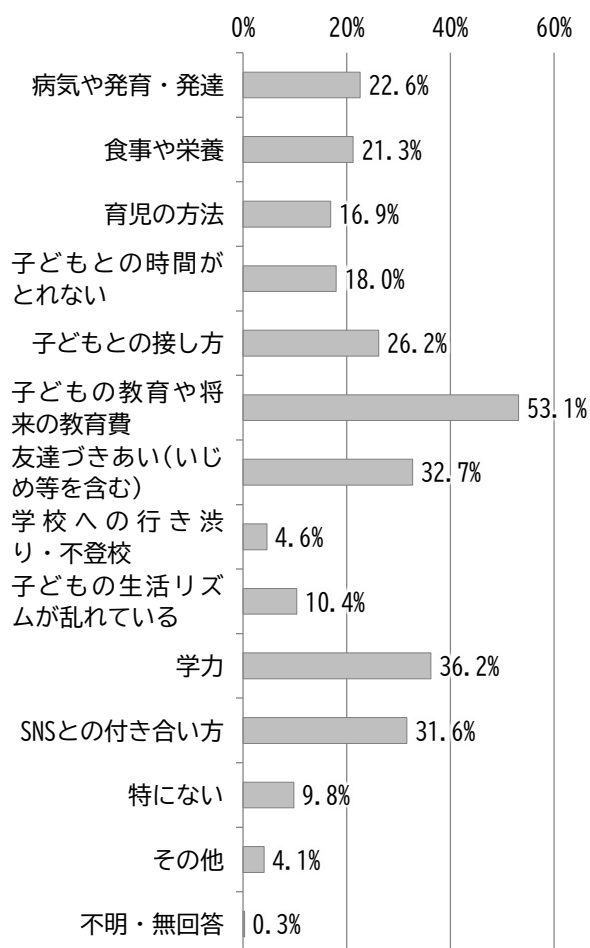
〔就学前児童〕

■就学前児童 N=507



〔小学生児童〕

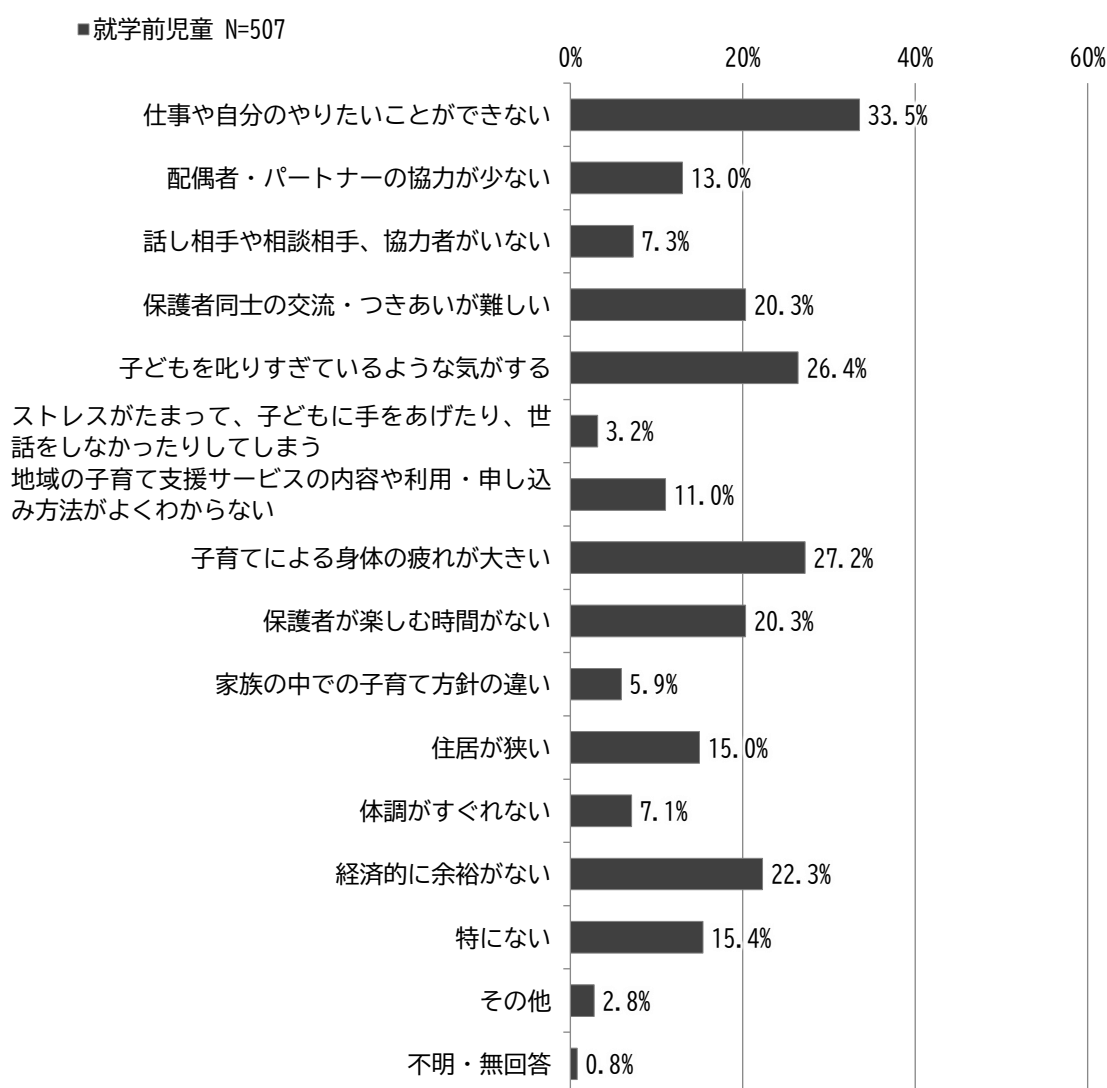
■小学生児童 N=367



子育てをする上で、保護者のことで日頃悩んでいることや不安に感じることにについて、就学前児童では「仕事や自分のやりたいことができない」が33.5%で最も高く、次いで、「子育てによる身体の疲れが大きい」が27.2%となっています。小学生児童では「子どもを叱りすぎているような気がする」が31.1%と最も高く、次いで「特にない」が27.2%となっています。

②保護者のこと

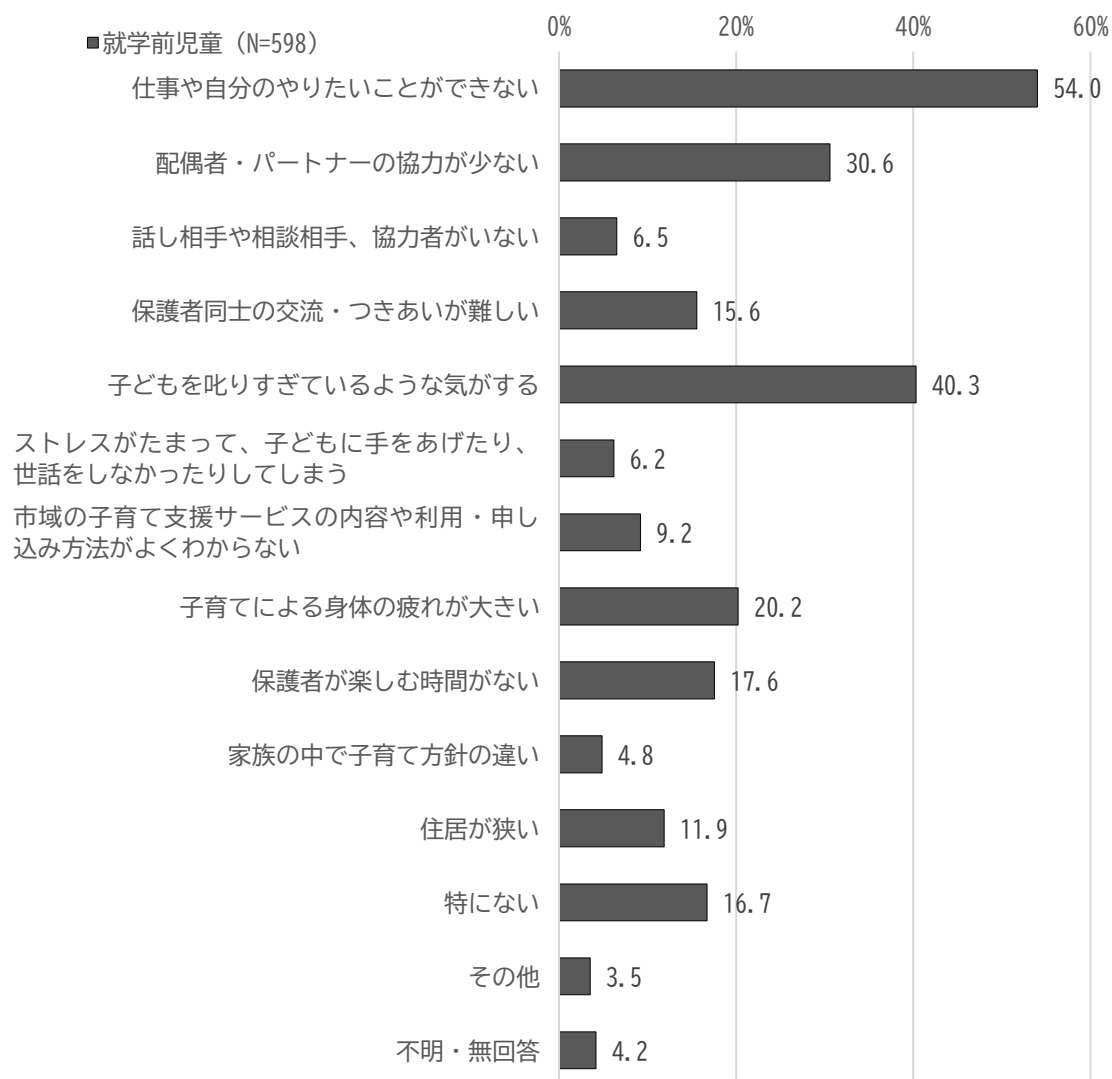
[就学前児童]



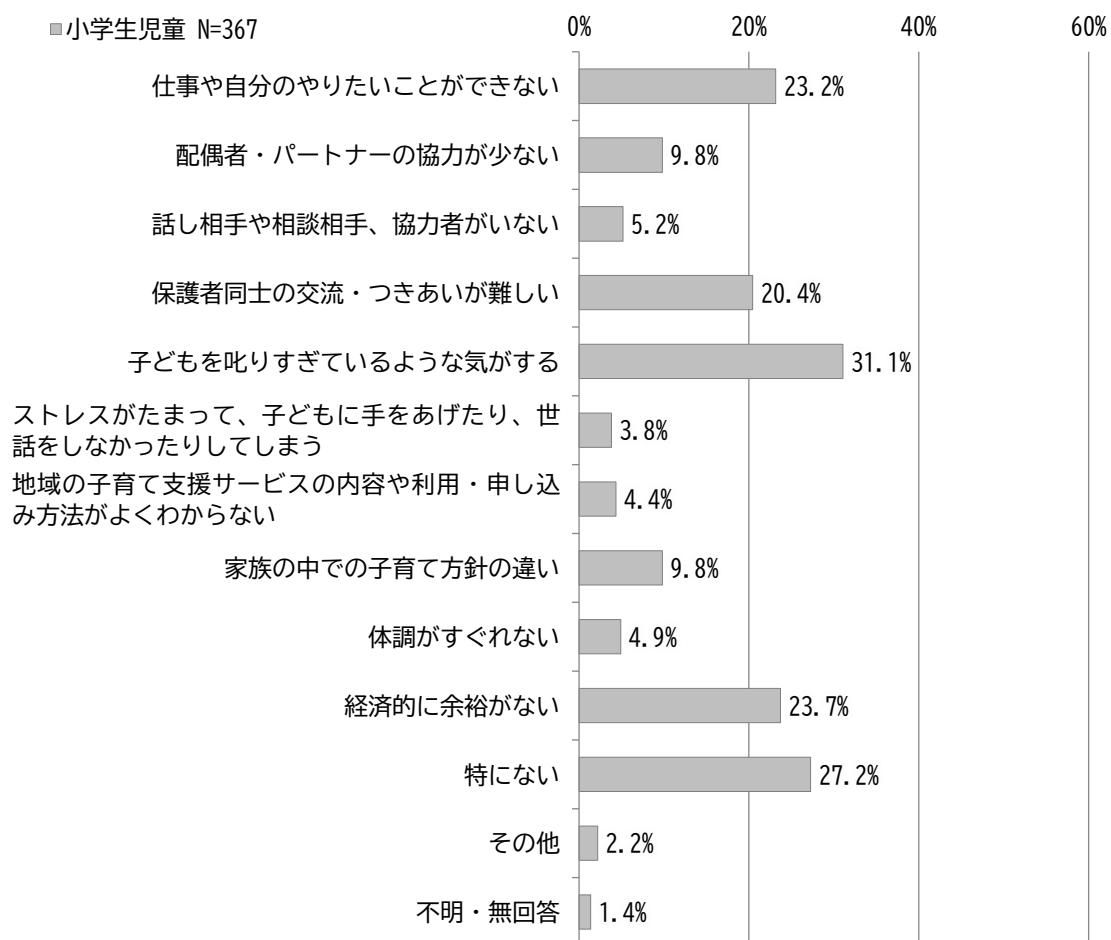
【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「仕事や自分のやりたいことができない」、「配偶者・パートナーの協力が少ない」、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が低くなっています。

【令和元年度】調査

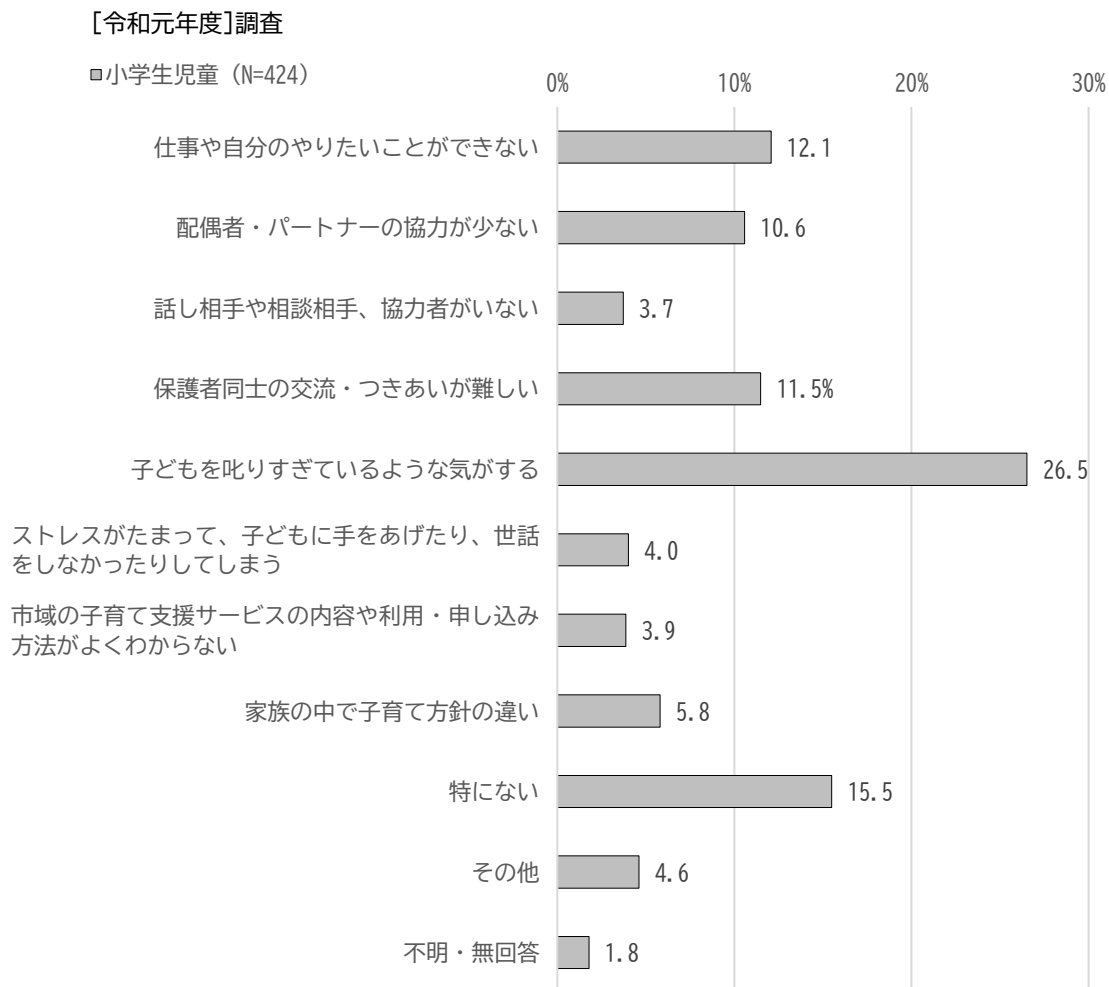


[小学生児童]



【令和元年度調査結果との比較】

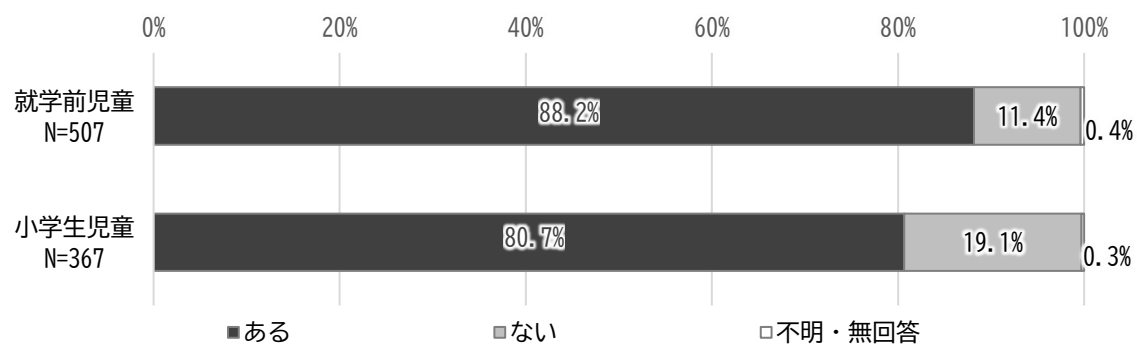
小学生児童の令和5年度調査結果は「仕事や自分のやりたいことができない」、「特にない」の割合が高くなっています。



（６）子育てをする上での相談相手（場所）の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 10、小学生児童調査…問 14〕

子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はあるかについて、「ない」が就学前児童で 11.4%、小学生児童で 19.1%となっています。



(6)で「ある」を選んだ方

(6)－1 子育てをする上での相談相手や相談できる先〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問10－1、小学生児童調査…問15〕

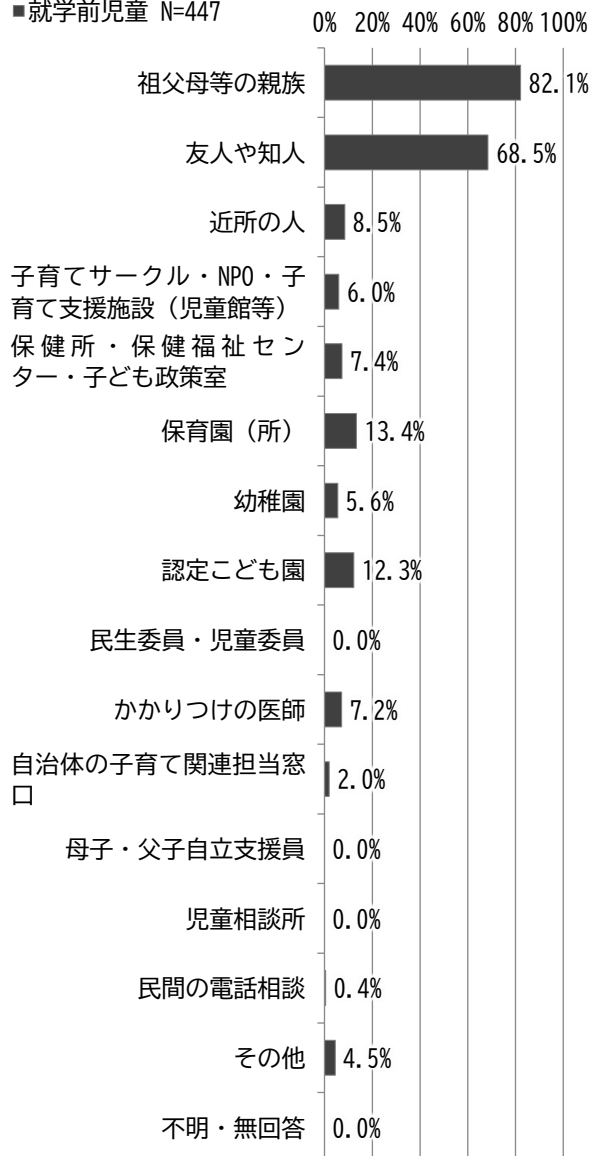
子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）かについて、就学前児童では「祖父母等の親族」が82.1%と最も高く、次いで「友人や知人」が68.5%となっています。小学生児童では「友人や知人」が78.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が76.7%となっています。

【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「認定こども園」の割合が高く、「保育園（所）」の割合が低くなっています。

〔就学前児童〕

■就学前児童 N=447



〔令和元年度〕調査

■就学前児童（N=543）



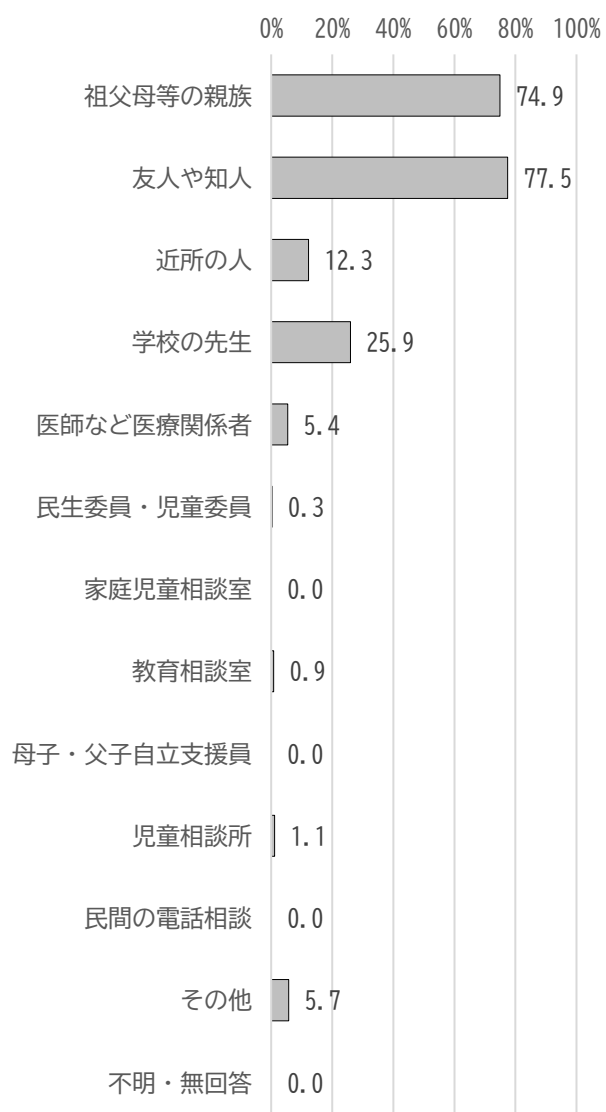
[小学生児童]

■小学生児童 N=296



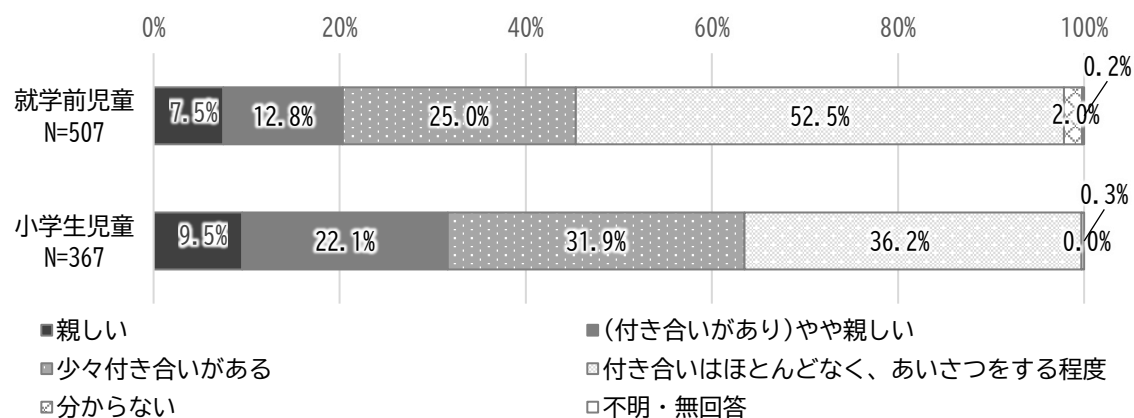
[令和元年度]調査

■小学生児童 (N=351)



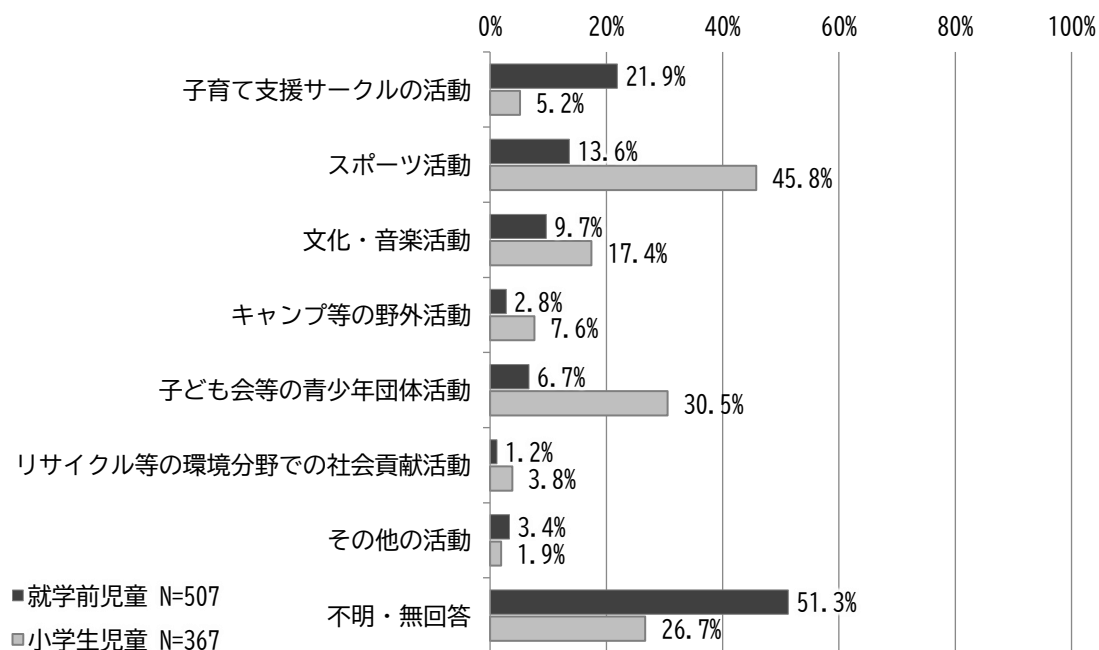
(7) 近隣の人々との付き合い〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 10-2、小学生児童調査…問 15〕

近所や地域の人々との付き合いについて、就学前児童では「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が 52.5%、小学生児童では 36.2%と、それぞれ最も高くなっています。



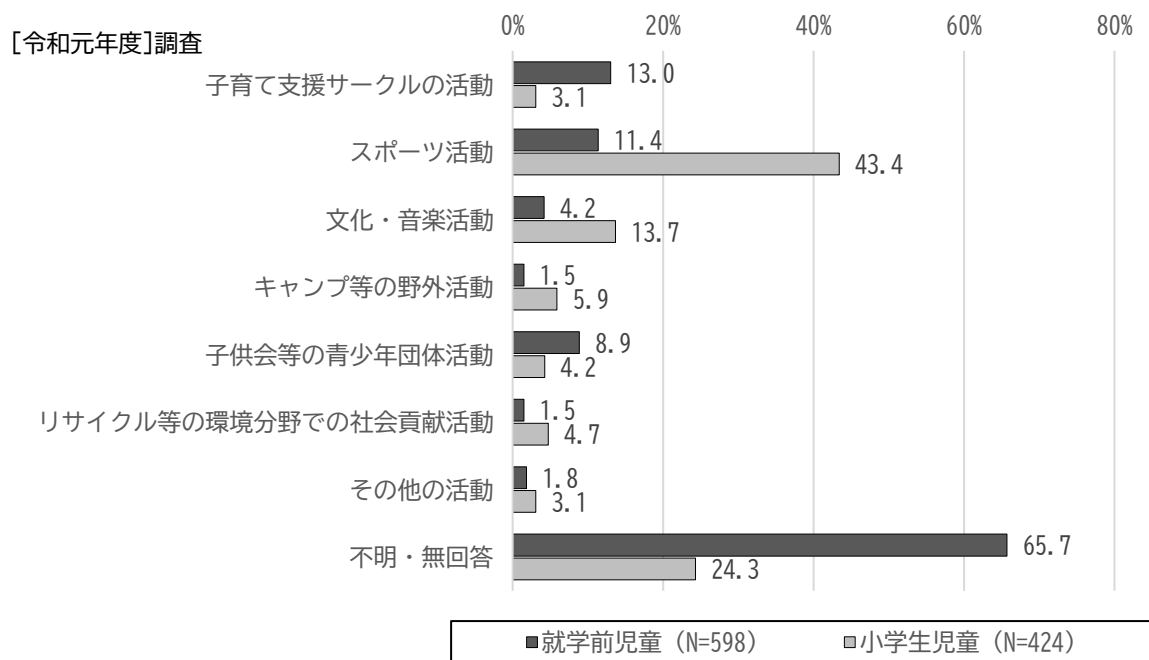
(8) 子どもの、催しへの参加状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 10－3、小学生児童調査…問 16〕

子どもの、催しへの参加状況について、就学前児童では「子育て支援サークルの活動」が 21.9%、小学生児童では「スポーツ活動」が 45.8%と、それぞれ最も高くなっています。



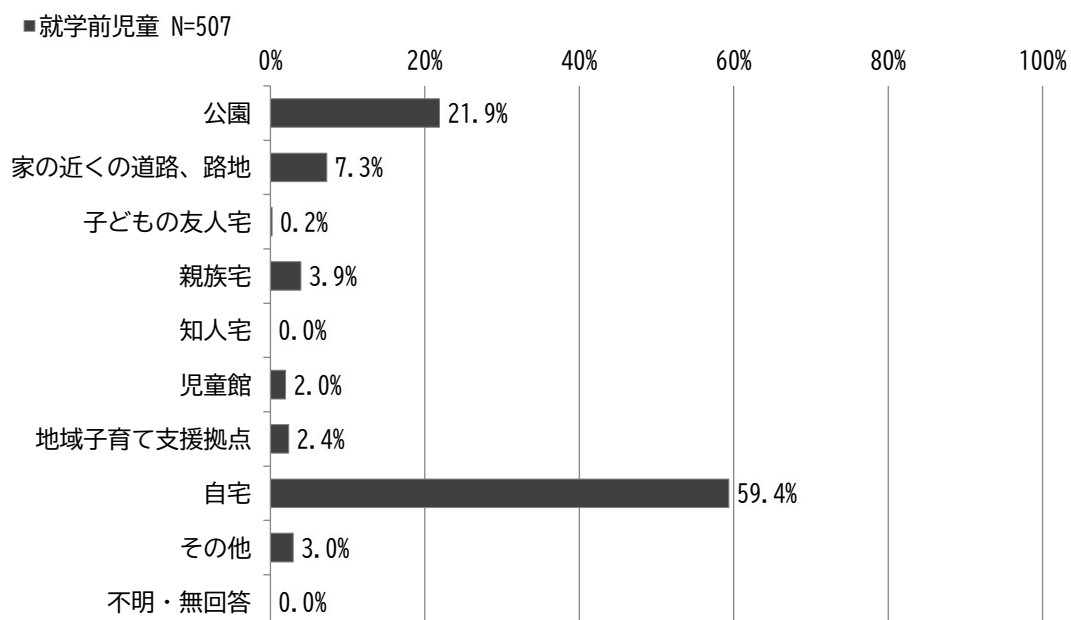
【令和元年度調査結果との比較】

小学生児童の令和 5 年度調査結果は、「子ども会等の青少年団体活動」の割合が高くなっています。



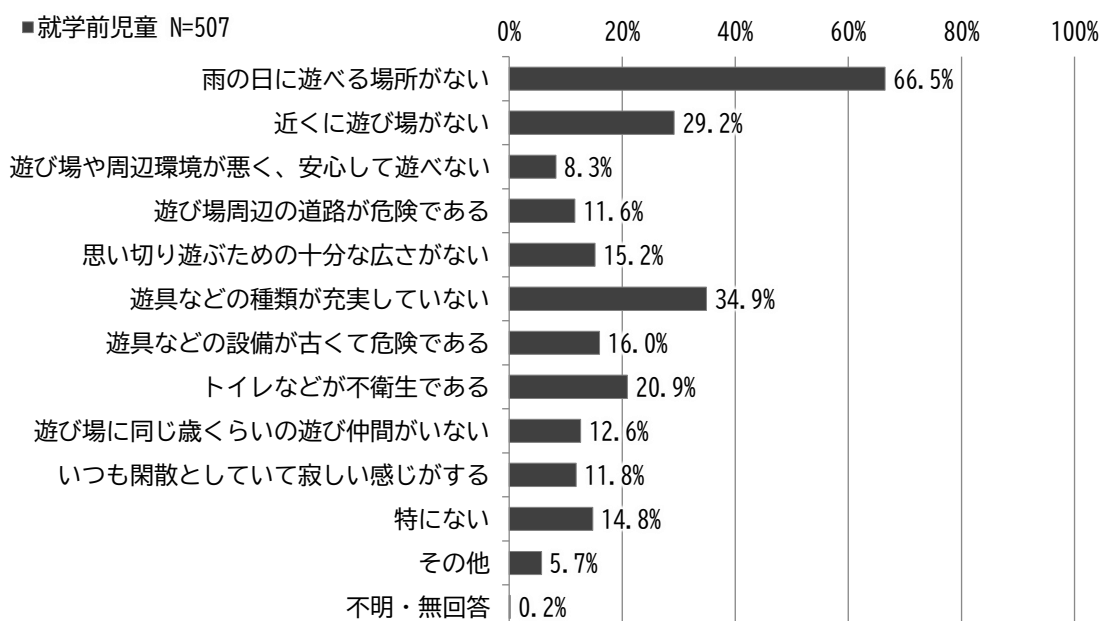
(9) 子どもの遊び場〈単数回答〉〔就学前児童調査…問10-4〕

子どもが日中どこで遊ぶことが多いかについて、就学前児童では、「自宅」が59.4%と最も高く、次いで「公園」が21.9%となっています。



(10) 遊び場で困ること・困ったこと〈複数回答〉〔就学前児童調査…問10-5〕

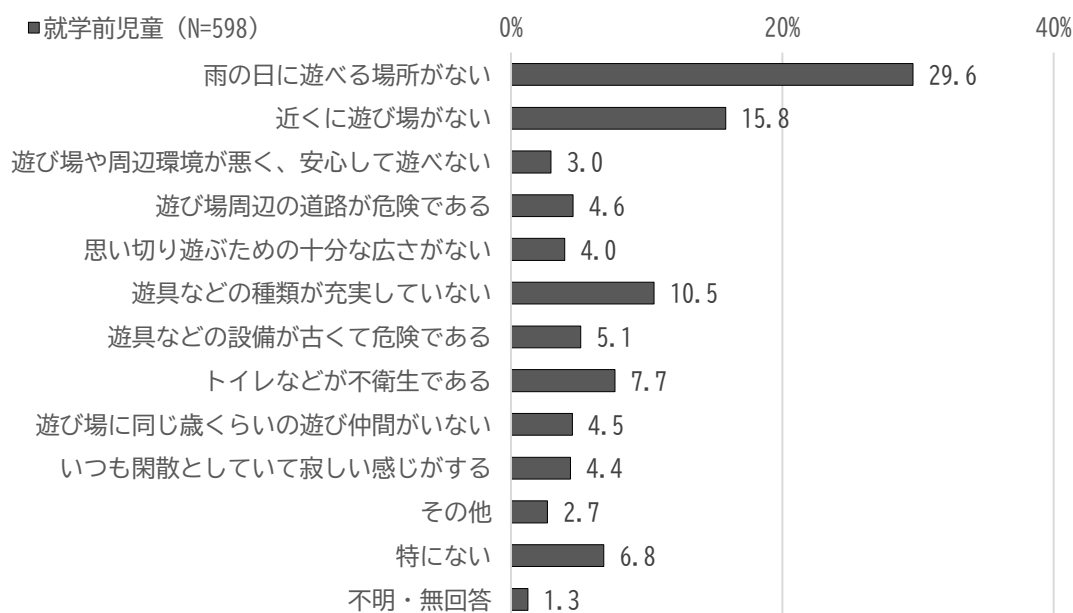
遊び場で困ること・困ったことについて、就学前児童では、「雨の日に遊べる場所がない」が66.5%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が34.9%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

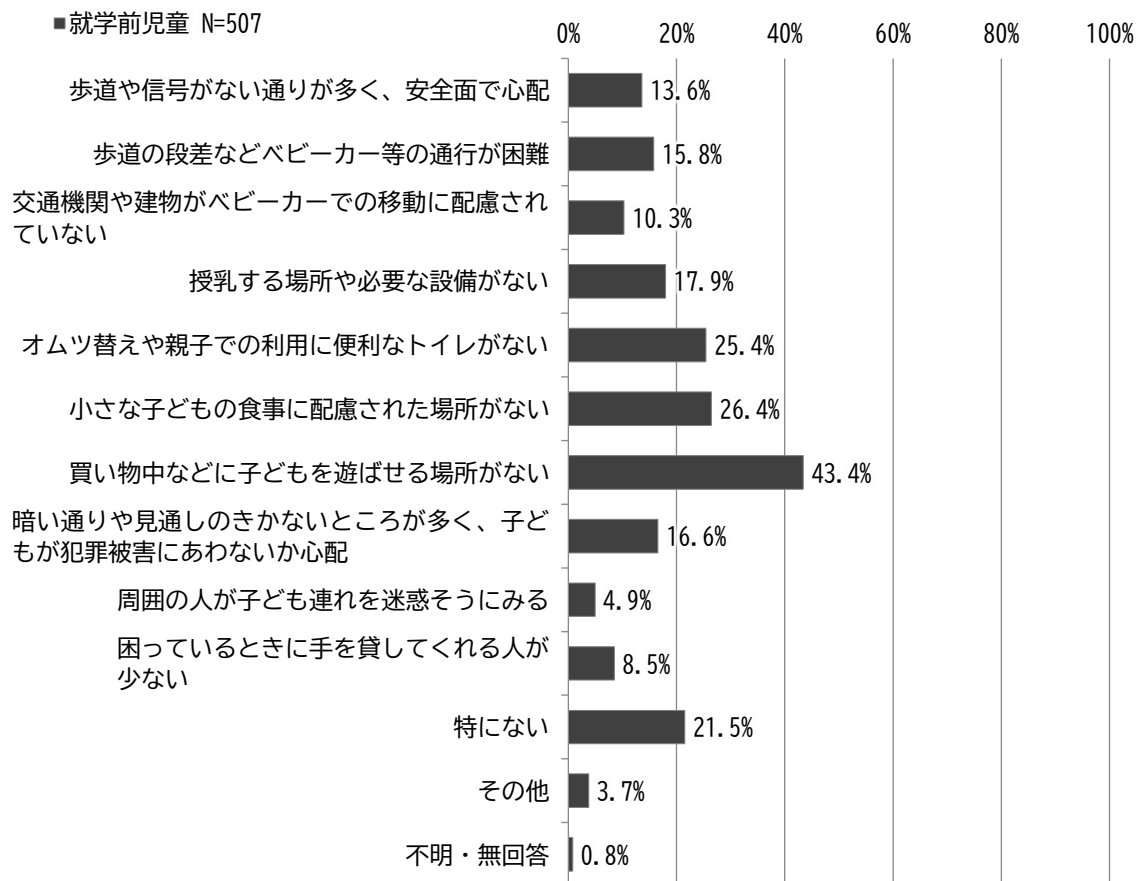
就学前児童の令和5年度調査結果は「雨の日に遊べる場所がない」「近くに遊び場がない」「思い切り遊ぶための十分な広さがない」「遊具などの種類が充実していない」「遊具などの設備が古くて危険である」「トイレなどが不衛生である」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査



(11) 子どもと外出する際に、困ること・困ったこと〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 10－6〕

子どもと外出する際に、困ること・困ったことについて、就学前児童では、「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」が 43.4%と最も高く、次いで「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」が 26.4%となっています。

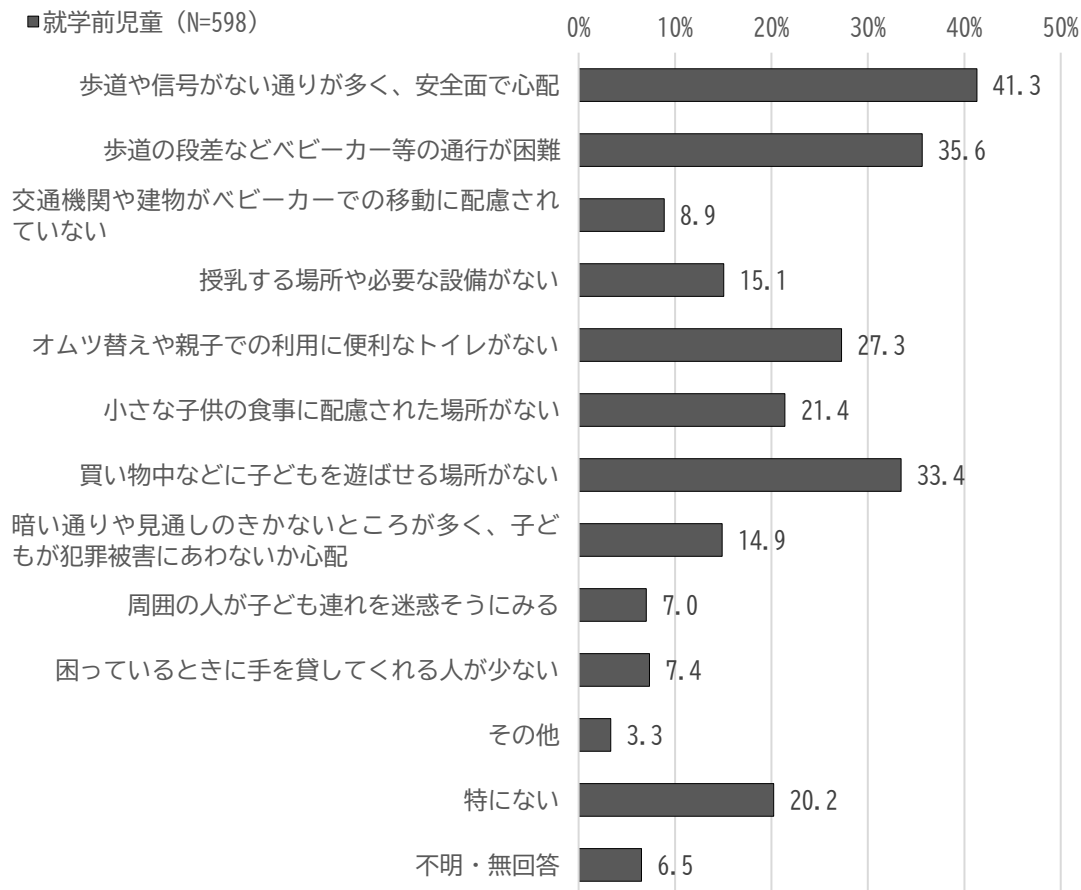


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」の割合が高く、「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」「歩道の段差などベビーカー等の通行が困難」の割合が低くなっています。

〔令和元年度〕調査

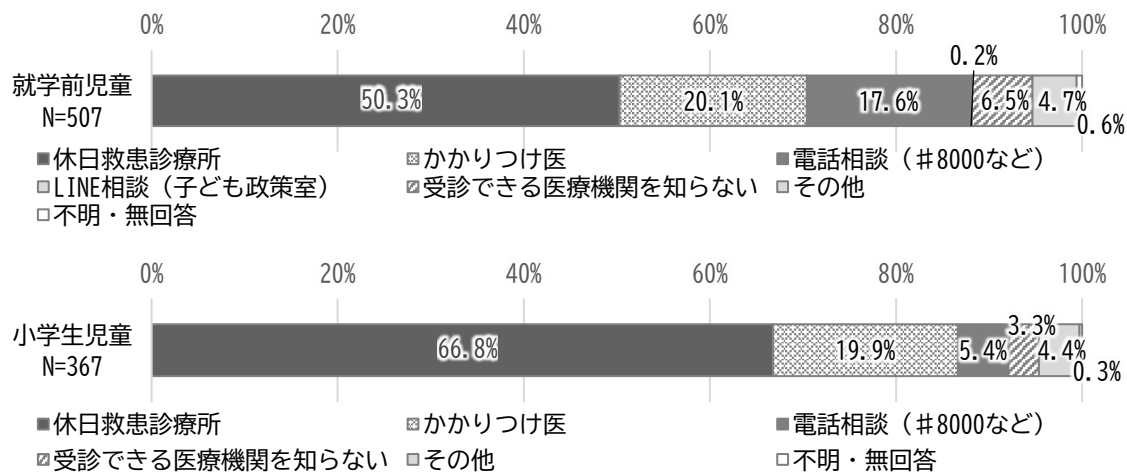
■就学前児童（N=598）



(12) 子どもの休日や夜間の急病時の利用機関〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 10－7、小学生児童調査…問 17〕

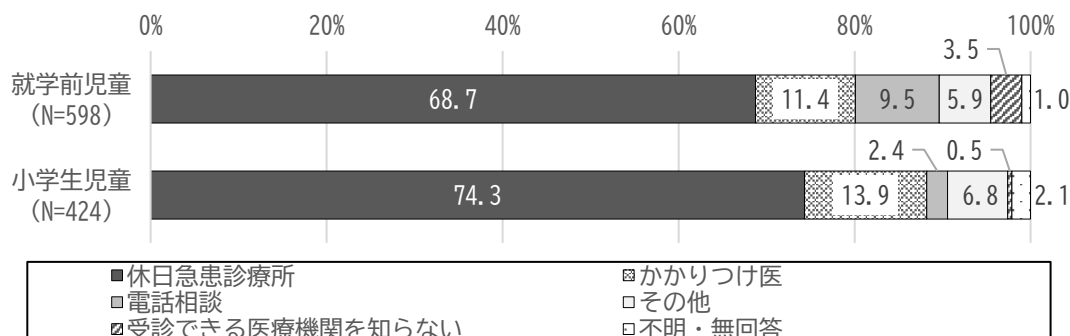
子どもの休日や夜間の急な発熱などの急病時に、どのような機関を利用しているかについて、就学前児童、小学生児童ともに「休日急患診療所」がそれぞれ 50.3%、66.8%と最も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「休日急患診療所」の割合が低くなっています。

〔令和元年度〕調査

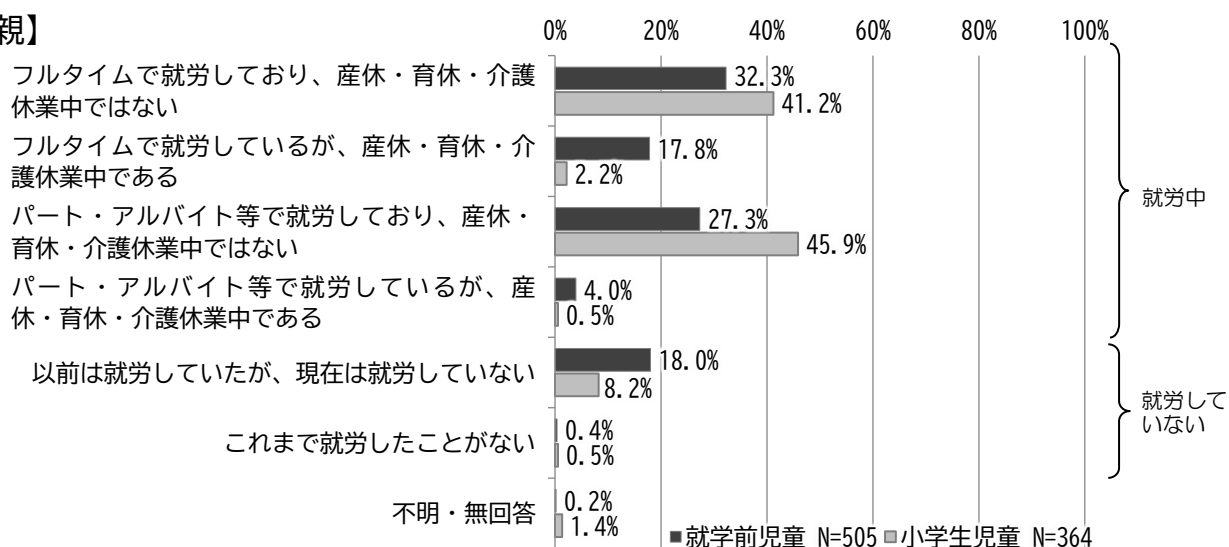


3 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 12、小学生児童調査…問 18〕

保護者の就労状況について、就学前児童の母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.3%、小学生児童の母親では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.9%と最も高くなっています。父親では、就学前児童、小学生児童ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がそれぞれ96.7%、96.5%と最も高くなっています。

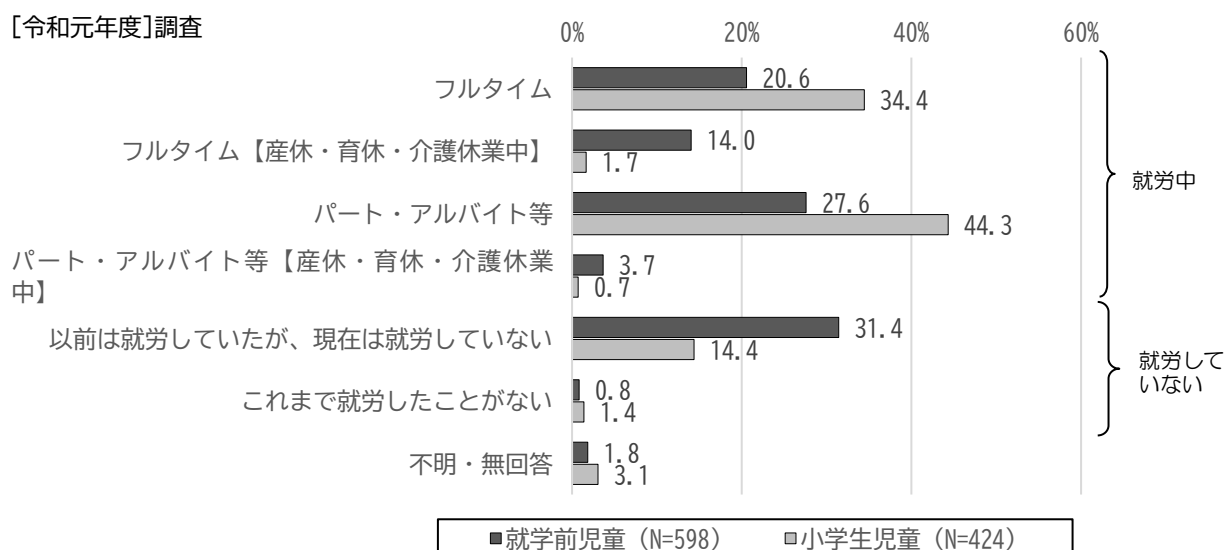
【母親】



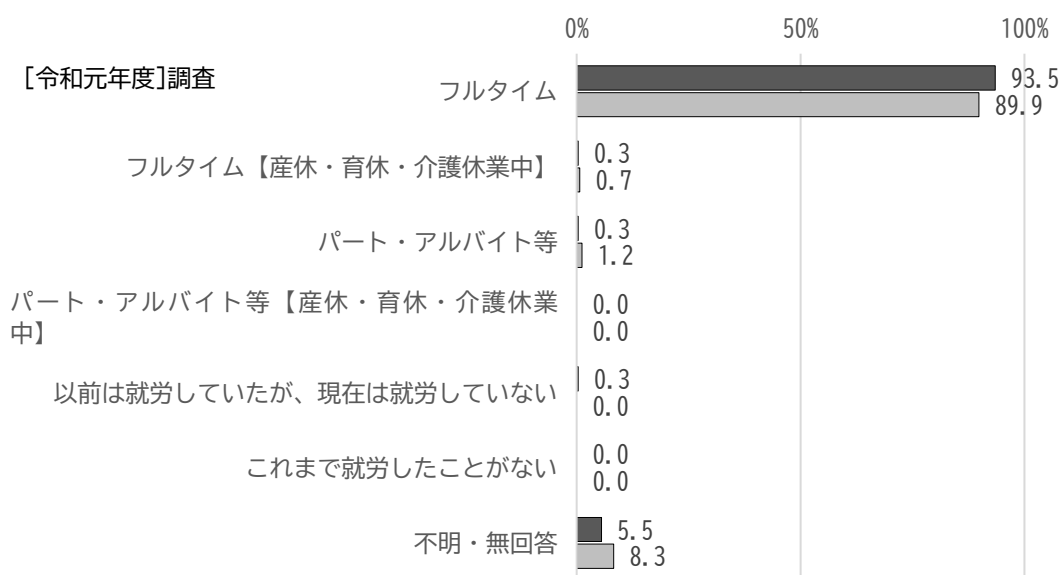
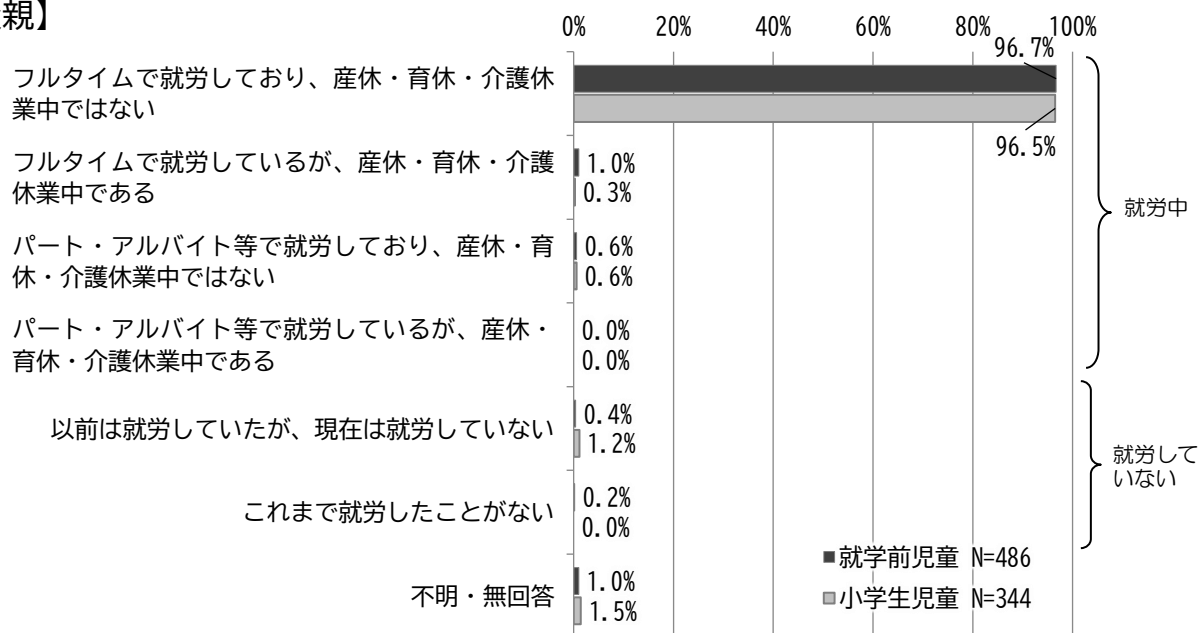
【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の母親の令和5年度調査結果は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は低くなっています。

〔令和元年度〕調査



【父親】



■就学前児童 (N=598) □小学生児童 (N=424)

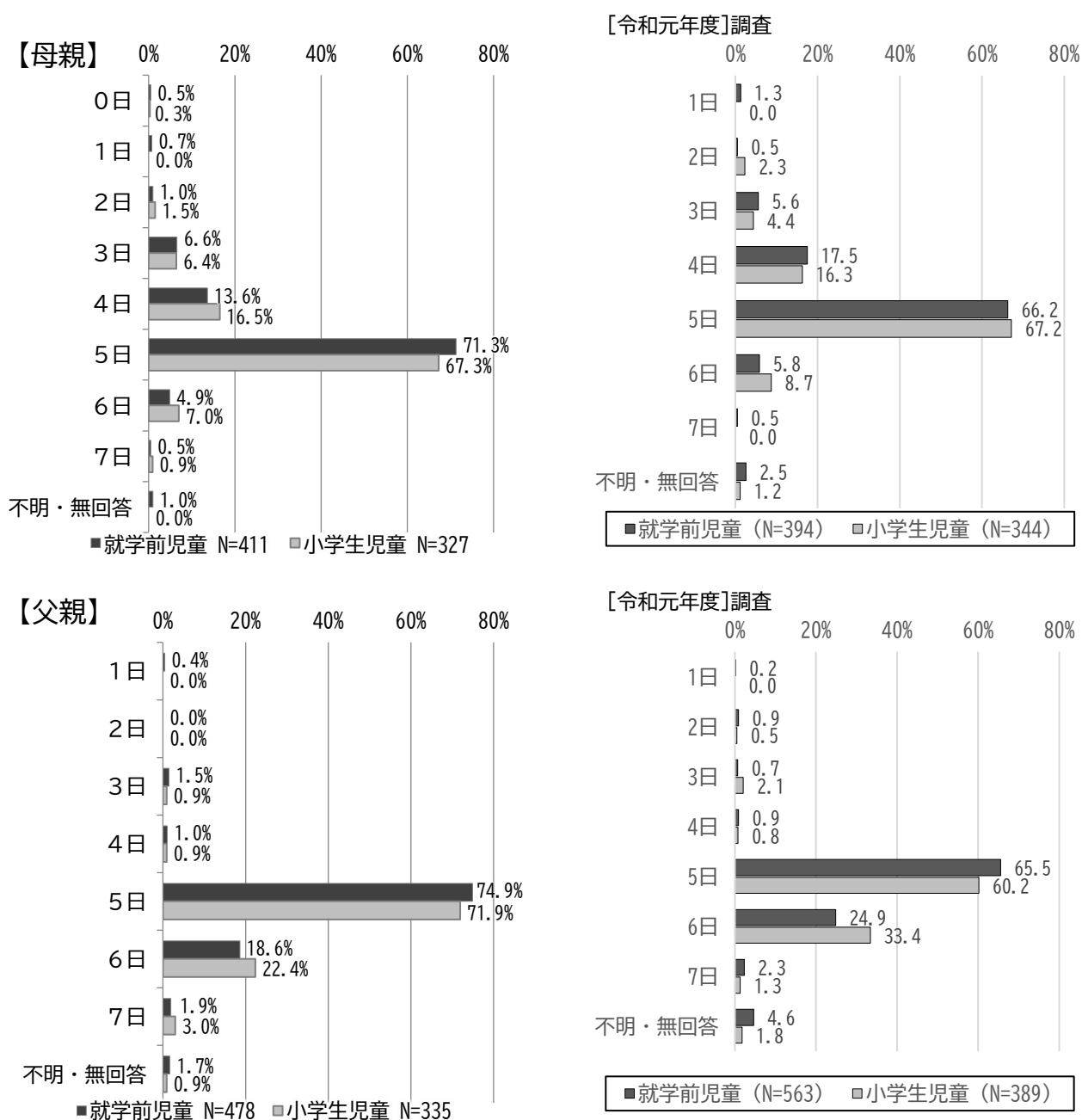
●就労している保護者の状況〈数量回答〉

就労している保護者の状況について、就学前児童母親、小学生児童母親ともに1週当たりの就労日数は「5日」、1日当たりの就労時間は「8時間」、家を出る時間は「7～8時台」、帰宅時間は「17～18時台」、理想の家を出る時間は「7～8時台」、理想の帰宅時間は「15～16時台」がそれぞれ最も高くなっています。就学前児童父親、小学生児童父親ともに1週当たりの就労日数は「5日」、1日当たりの就労時間は「9時間以上」、家を出る時間は「7～8時台」、帰宅時間は「19～20時台」、理想の家を出る時間は「7～8時台」、理想の帰宅時間は「17～18時台」がそれぞれ最も高くなっています。

①1週当たりの就労日数

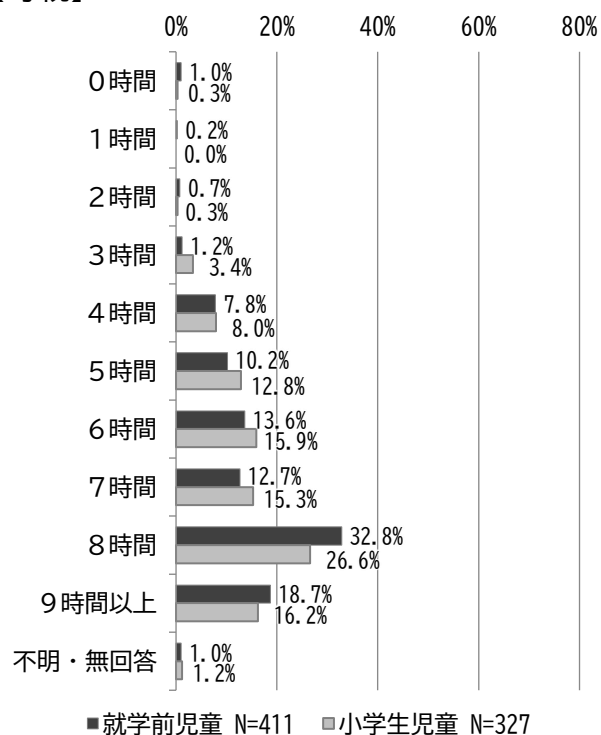
【令和元年度調査結果との比較】

小学生児童の父親の令和5年度調査結果は「5日」の割合が高くなっています。

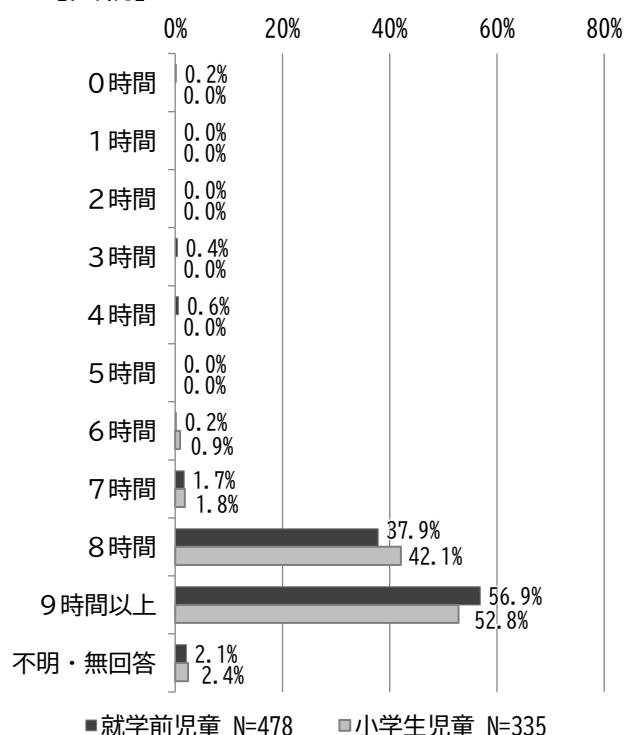


② 1日当たりの就労時間

【母親】

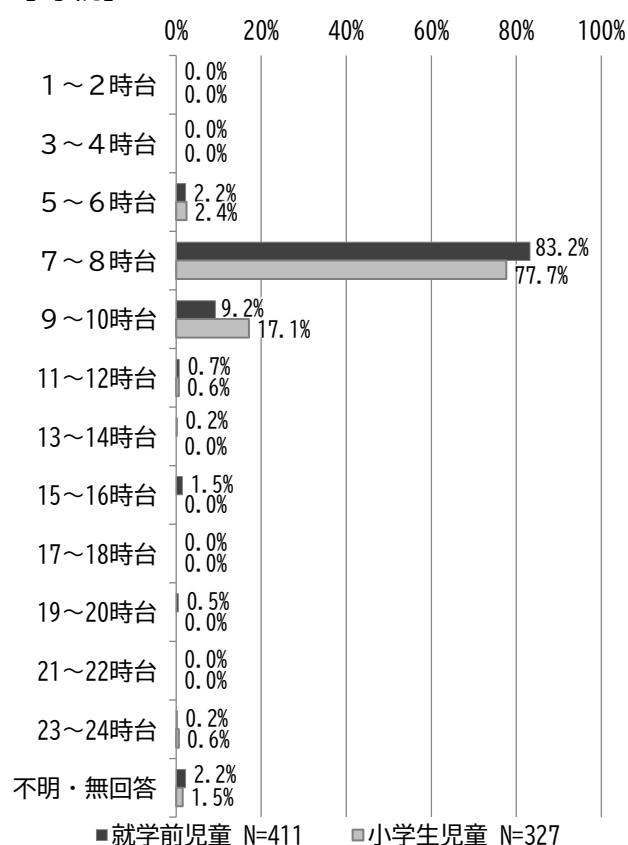


【父親】

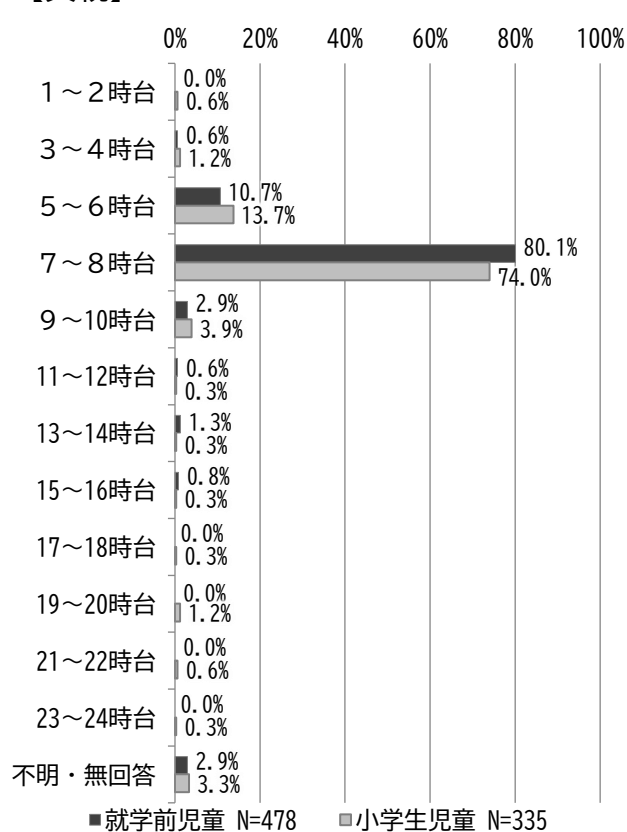


③ 家を出る時間

【母親】



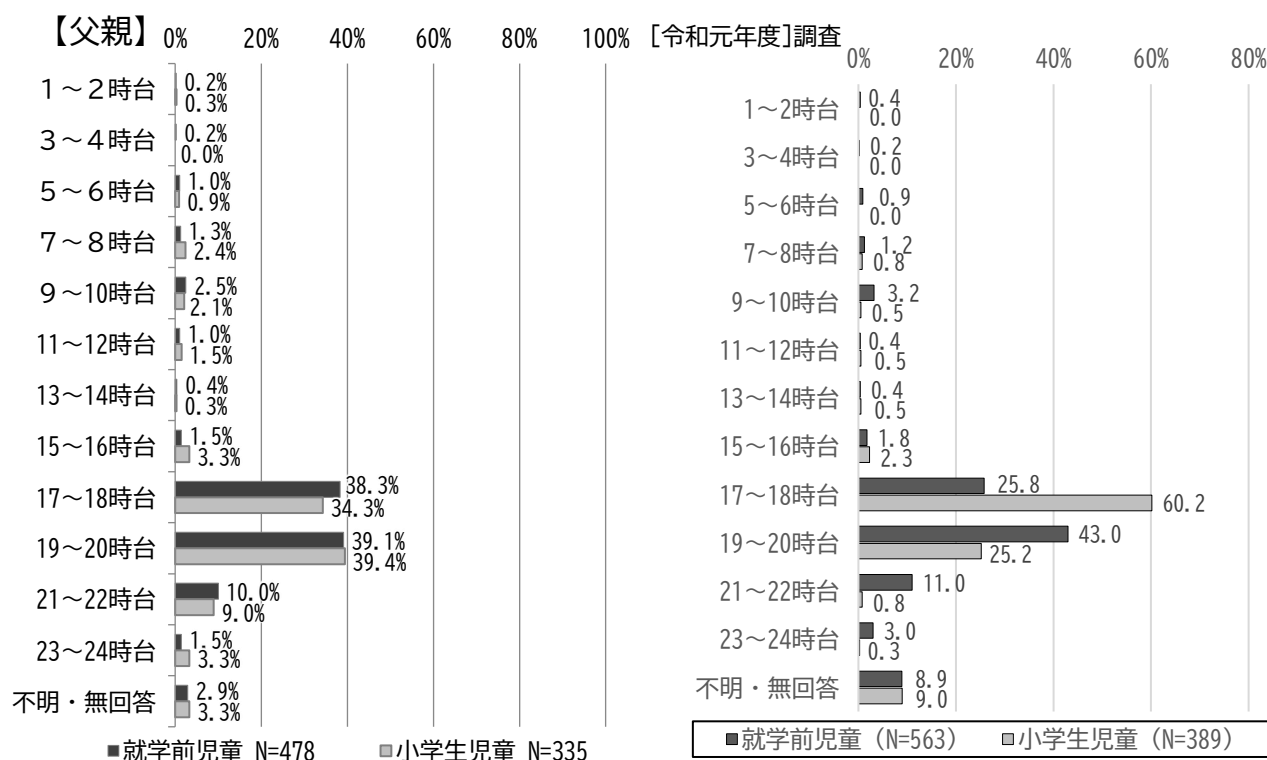
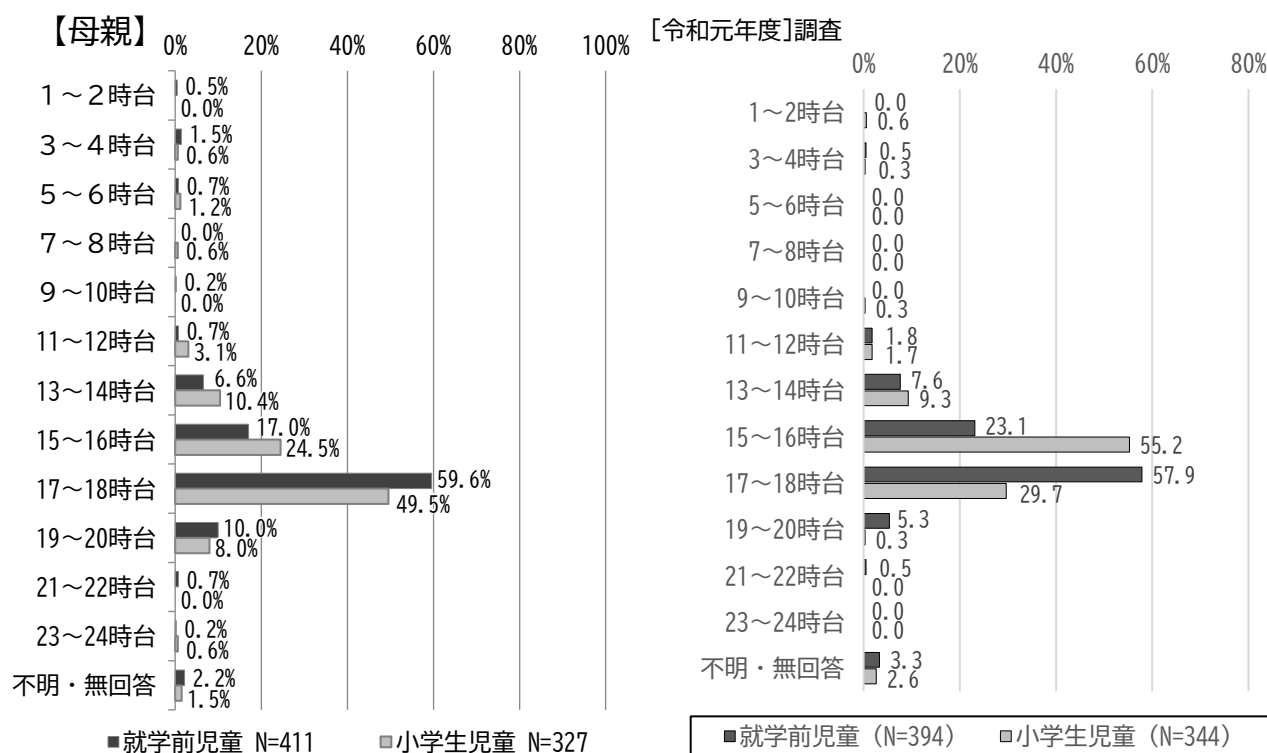
【父親】



④帰宅時間

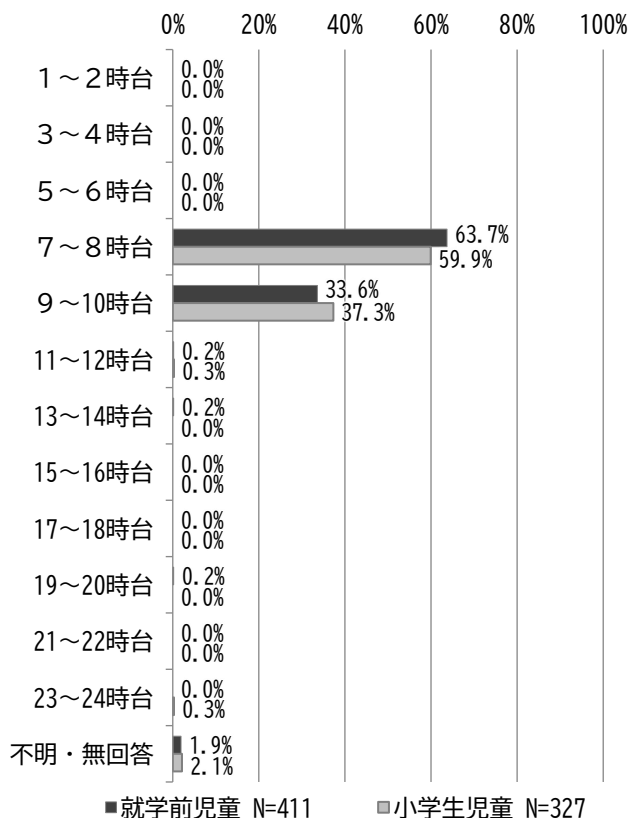
【令和元年度調査結果との比較】

小学生児童の母親の令和5年度調査結果は、「17～18 時台」の割合が高く、「15～16 時台」の割合が低くなっています。就学前児童の父親は、「17～18 時台」の割合が高くなっています。小学生児童の父親は「19～20 時台」の割合が高く、「17～18 時台」の割合が低くなっています。

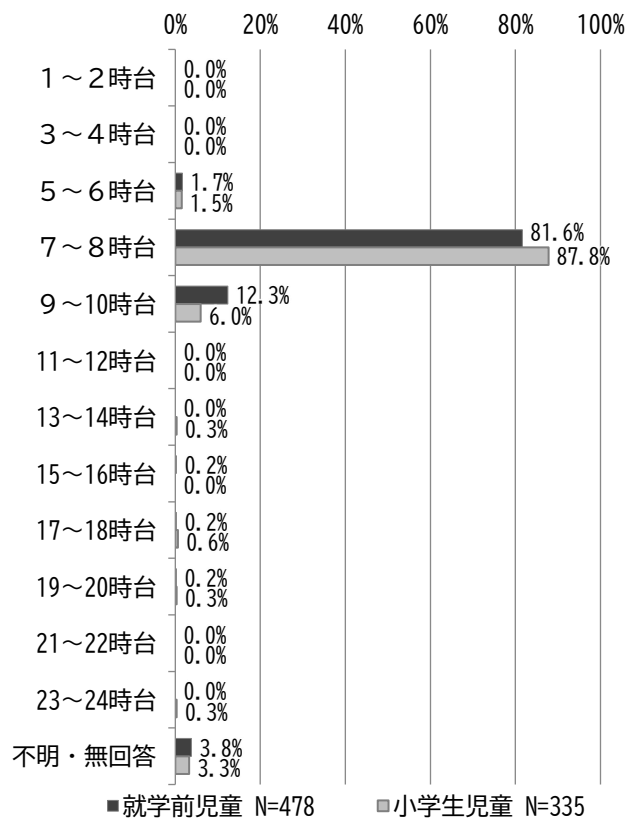


⑤理想の家を出る時間

【母親】

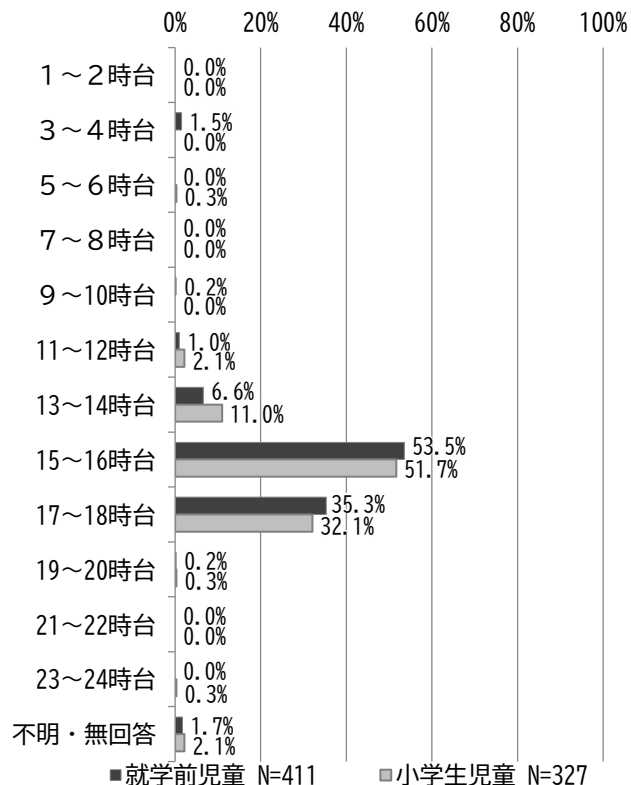


【父親】

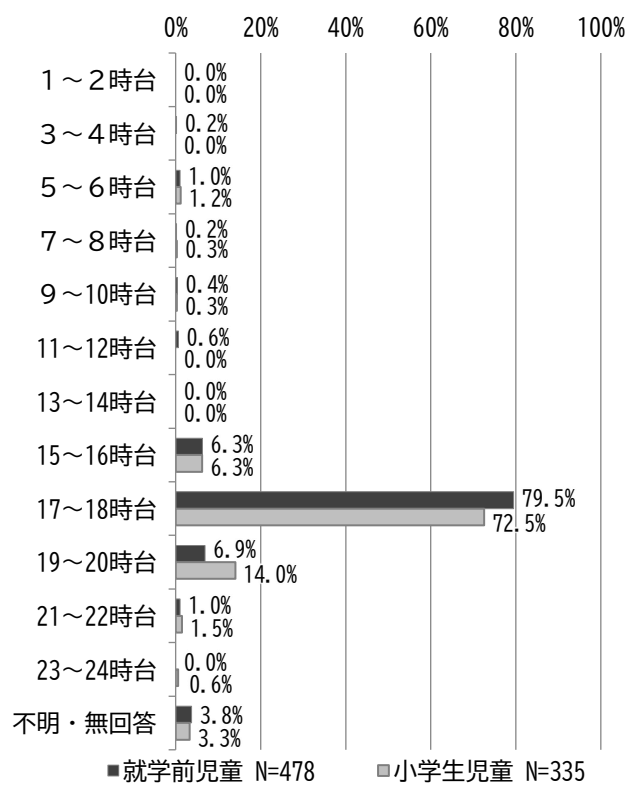


⑥理想の帰宅時間

【母親】



【父親】



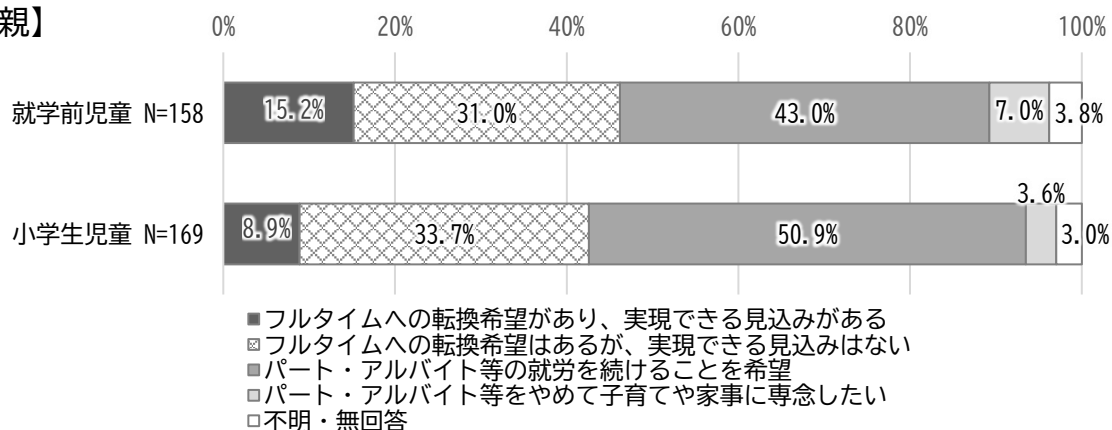
(1) で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等【産休・育休・介護休業中である】」を選んだ方

(2) パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 13、小学生児童調査…問 19〕

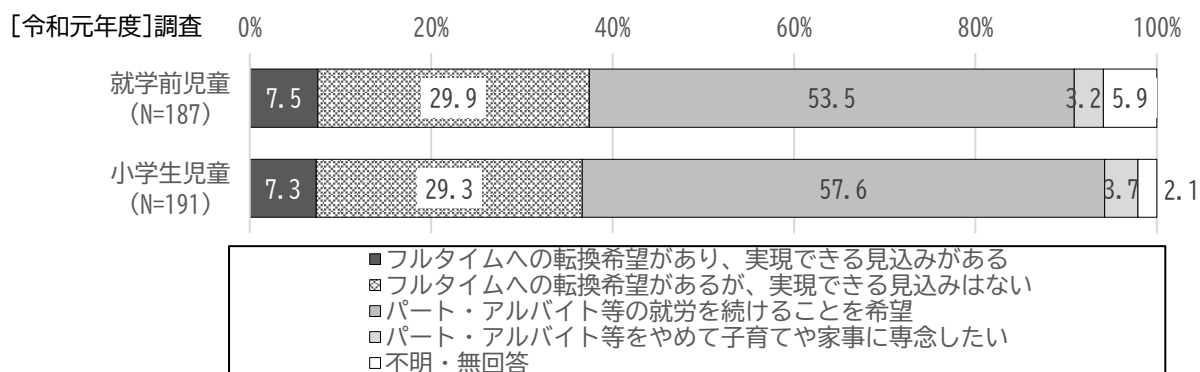
パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望について、就学前児童の母親、小学生児童の母親ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がそれぞれ 43.0%、50.9%と最も高くなっています。

【母親】



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の母親の令和5年度調査結果は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が低くなっています。



【父親】

※就学前児童の父親では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が、1件の回答がありました。小学生児童の父親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件ありました。

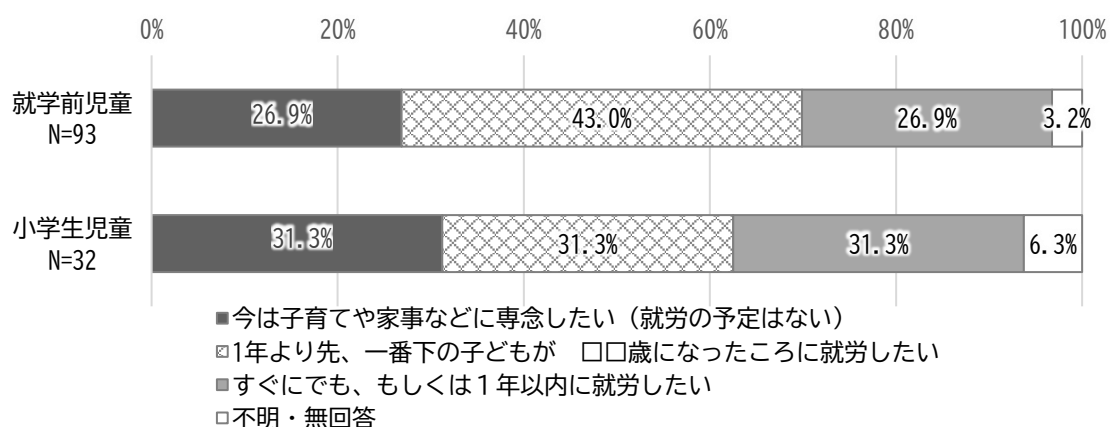
(1) で「以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた」または「これまで就労したことがない」を選んだ方

(3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 14、小学生児童調査…問 20〕

現在就労していない方の就労希望について、就学前児童の母親では、「1 年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい」が 43.0%、小学生児童の母親では、「今子育てや家事などに専念したい」「1 年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 31.3%となっています。

【母親】



【父親】

※就学前児童の父親では、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が、3 件ありました。小学生児童の父親では、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が、2 件、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が、2 件ありました。

一番下の子どもが何歳になれば就労したいかについては、就学前児童、小学生児童ともに「3歳」でそれぞれ47.5%、30.0%と最も高くなっています。

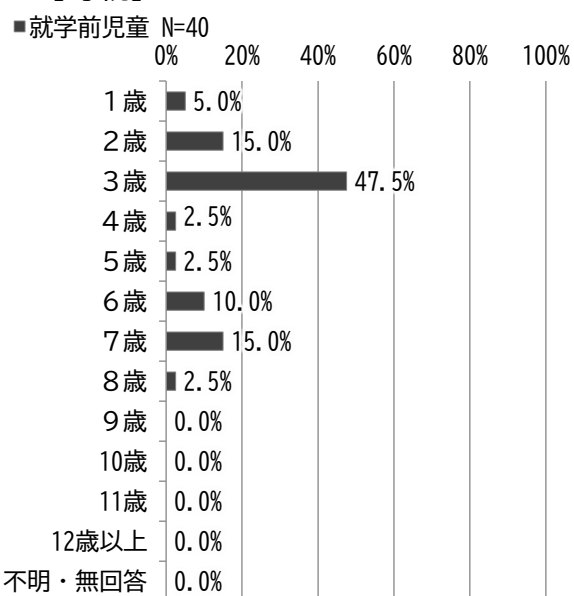
①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」を選んだ方》

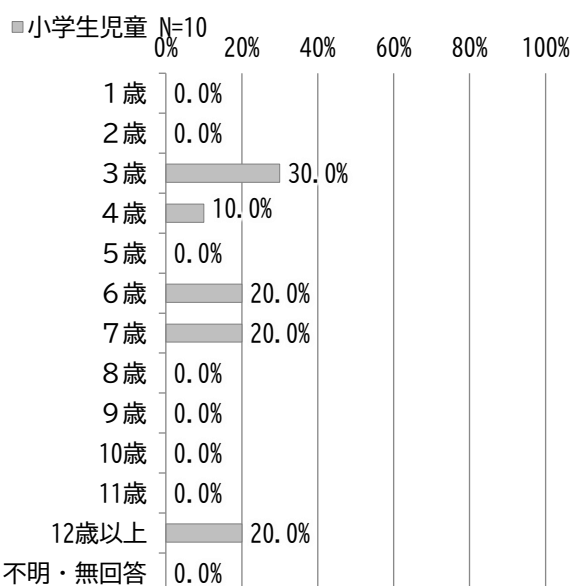
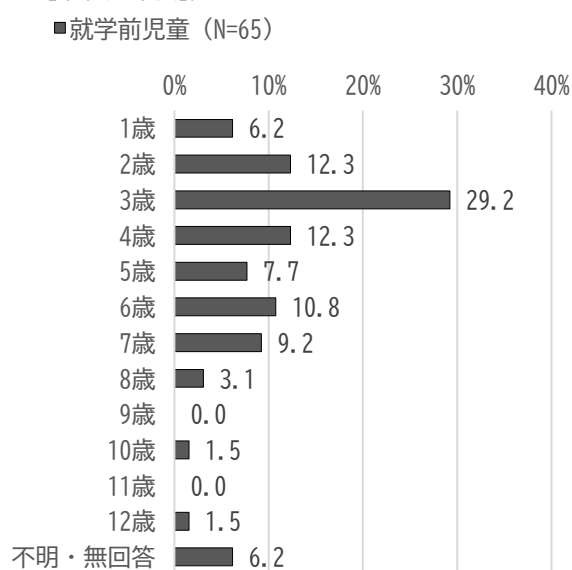
【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の母親の令和5年度調査結果は「3歳」の割合が高くなっています。小学生児童の母親は「4歳」、「12歳以上」が高く、「8歳」、「10歳」が低くなっています。

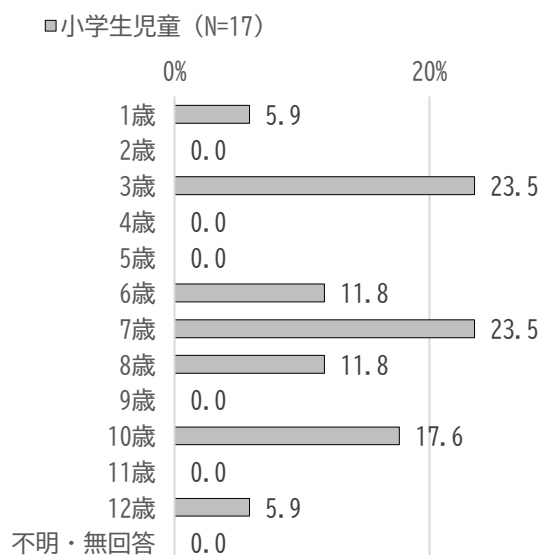
【母親】



[令和元年度]調査



[令和元年度]調査



【父親】

※回答はありませんでした。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態について、「パートタイム、アルバイト等」が就学前児童の母親で76.0%、小学生児童の母親で90.0%と、最も高くなっています。就学前児童父親、小学生児童の父親ともに「フルタイム」が100.0%となっています。

「パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)」を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数について、就学前児童の母親で「4日」、小学生児童の母親で「3日」、希望する1日の就労時間では、就学前児童の母親、小学生児童の母親ともに「5時間」の割合がそれぞれ高くなっています。父親では「パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)」を選んだ方はいませんでした。

②希望する就労形態〈単数回答〉

《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》

希望就労形態	【母親】				【父親】			
	就学前児童		小学生児童		就学前児童		小学生児童	
	N=25		N=10		N=3		N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
フルタイム	6	24.0	1	10.0	3	100.0	2	100.0
パートタイム・アルバイト等	19	76.0	9	90.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

《②で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ方》

【母親】

◎1週当たりの希望就労日数

1週当たり 希望就労日数	就学前児童		小学生児童	
	N=19		N=9	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	1	5.3	0	0.0
3日	4	21.1	4	44.4
4日	8	42.1	3	33.3
5日	6	31.6	2	22.2
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

◎1日当たりの希望就労時間

1日当たり 希望就労日数	就学前児童		小学生児童	
	N=19		N=9	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	0	0.0
2時間	0	0.0	0	0.0
3時間	1	5.3	0	0.0
4時間	3	15.8	2	22.2
5時間	8	42.1	7	77.8
6時間	6	31.6	0	0.0
7時間	0	0.0	0	0.0
8時間	1	5.3	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

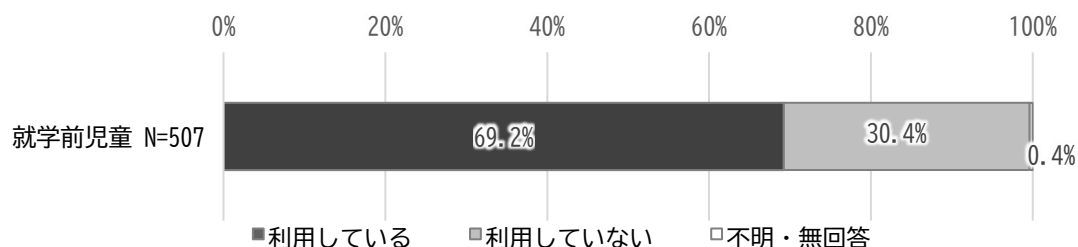
【父親】

※回答はありませんでした。

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（１）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 15〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無について、就学前児童では「利用している」が69.2%と、最も高くなっています。

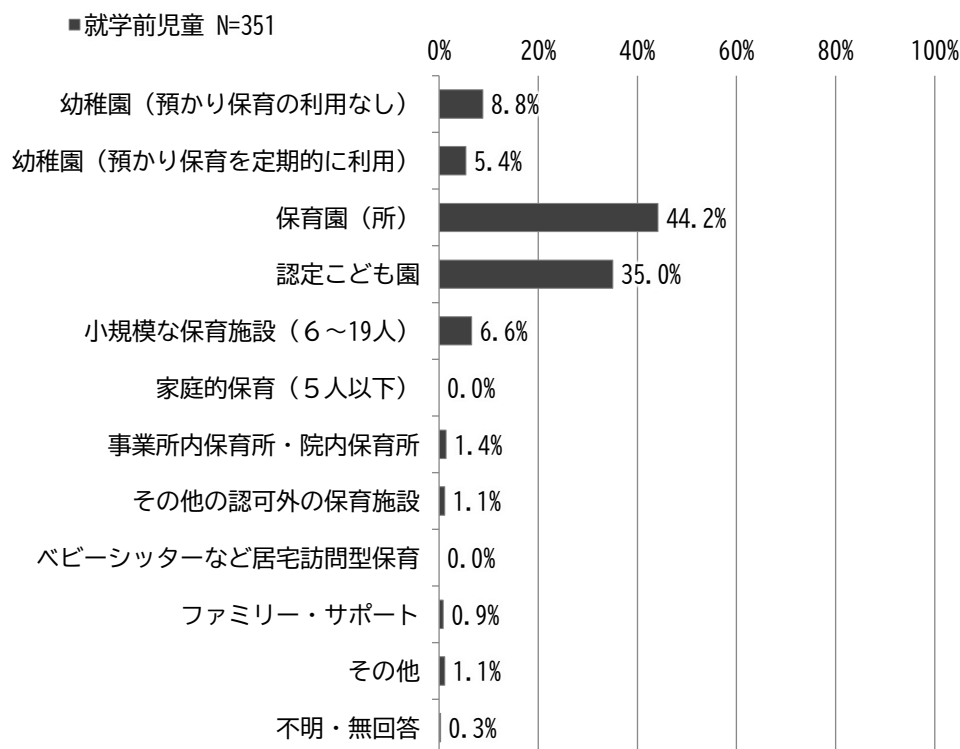


（１）で「利用している」を選んだ方

（１）－１ 平日に利用している定期的な教育・保育事業〈複数回答〉

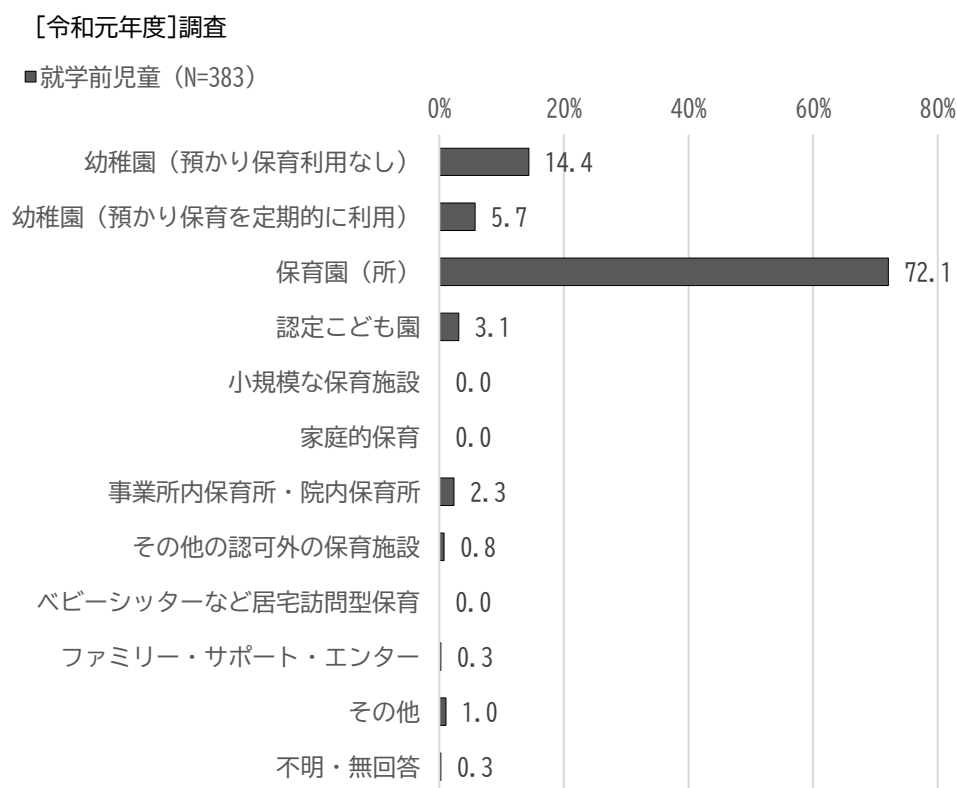
〔就学前児童調査…問 15－１〕

子どもが平日に、どのような教育・保育事業を定期的に利用しているかについて、就学前児童では「保育園（所）」が44.2%と最も高く、次いで「認定こども園」が35.0%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「認定こども園」の割合が高く、「保育園(所)」の割合が低くなっています。

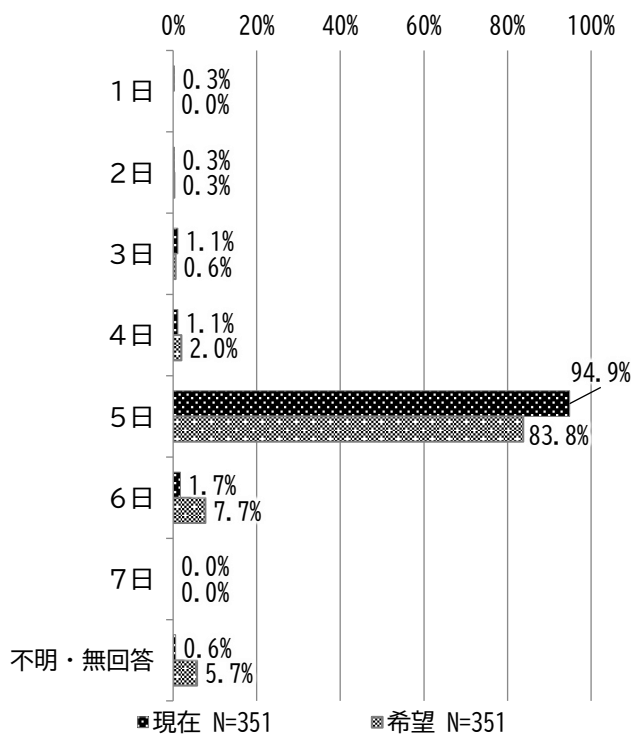


(1)で「利用している」を選んだ方

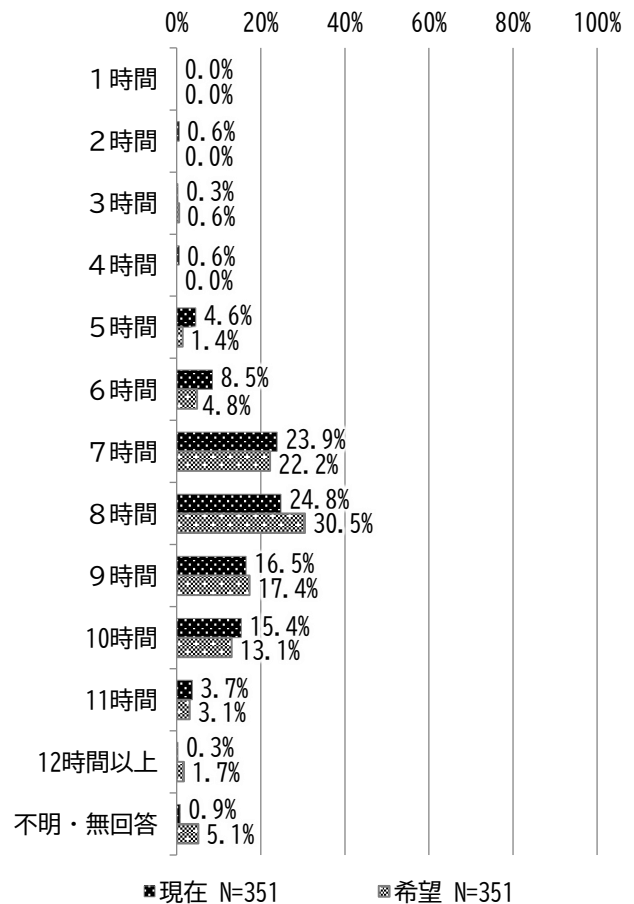
(1)－2 平日、定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔就学前児童調査…問15－2〕

平日、定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用状況と、今後の利用希望について、1週当たりの利用日数は、現在、希望ともに「5日」が、それぞれ94.9%、83.8%と最も高くなっています。1日当たりの利用時間では、現在、希望ともに「8時間」が、それぞれ24.8%、30.5%と最も高くなっています。

① 1週当たりの利用日数

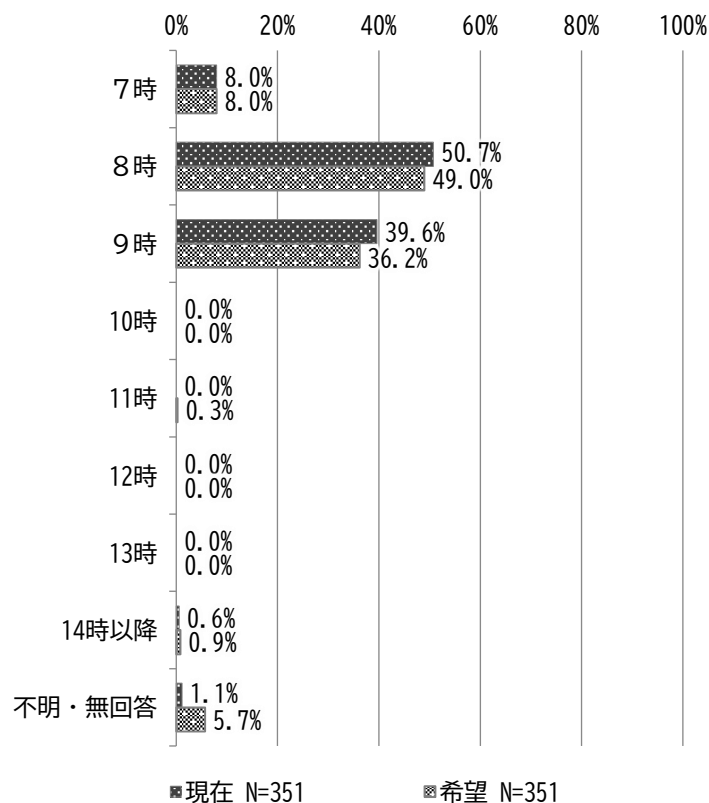


② 1日当たりの利用時間

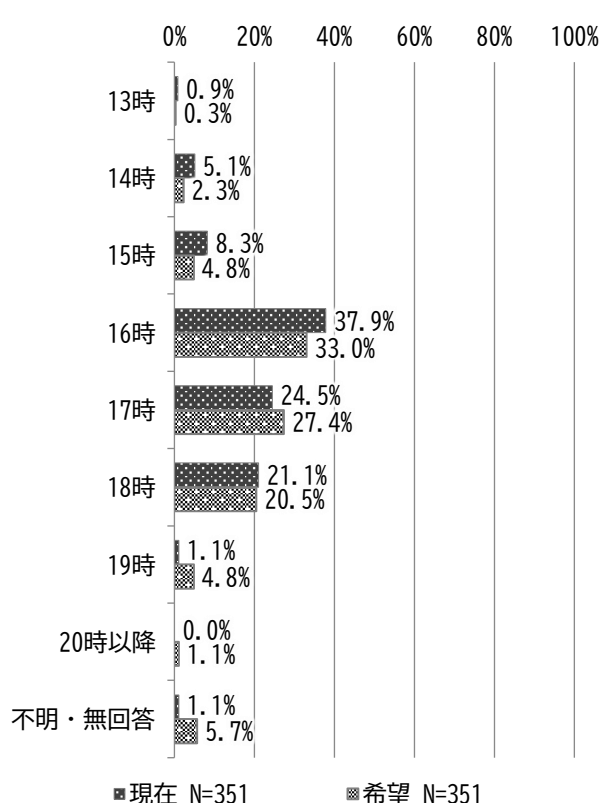


平日、定期的に利用している教育・保育事業の利用開始時間は、現在・希望ともに「8時」がそれぞれ50.7%、49.0%と最も高くなっています。終了時間では、現在・希望ともに「16時」がそれぞれ37.9%、33.0%と最も高くなっています。

③利用開始時間



④利用終了時間

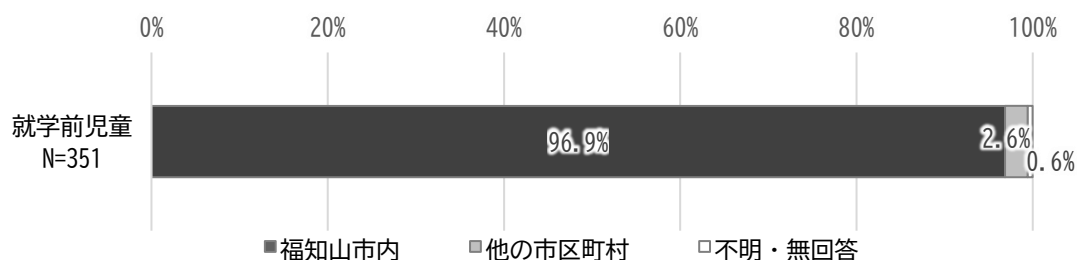


(1) で「利用している」を選んだ方

(1) - 3 平日に利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 15-3〕

現在、利用している教育・保育事業の実施場所について、就学前児童では「福知山市内」が96.9%と最も高くなっています。

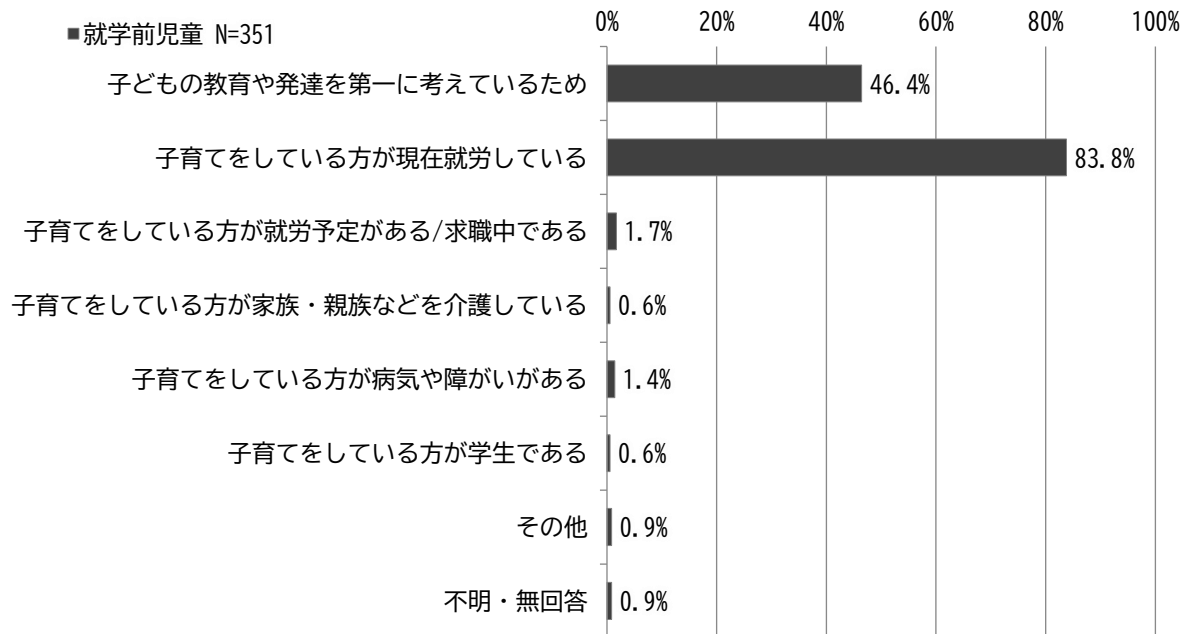


（１）で「利用している」を選んだ方

（１）－４ 平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 15－４〕

平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由について、就学前児童では「子育てをしている方が、現在就労している」が83.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が46.4%となっています。

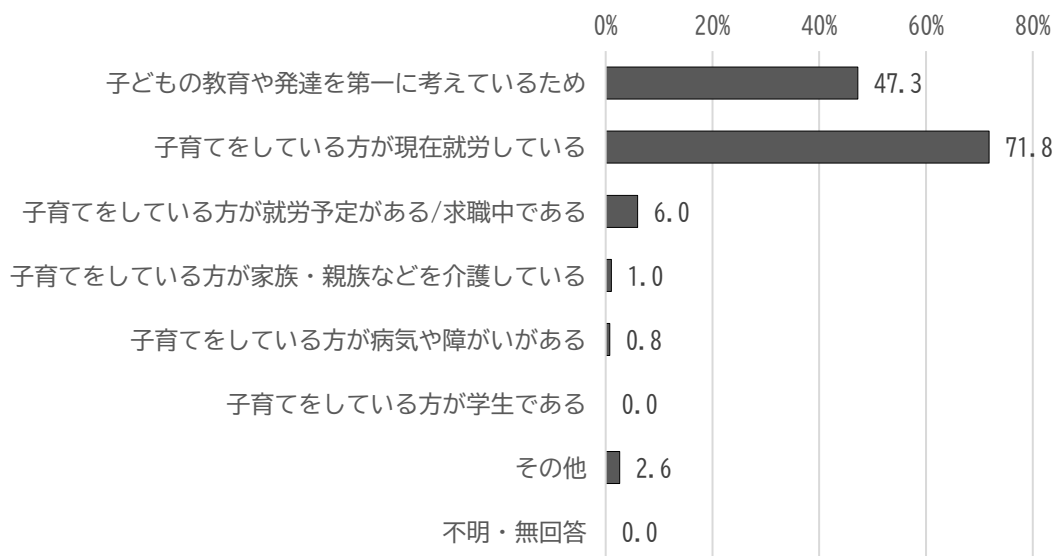


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「子育てをしている方が現在就労している」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査

■就学前児童 (N=383)

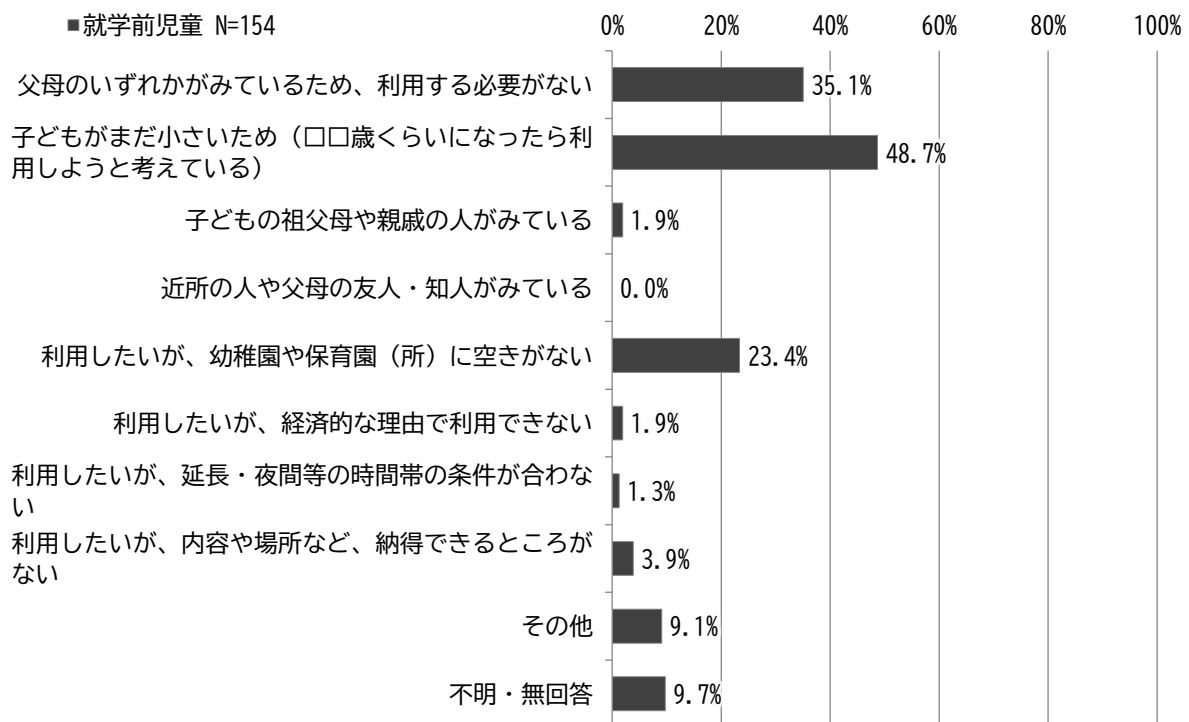


(1) で「利用していない」を選んだ方

(1) - 5 利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 15-6〕

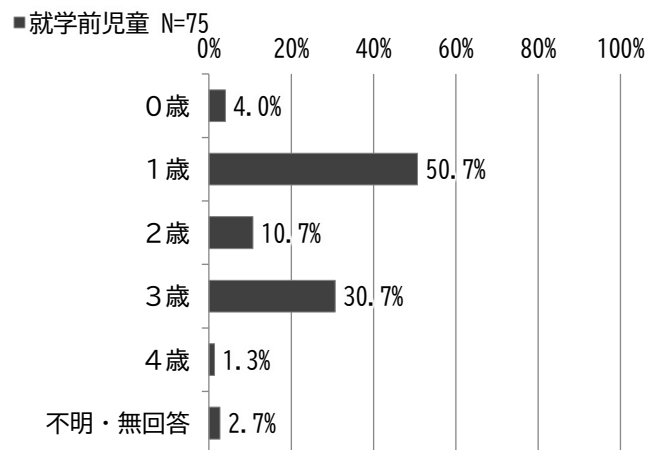
平日に教育・保育事業を利用していない理由について、就学前児童では「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 48.7%と最も高く、次いで「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」が 35.1%となっています。

子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「1歳」が 50.7%と最も高くなっています。



◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

《「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」を選んだ方》



【令和元年度調査結果との比較】

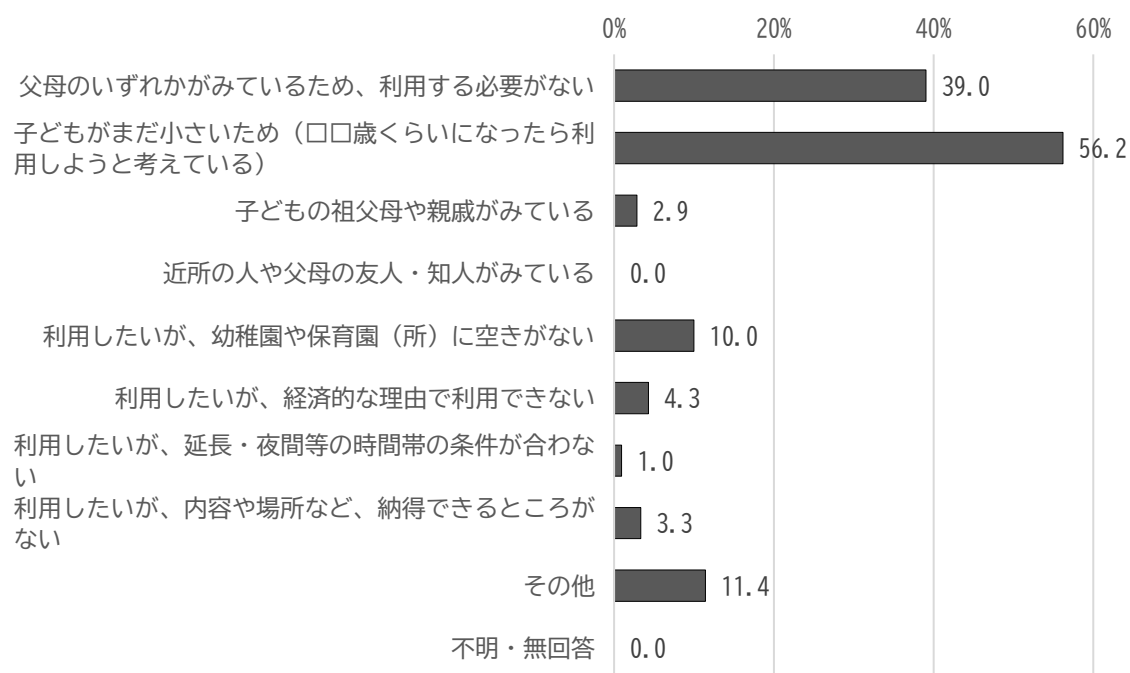
「利用していない理由」の令和5年度調査結果は、「利用したいが、幼稚園や保育園(所)に空きがない」の割合が高くなっています。

「利用したい時の子どもの年齢」の令和5年度調査結果は「1歳」の割合が高くなっています。

利用していない理由

【令和元年度】調査

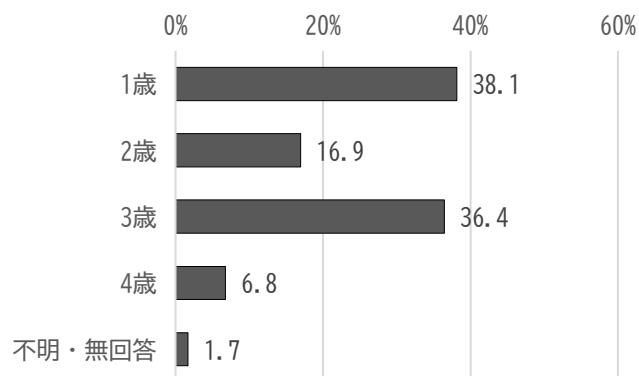
■就学前児童 (N=210)



◎利用したい時の子どもの年齢

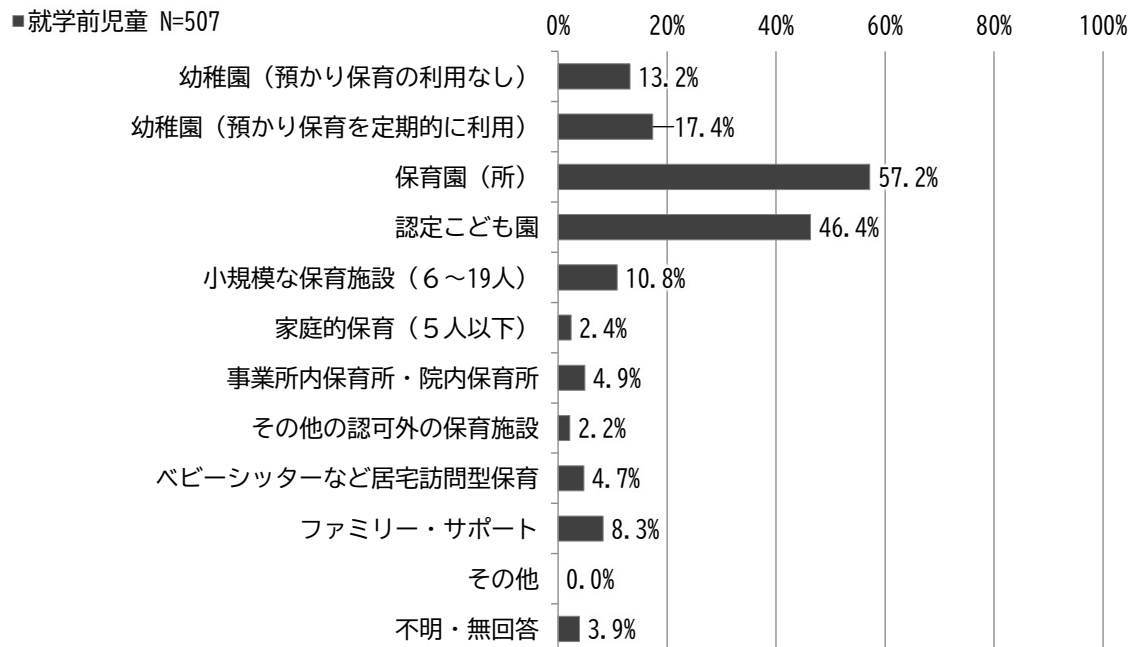
【令和元年度】調査

■就学前児童 (N=118)



(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育として「定期的に」利用したいと考える事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 16〕

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業について、就学前児童では「保育園（所）」が 57.2%と最も高く、次いで「認定こども園」が 46.4%となっています。

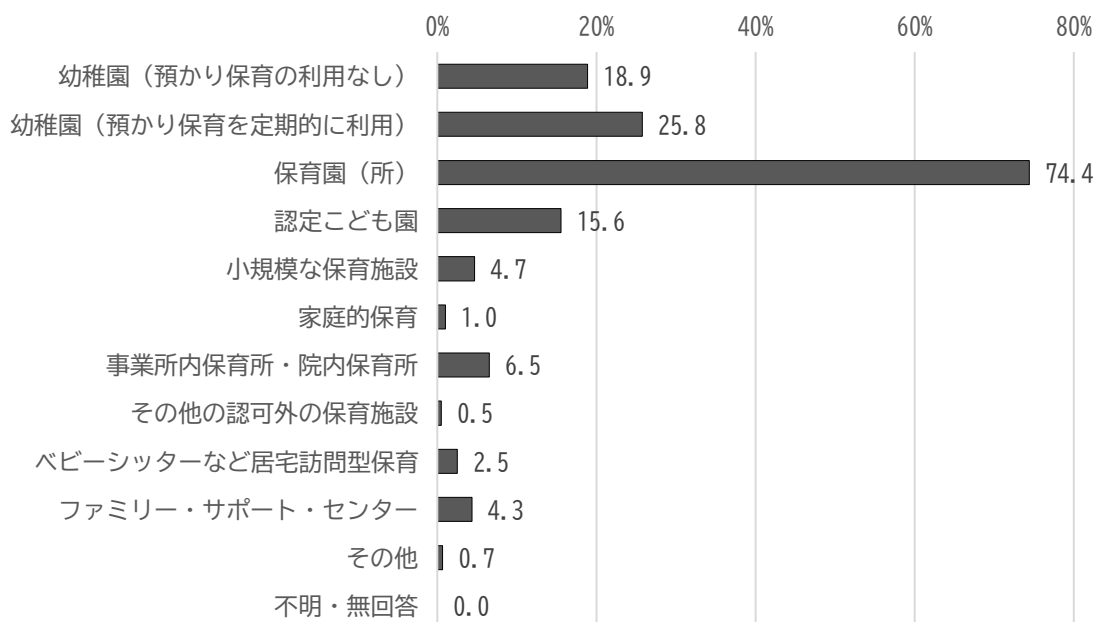


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「認定こども園」の割合が高く、「保育園(所)」の割合が低くなっています。

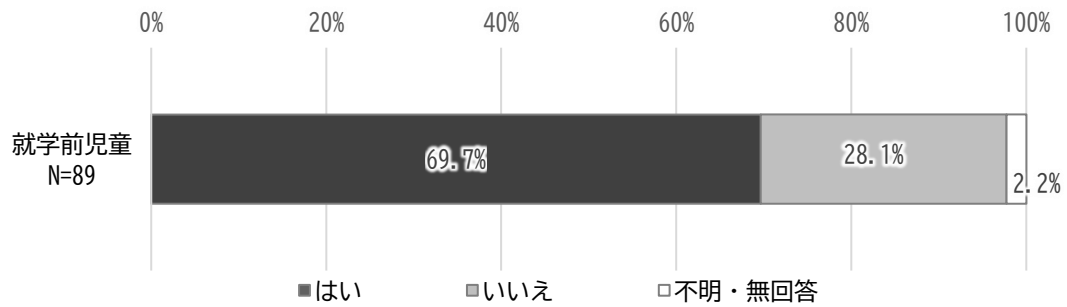
[令和元年度]調査

■就学前児童（N=598）



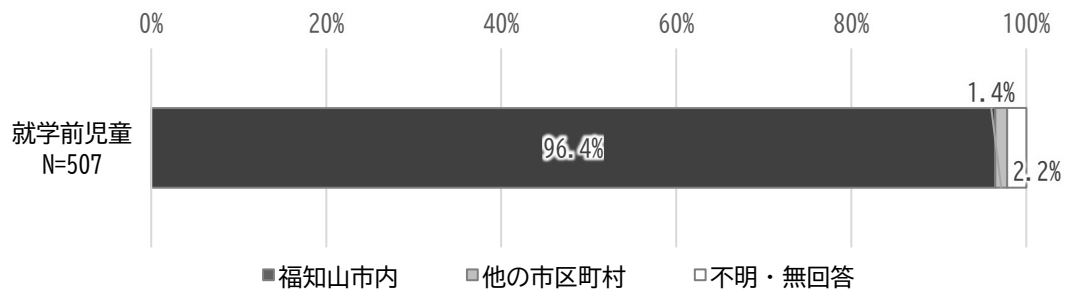
(2) - 1 幼稚園を利用することが理想か〈単数回答〉〔就学前児童調査…問16-1〕

幼稚園を利用することが理想かについて、就学前児童では「はい」が69.7%と最も高くなっています。



(2) - 2 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問16-2〕

教育・保育事業を利用したい場所について、就学前児童では「福知山市内」が96.4%と最も高くなっています。

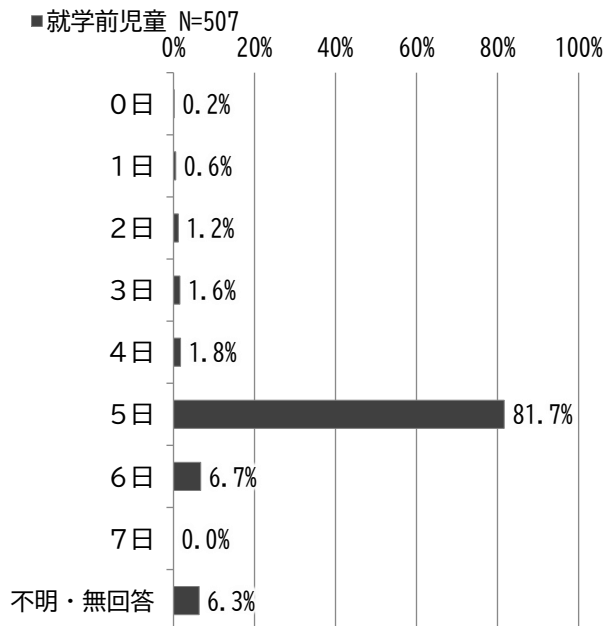


(2) - 3 平日、定期的に利用したい教育・保育事業の利用希望〈数量回答〉

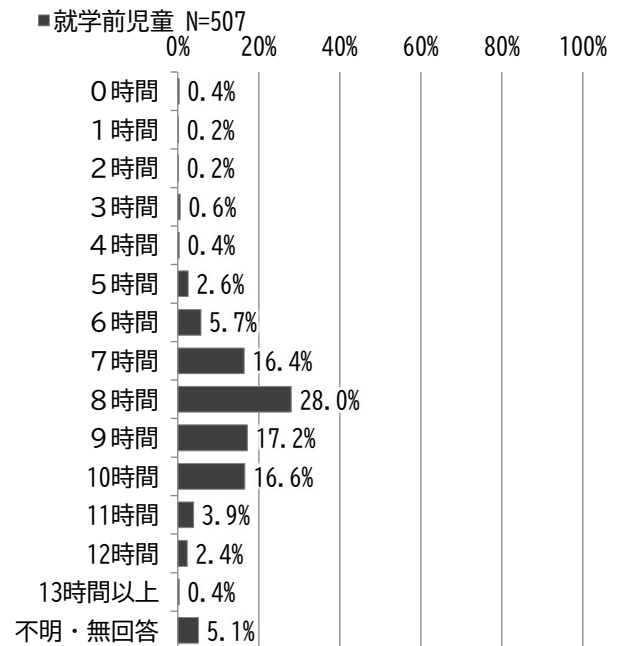
〔就学前児童調査…問 16-3〕

平日、定期的に利用したい教育・保育事業について、どのくらい利用したいかは、就学前児童では、1週当たりでは「5日」が81.7%、1日当たりでは「8時間」が28.0%、利用開始時間では「8時」が46.7%、終了時間では「16時」が27.4%とそれぞれ最も高くなっています。

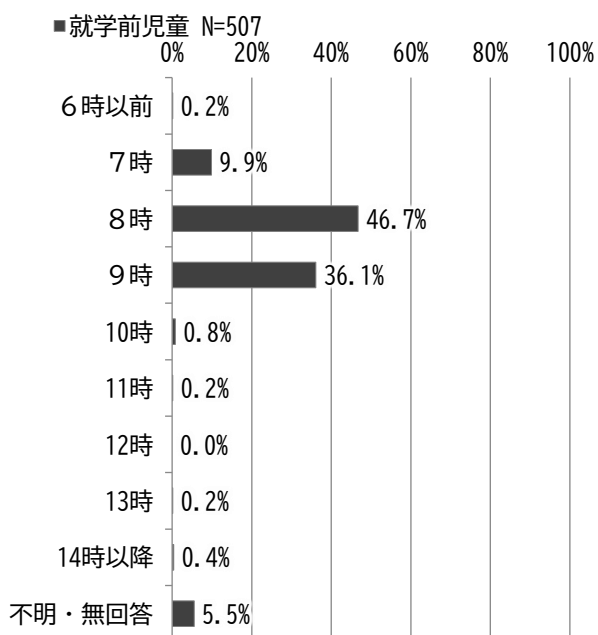
【1週当たり】



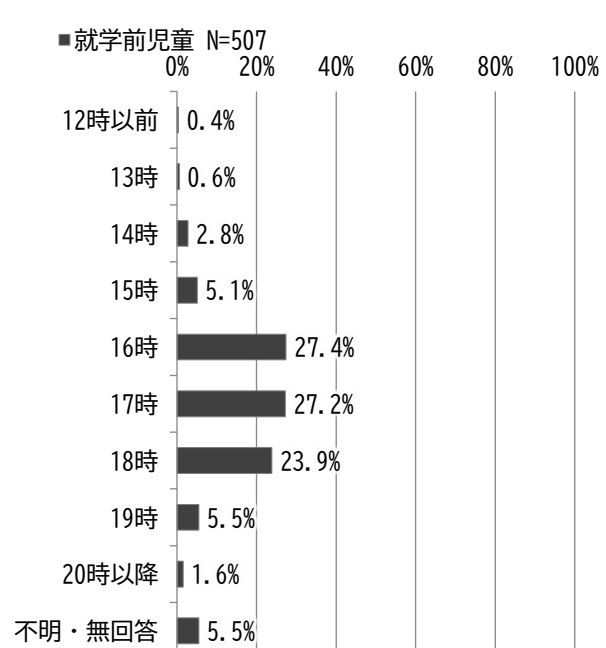
【1日当たり】



【開始時間】



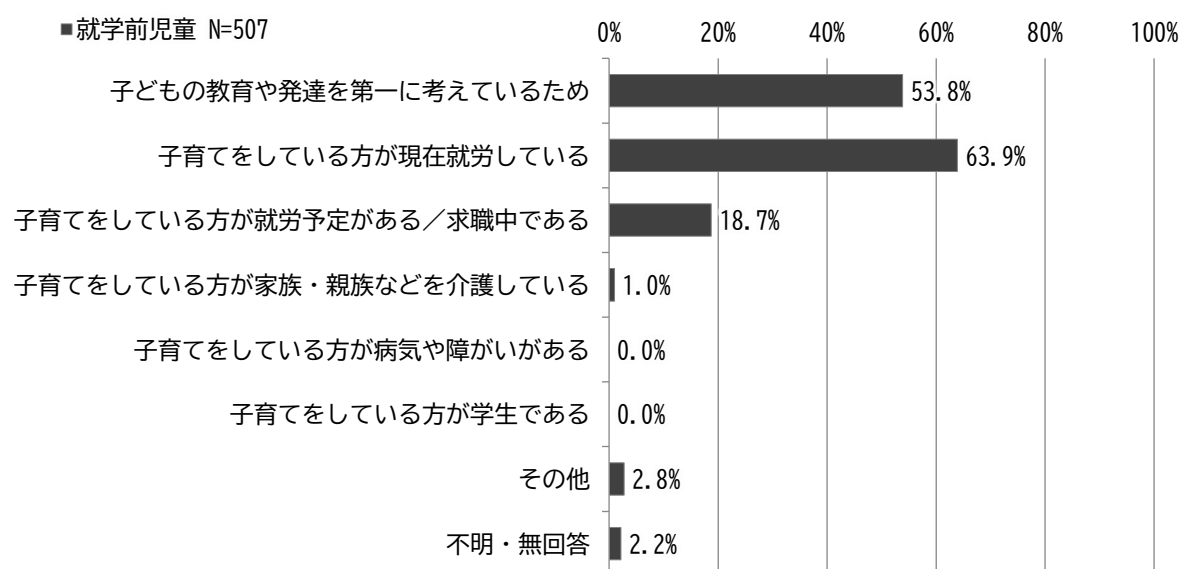
【終了時間】



（２）－４ 平日、定期的に教育・保育事業を利用したい理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問１６－４〕

平日、定期的に教育・保育事業を利用したい理由について、就学前児童では「子育てをしている方が、現在就労している」が63.9%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が53.8%となっています。

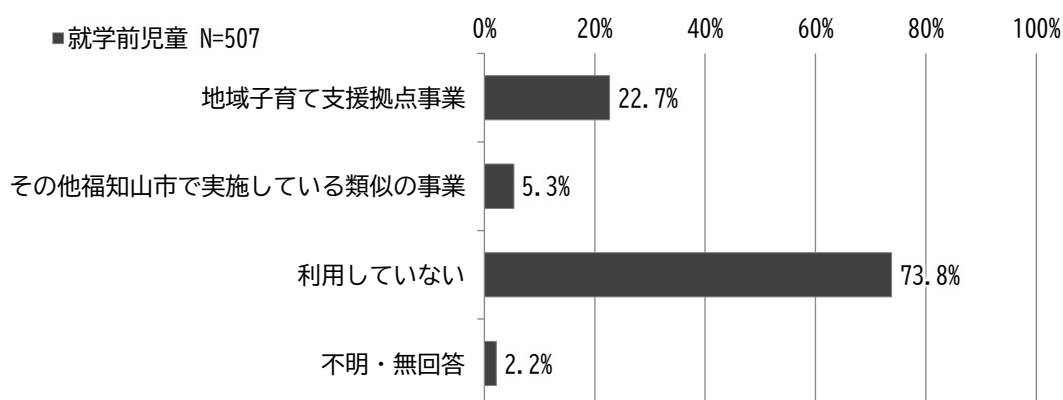


5 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）

（１）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 17〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、就学前児童では「地域子育て支援拠点事業」が22.7%、「その他福知山市で実施している類似の事業」が5.3%となっています。

「地域子育て支援拠点事業」「その他福知山市で実施している類似の事業」で、1週当たりの利用回数「1回」の割合が、それぞれ高くなっています。



◎ 1週当たりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他福知山市で実施している類似の事業」を選んだ方》

利用回数	地域子育て支援拠点事業		その他福知山市で実施している類似の事業	
	1週あたり		1週あたり	
	N=115		N=27	
	件数	%	件数	%
0回	23	20.0	9	33.3
1回	71	61.7	13	48.1
2回	12	10.4	3	11.1
3回	4	3.5	2	7.4
4回	3	2.6	0	0.0
5回以上	2	1.7	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

【令和元年度調査結果との比較】

「地域子育て支援拠点事業」の令和5年度調査結果は、1週当たりの利用回数で「1回」の割合が高くなっています。「その他の福知山市で実施している類似の事業」は、1週当たりの利用回数で「2回」「3回」の割合が高くなっています。

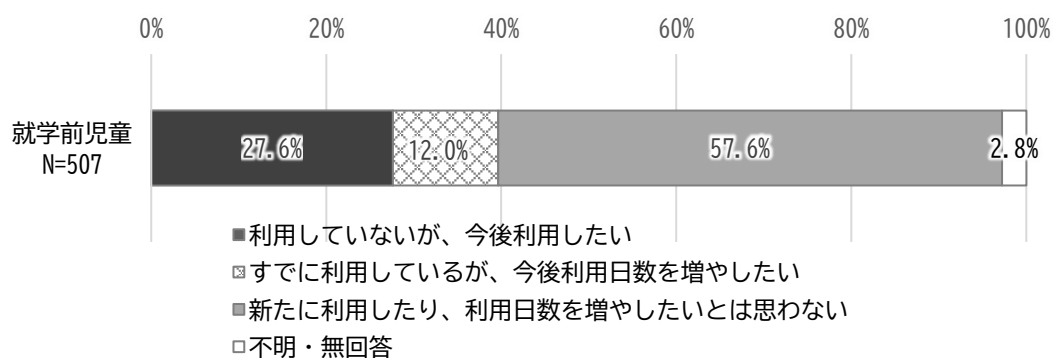
[令和元年度]調査

利用回数	地域子育て支援拠点事業				その他福知山市で実施している 類似の事業			
	1週あたり		1ヵ月あたり		1週あたり		1ヵ月あたり	
	N=99		N=99		N=10		N=10	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1回	14	14.1	43	43.5	4	40.0	7	70.0
2回	3	3.0	22	22.2	0	0.0	1	10.0
3回	5	5.1	10	10.1	0	0.0	1	10.0
4回	2	2.0	3	3.0	0	0.0	1	10.0
5回以上	2	2.0	4	4.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	73	73.8	17	17.2	6	60.0	0	0.0

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問18〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、就学前児童では「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.0%、「利用していないが、今後利用したい」が27.6%、となっています。

「利用していないが、今後利用したい」方の1週当たりの利用希望回数は「1回」が70.0%と高くなっています。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方の1週当たりの利用希望回数は「1回」が44.3%とそれぞれ高くなっています。



◎ 1週当たりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

利用回数	利用していないが 今後利用したい		すでに利用しているが今 後利用日数を増やしたい	
	1週あたり		1週あたり	
	N=140		N=61	
	件数	%	件数	%
0回	5	3.6	1	1.6
1回	98	70.0	27	44.3
2回	23	16.4	18	29.5
3回	8	5.7	10	16.4
4回	1	0.7	1	1.6
5回以上	2	1.4	3	4.9
不明・無回答	3	2.1	1	1.6

【令和元年度調査結果との比較】

「利用していないが今後利用したい」の令和5年度調査結果は、1週当たりの利用回数で「1回」の割合が高くなっています。「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」は、1週当たりの利用回数で「1回」「2回」「3回」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査

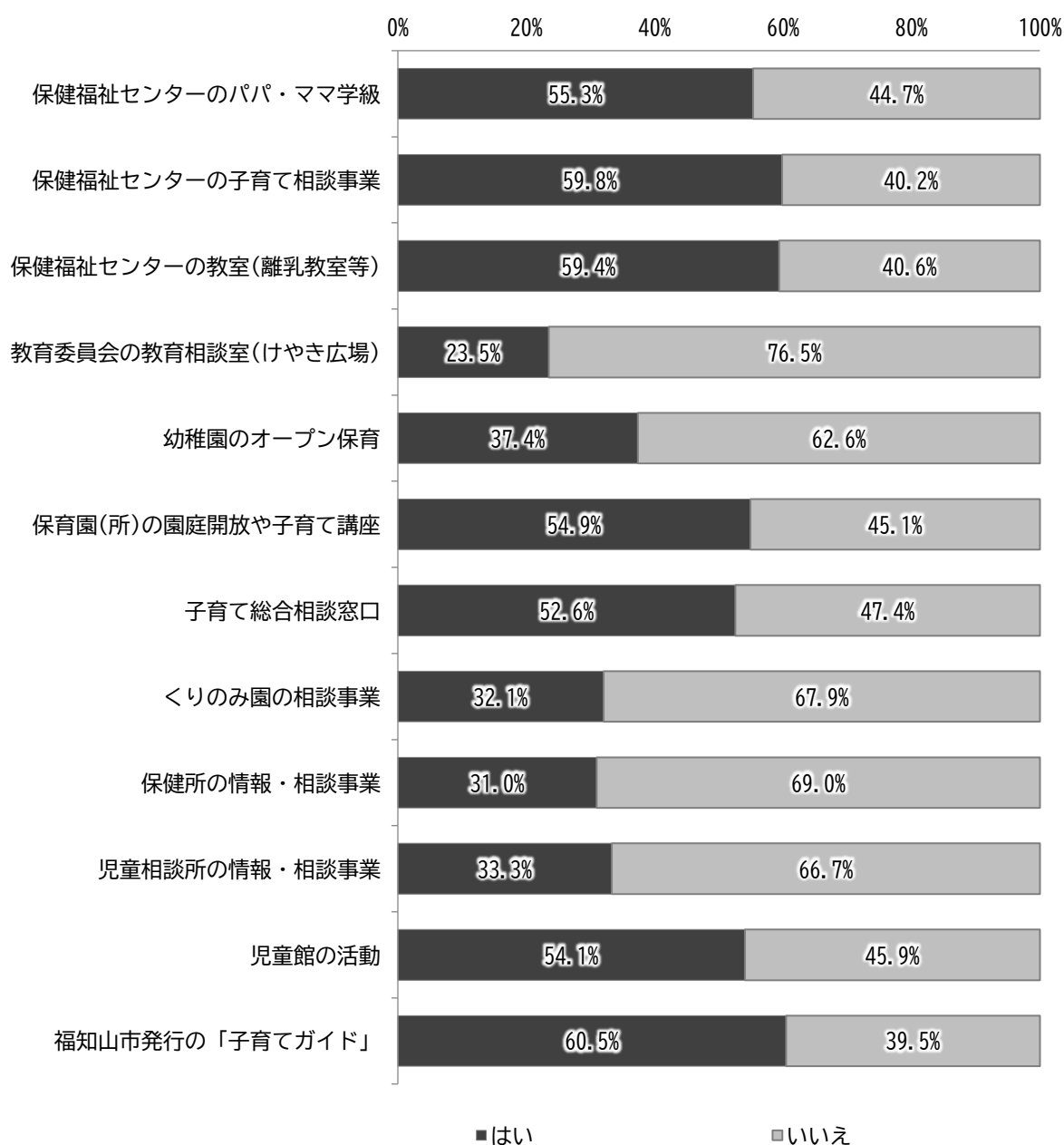
利用回数	利用していないが 今後利用したい				すでに利用しているが 今後利用日数を増やしたい			
	1週あたり		1ヵ月あたり		1週あたり		1ヵ月あたり	
	N=146		N=146		N=56		N=56	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1回	47	32.2	55	37.7	7	12.5	4	7.1
2回	16	11.0	36	24.7	4	7.1	6	10.7
3回	5	3.4	14	9.6	0	0.0	7	12.5
4回	0	0.0	17	11.6	0	0.0	0	0.0
5回以上	1	0.7	7	4.8	0	0.0	2	3.6
不明・無回答	77	52.7	17	11.6	45	80.4	37	66.1

(3) 子育てに関する機関や子育てサービスの認知度と利用経験、今後の利用意向

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問19〕

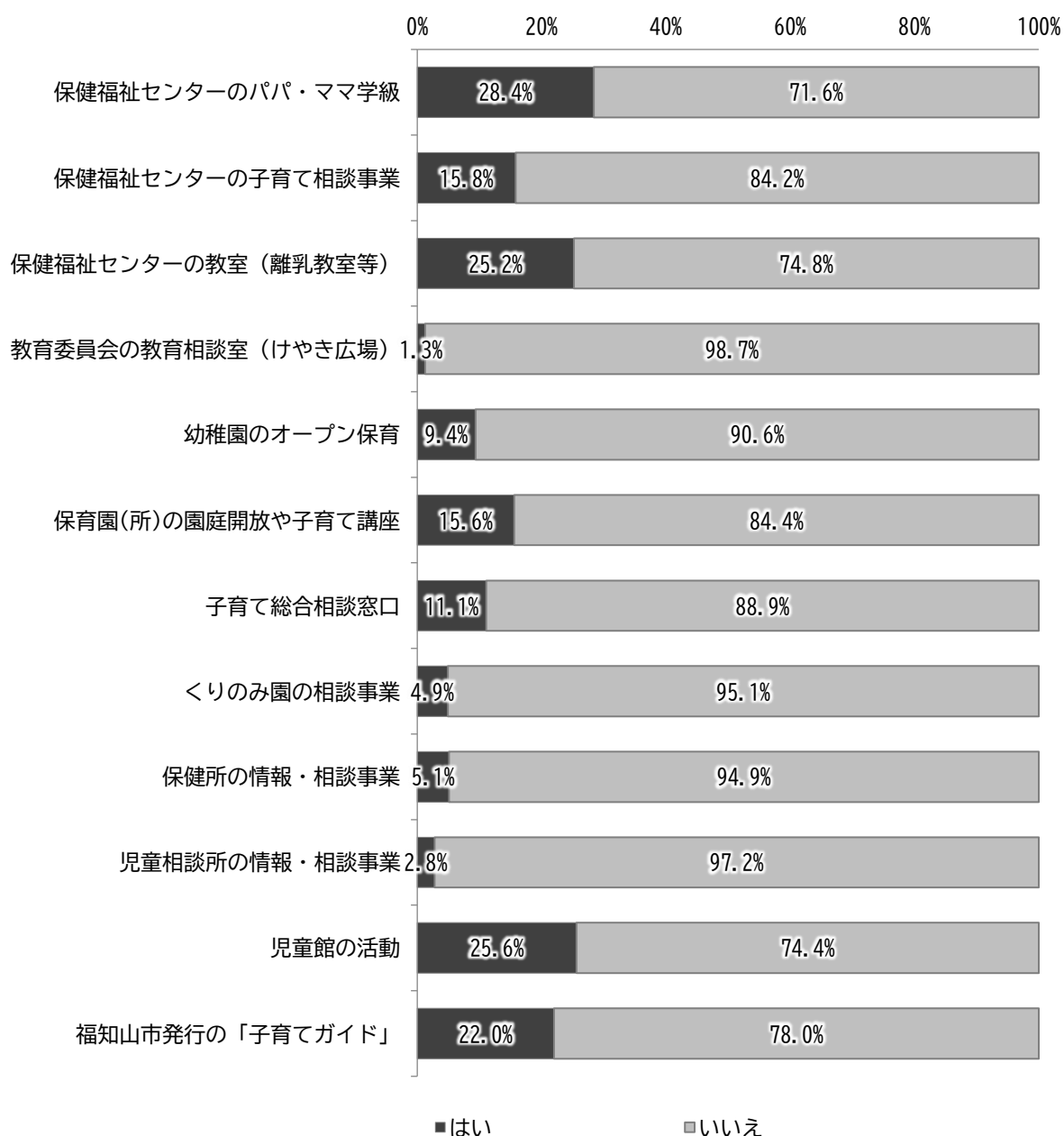
子育てに関する機関や子育てサービスの事業で知っているものについて、就学前児童では「保健センターのパパ・ママ学級」「保健福祉センターの子育て相談事業」「保健センターの教室(離乳教室等)」「保育園(所)の園庭開放や子育て講座」「子育て総合相談窓口」「児童館の活動」「福知山市発行の「子育てガイド」」で「はい」が5割以上、一方、「教育委員会の教育相談室(けやき広場)」で「いいえ」が7割以上となっています。

①認知度



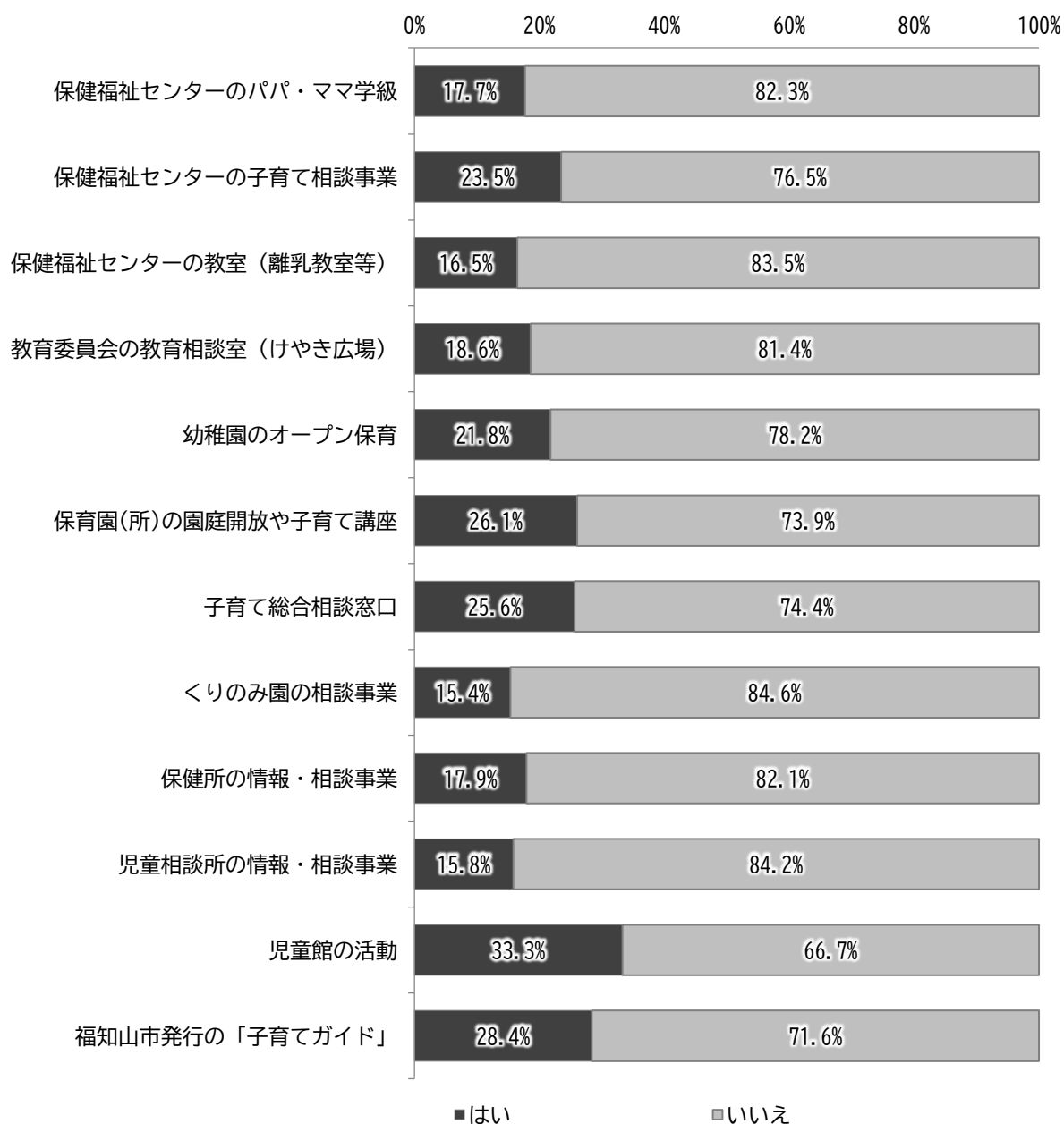
子育てに関する機関や子育てサービスの事業で利用したことがあるものについて、就学前児童では「保健福祉センターのパパ・ママ学級」が最も高く、「教育委員会の教育相談室(けやき広場)」「幼稚園のオープン保育」「くりのみ園の相談事業」「保健所の情報・相談事業」「児童相談所の情報・相談事業」で「いいえ」が9割以上となっています。

②利用経験



子育てに関する機関や子育てサービスの事業のうち、今後利用したいと思うものについて、就学前児童では「児童館の活動」が最も高く、「保健福祉センターのパパ・ママ学級」「保健福祉センターの教室（離乳教室等）」「教育委員会の教育相談室（けやき広場）」「くりのみ園の相談事業」「保健所の情報・相談事業」「児童相談所の情報・相談事業」で「いいえ」が8割以上となっています。

③今後の利用意向



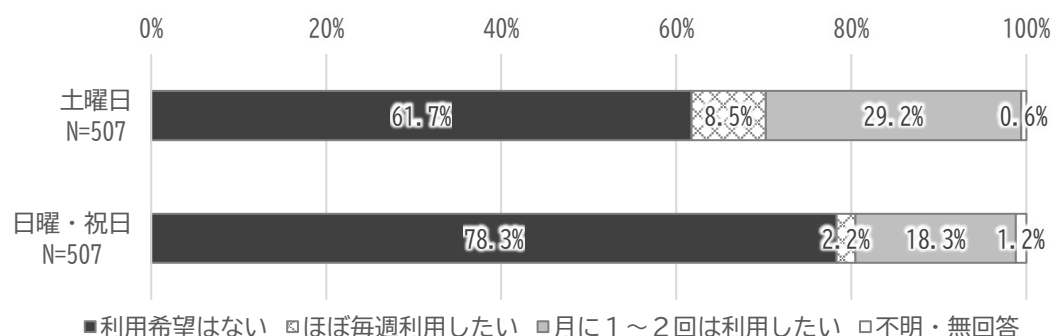
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（１）土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20〕

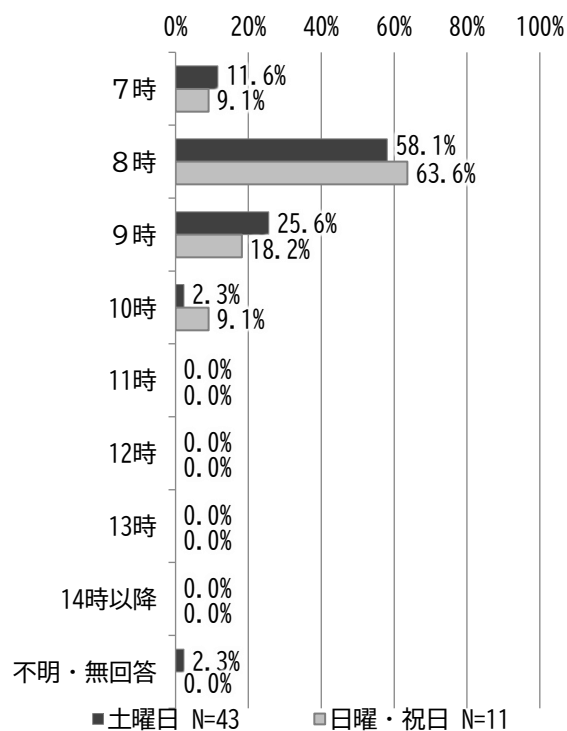
土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、就学前児童では「利用希望はない」が土曜日で 61.7%、日曜日・祝日で 78.3%、「月に 1～2 回は利用したい」が土曜日で 29.2%、日曜日・祝日で 18.3%となっています。

希望する利用時間帯について、「ほぼ毎週利用したい」方は、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8 時」の割合が高く、それぞれ 58.1%、63.6%となっています。終了時間では、土曜日で「17 時」が 30.2%、日曜日・祝日で「18 時」が 45.5%と最も高くなっています。「月に 1～2 回は利用したい」方は、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8 時」の割合が高く、それぞれ 53.4%、55.9%となっています。終了時間では、土曜日で「17 時」が 29.1%、日曜日・祝日で「18 時」が 31.2%と最も高くなっています。

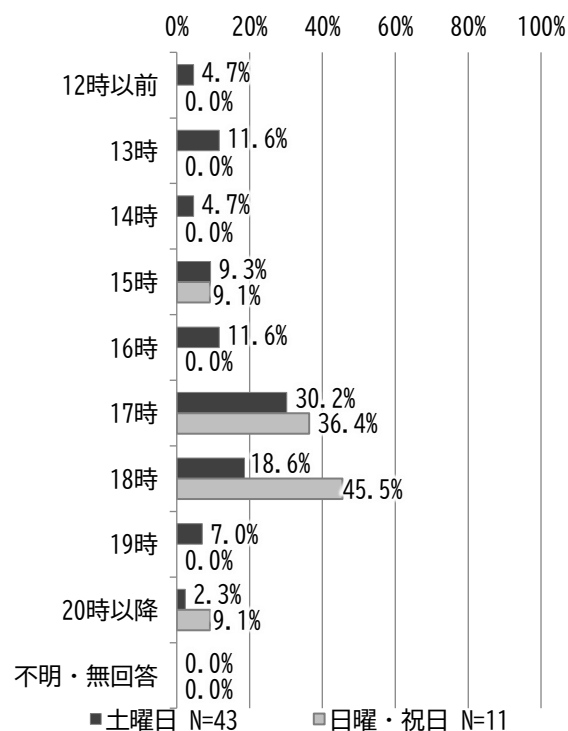


◎希望利用時間帯〈数量回答〉《「ほぼ毎週利用したい」を選んだ方》

【開始時間】

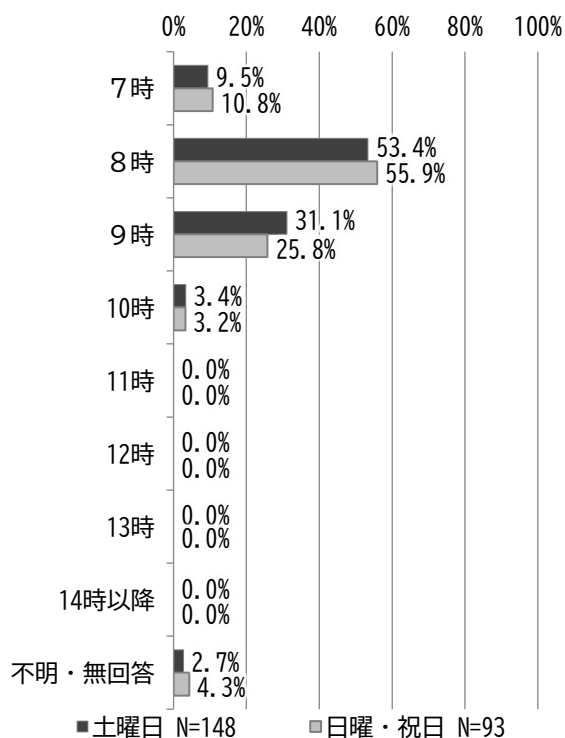


【終了時間】

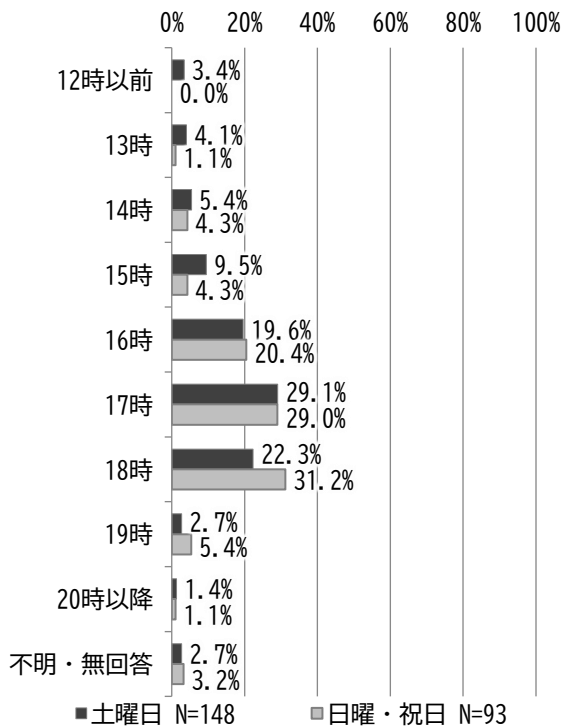


◎希望利用時間帯〈数量回答〉《「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

【開始時間】



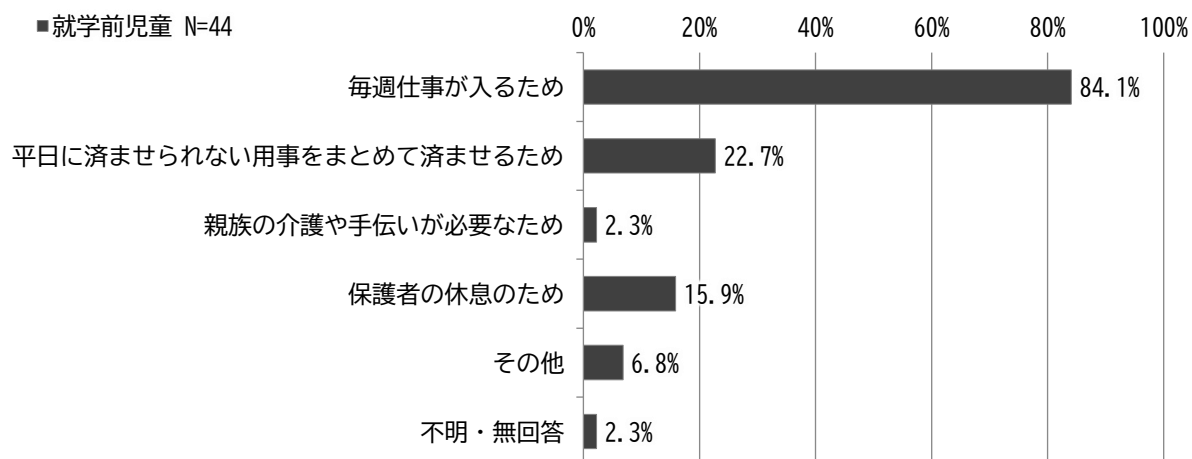
【終了時間】



(1) で「ほぼ毎週利用したい」を選んだ方

(1) - 1 毎週利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 20-1〕

毎週利用したい理由について、就学前児童では「毎週仕事が入るため」が 84.1%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 22.7%となっています。

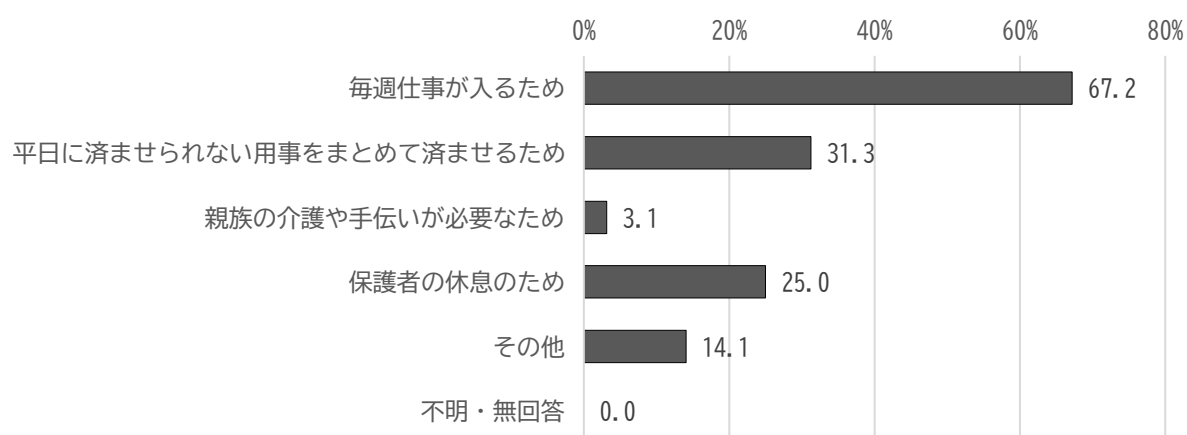


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の5年度調査結果は、「毎週仕事が入るため」の割合が高くなっています。

[令和元年度]調査

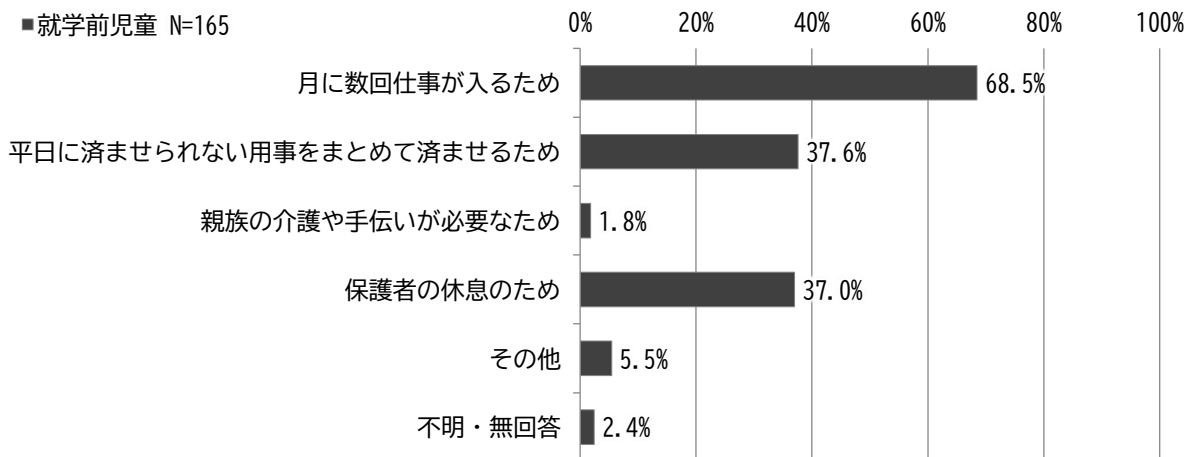
■就学前児童 (N=64)



(1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1)－2 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 20－2〕

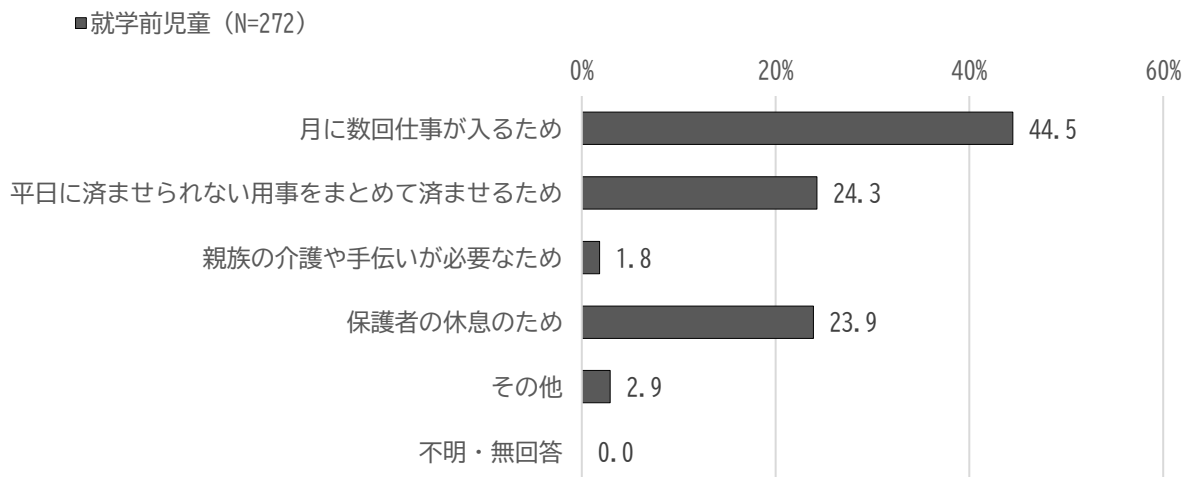
毎週ではなく、たまに利用したい理由について、就学前児童では「月に数回仕事が入るため」が68.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が37.6%、「保護者の休息のため」が37.0%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「月に数回仕事が入るため」「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「保護者の休息のため」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査



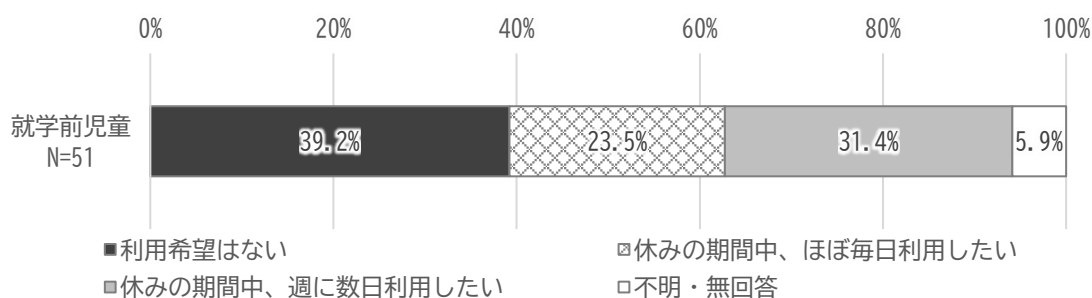
「幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 21〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について、就学前児童では「利用希望はない」が39.2%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が31.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.5%となっています。

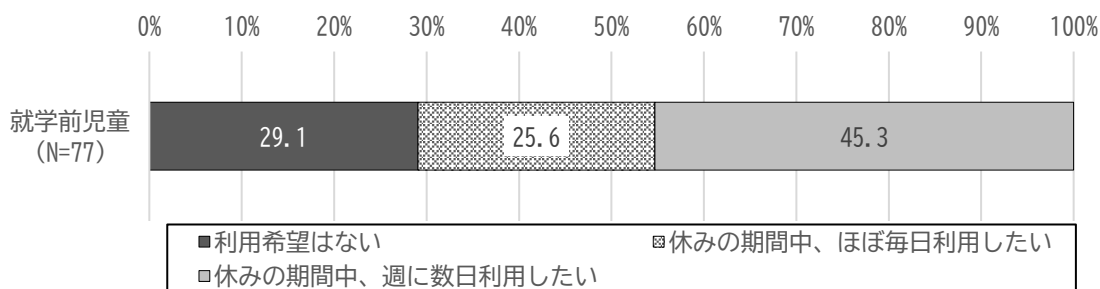
希望する利用時間帯については、開始時間では、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」とともに「9時」、終了時間でもともに「16時」の割合が、それぞれ高くなっています。「休みの期間中、週に数日利用したい」は「15時」も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「利用希望はない」の割合が高く、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が低くなっています。

〔令和元年度〕調査



◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」を選んだ方》

【開始時間】	N=12	
	件数	%
7時台以前	0	0.0
8時	5	41.7
9時	6	50.0
10時	0	0.0
不明・無回答	1	8.3

【終了時間】	N=12	
	件数	%
13時台以前	0	0.0
14時	0	0.0
15時	2	16.7
16時	5	41.7
17時	4	33.3
18時	0	0.0
19時以降	0	0.0
不明・無回答	1	8.3

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

【開始時間】	N=16	
	件数	%
7時台以前	2	12.5
8時	6	37.5
9時	7	43.8
10時	1	6.3
不明・無回答	0	0.0

【終了時間】	N=16	
	件数	%
13時台以前	0	0.0
14時	2	12.5
15時	5	31.3
16時	5	31.3
17時	3	18.8
18時	0	0.0
19時以降	1	6.3
不明・無回答	0	0.0

（２）で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」を選ばれた方

（２）－１ ほぼ毎日利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問２１－１〕

ほぼ毎日利用したい理由について、就学前児童では「ほぼ毎日仕事が入るため」が１０件で８３．３％となっています。

就学前児童	N=12	
	件数	%
ほぼ毎日仕事が入るため	10	83.3
親族の介護や手伝いが必要なため	1	8.3
その他	1	8.3
不明・無回答	1	8.3

【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和５年度調査結果は、「ほぼ毎日仕事が入るため」の割合が高くなっています。

[令和元年度]調査

就学前児童	N=30	
	件数	%
ほぼ毎日仕事が入るため	21	70.0
親族の介護や手伝いが必要なため	1	3.3
その他	8	26.7
不明・無回答	0	0.0

(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2)－2 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問21－2〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由について、就学前児童では「週に数回仕事が入るため」と「保護者の休息のため」が7件で43.8%となっています。

就学前児童	N=16	
	件数	%
週に数回仕事が入るため	7	43.8
買い物等の用事をまとめて済ませるため	5	31.3
親等親族の介護や手伝いが必要なため	1	6.3
保護者の休息のため	7	43.8
その他	2	12.5
不明・無回答	2	12.5

【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「週に数回仕事が入るため」の割合が高くなっています。

[令和元年度]調査

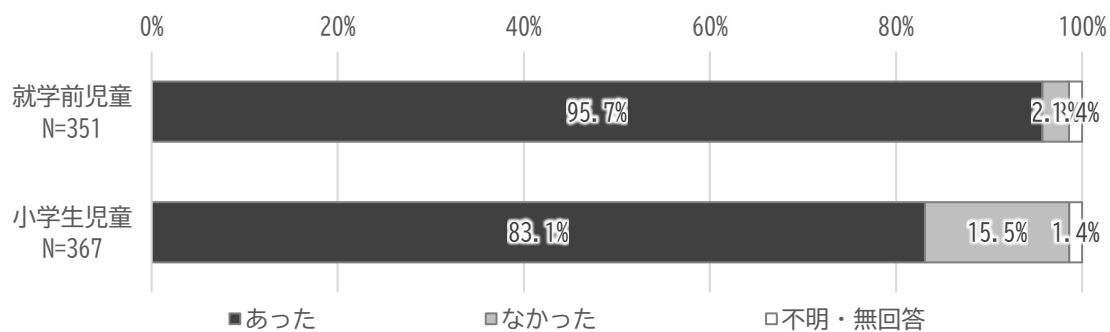
就学前児童	N=53	
	件数	%
週に数回仕事が入るため	17	32.1
買い物等の用事をまとめて済ませるため	12	22.6
親等親族の介護や手伝いが必要なため	2	3.8
保護者の休息のため	18	34.0
その他	4	7.5
不明・無回答	0	0.0

7 病気の際の対応について

就学前児童は平日の教育・保育事業を利用する方のみ

(1) この1年間に、子どもが病気やケガで幼稚園、保育園(所)など、または、小学校を休んだことの有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問22、小学生児童調査…問28〕

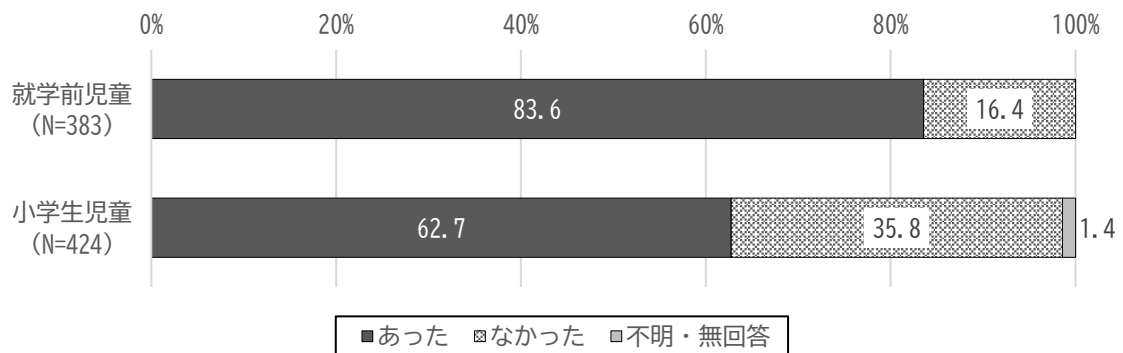
この1年間に、子どもが病気やケガで幼稚園、保育所(所)、または、小学校を休んだことの有無については「あった」が就学前児童で95.7%、小学生児童で83.1%と最も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童、小学生児童ともに令和5年度調査結果は、「あった」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査

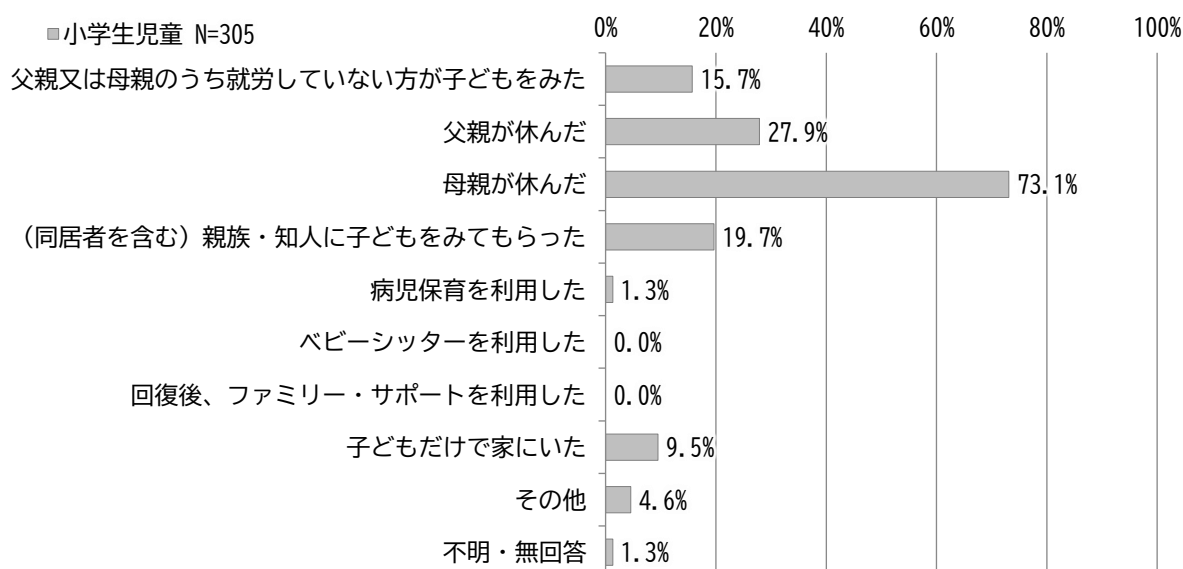
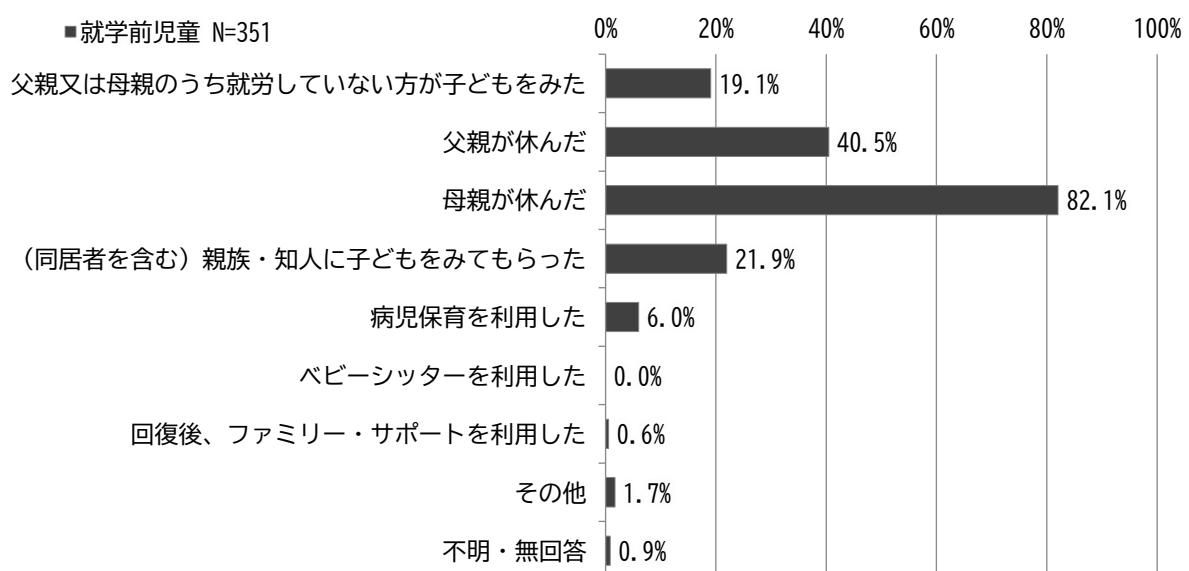


(1) で「あった」を選んだ方

(1) - 1 この1年間に行った対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22 - 1、小学生児童調査…問 28 - 1〕

子どもが病気やケガの際、この1年間に行った対処方法については「母親が仕事を休んだ」が就学前児童で 82.1%、小学生児童で 73.1%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が就学前児童で 40.5%、小学生児童で 27.9%となっています。

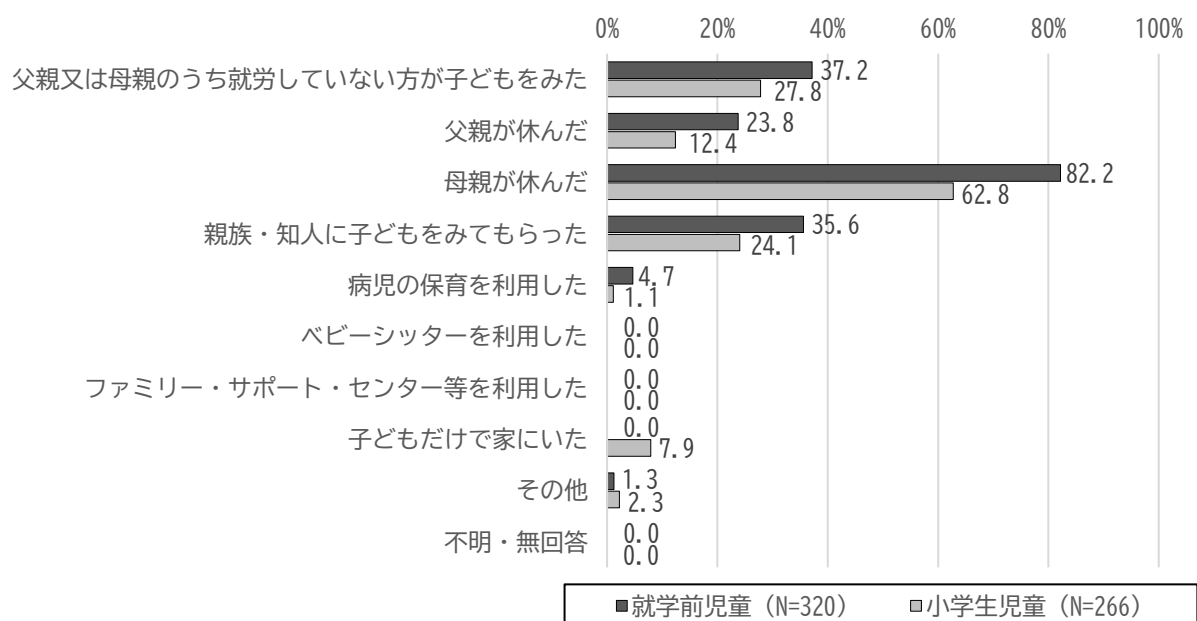


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「父親が休んだ」の割合が高く、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が低くなっています。

小学生児童の令和5年度調査結果は、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」の割合が高く、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が低くなっています。

【令和元年度】調査



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、就学前児童では「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」「母親が仕事を休んだ」「親族・知人に子どもをみてもらった」で「10～19日」、「父親が仕事を休んだ」で「5日」、「病児保育を利用した」で「2日」の割合が、それぞれ高くなっています。小学生児童では、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」で「5日」、「母親が仕事を休んだ」で「3日」、「親族・知人に子どもをみてもらった」で「2日」、「父親が仕事を休んだ」「子どもだけで家にいた」で「1日」の割合が、それぞれ高くなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対処日数〈数量回答〉

【就学前児童】	子就父 ど労親 もし又 ては みい母 たな親 いの 方う がち		父 親 が 仕 事 を 休 ん だ		母 親 が 仕 事 を 休 ん だ		を親 み族 て・知 もら らに った子 ど も		病 児 保 育 を 利 用 し た		用ベ しビ たー シ ッ タ ー を 利		サ回 ボ復 ー後 トフ をア 利ミ しリ た・	
	N=67		N=142		N=288		N=77		N=21		N=0		N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	1.5	15	10.6	6	2.1	7	9.1	2	9.5	0	0.0	0	0.0
2日	2	3.0	19	13.4	17	5.9	11	14.3	5	23.8	0	0.0	1	50.0
3日	8	11.9	22	15.5	17	5.9	12	15.6	3	14.3	0	0.0	1	50.0
4日	3	4.5	9	6.3	9	3.1	5	6.5	3	14.3	0	0.0	0	0.0
5日	10	14.9	28	19.7	39	13.5	15	19.5	1	4.8	0	0.0	0	0.0
6日	2	3.0	5	3.5	2	0.7	1	1.3	1	4.8	0	0.0	0	0.0
7日	3	4.5	9	6.3	15	5.2	0	0.0	1	4.8	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	2	1.4	7	2.4	1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	2	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	21	31.3	25	17.6	111	38.5	21	27.3	4	19.0	0	0.0	0	0.0
20～29日	7	10.4	2	1.4	26	9.0	4	5.2	1	4.8	0	0.0	0	0.0
30日以上	7	10.4	1	0.7	25	8.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	3	4.5	5	3.5	12	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

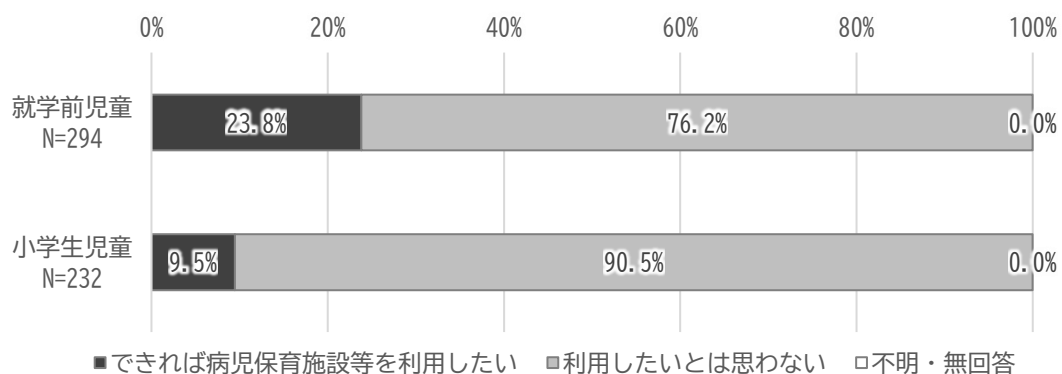
【小学生児童】	子就父 ど労親 もし又 ては みい母 たな親 いの 方う がち		父 親 が 仕 事 を 休 ん だ		母 親 が 仕 事 を 休 ん だ		を親 み族 て・知 もら らに った子 ど も		を病 利児 用・病 し後 た児 の保 育		用ベ しビ たー シ ッ タ ー を 利		用ト・ し・セ たミ ンリ ター ・サ をボ 利		た子 ど も だ け で 家 に い	
	N=48		N=85		N=223		N=60		N=4		N=0		N=0		N=29	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	3	6.3	23	27.1	24	10.8	7	11.7	1	25.0	0	0.0	0	0.0	8	27.6
2日	8	16.7	20	23.5	31	13.9	17	28.3	1	25.0	0	0.0	0	0.0	7	24.1
3日	9	18.8	11	12.9	46	20.6	9	15.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	17.2
4日	1	2.1	4	4.7	10	4.5	6	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	15	31.3	14	16.5	43	19.3	13	21.7	1	25.0	0	0.0	0	0.0	5	17.2
6日	3	6.3	2	2.4	3	1.3	2	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	2.1	3	3.5	7	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	1	1.2	3	1.3	2	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.4
9日	1	2.1	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	4	8.3	6	7.1	42	18.8	4	6.7	1	25.0	0	0.0	0	0.0	2	6.9
20～29日	2	4.2	0	0.0	8	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.4
30日以上	1	2.1	0	0.0	3	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	1	1.2	2	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(1) - 1 で「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22 - 2、小学生児童調査…問 28 - 2〕

子どもが病気やケガの際、父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについては、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で 23.8%、小学生児童で 9.5%となっています。

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、就学前児童で「10～19 日」、小学生児童で「5 日」の割合が高くなっています。



◎病児・病後児保育施設等を利用したい日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

利用したい日数	就学前児童		小学生児童	
	N=70		N=22	
	件数	%	件数	%
1 日	3	4.3	1	4.5
2 日	4	5.7	1	4.5
3 日	7	10.0	4	18.2
4 日	1	1.4	1	4.5
5 日	11	15.7	12	54.5
6 日	1	1.4	0	0.0
7 日	1	1.4	1	4.5
8 日	0	0.0	0	0.0
9 日	0	0.0	0	0.0
10～19 日	26	37.1	1	4.5
20～29 日	3	4.3	0	0.0
30 日以上	6	8.6	0	0.0
不明・無回答	7	10.0	1	4.5

(1) - 2で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」を選んだ方

(1) - 3 病児・病後児を預ける場合の、望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22 - 3、小学生児童調査…問 28 - 3〕

病児・病後児を預ける場合の、望ましい事業形態については「小児科に併設したもの」が就学前児童で 82.9%、小学生児童で 81.8% 件高くなっています。

病児を預ける場合の 望ましい事業形態	就学前児童		小学生児童	
	N=70		N=22	
	件数	%	件数	%
他の施設に併設したもの	36	51.4	4	18.2
小児科に併設したもの	58	82.9	18	81.8
地域住民等が保育するもの	10	14.3	1	4.5
その他	1	1.4	0	0.0
不明・無回答	1	1.4	1	4.5

【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和 5 年度調査結果は、「他の施設に併設したもの」「小児科に併設したもの」の割合が高く、小学生児童は「小児科に併設したもの」の割合が高くなっています。

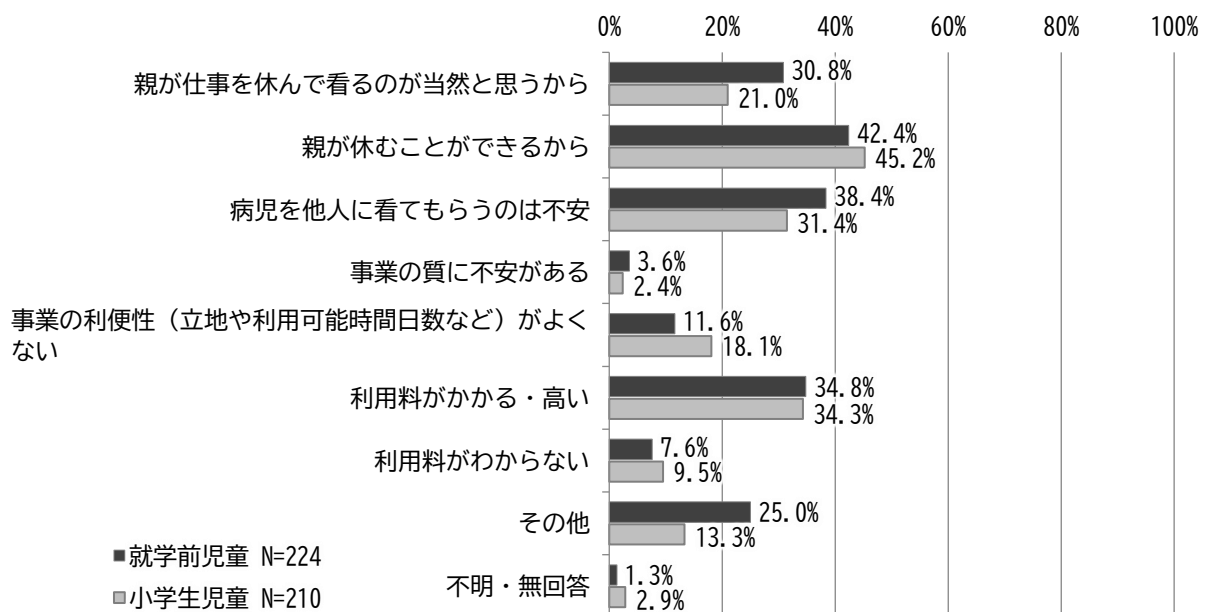
〔令和元年度〕調査

病児・病後児を預ける場合の 望ましい事業形態	N=52		N=28	
	件数	%	件数	%
他の施設に併設したもの	25	32.0	4	14.3
小児科に併設したもの	48	61.6	18	64.3
地域住民等が保育するもの	5	6.4	3	10.7
その他	0	0.0	1	3.6
不明・無回答	0	0.0	2	7.1

(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方

(1) - 4 そう思う理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 22 - 4、小学生児童調査…問 28 - 4〕

病児保育施設等を利用したいと思わない理由については、就学前児童では「親が休むことができるから」が42.4%で最も高く、次いで「病児を他人に看てもらうのは不安」が38.4%となっています。小学生児童では、「親が休むことができるから」が45.2%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が34.3%となっています。



(1) - 1で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」以外を選んだ方

(1) - 5 仕事が休めたら何日仕事を休んでみたいと思ったか〈数量回答〉

〔就学前児童調査…問 22 - 5、小学生児童調査…問 28 - 5〕

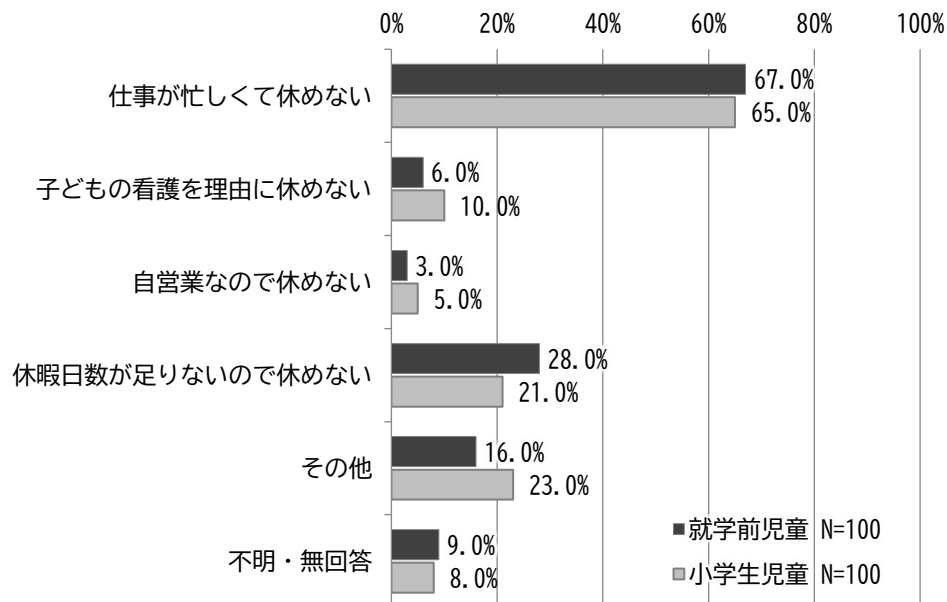
できれば仕事を休んでみたかった日数については、就学前児童では「10～19日」、小学生児童では「3日」と「5日」がそれぞれ高くなっています。

仕事を休んで みたかった日数	就学前児童		小学生児童	
	N=100		N=100	
	件数	%	件数	%
0日	6	6.0	6	6.0
1日	2	2.0	8	8.0
2日	12	12.0	17	17.0
3日	16	16.0	19	19.0
4日	5	5.0	2	2.0
5日	15	15.0	19	19.0
6日	2	2.0	3	3.0
7日	2	2.0	3	3.0
8日	0	0.0	3	3.0
9日	0	0.0	1	1.0
10～19日	18	18.0	7	7.0
20～29日	6	6.0	3	3.0
30日以上	4	4.0	0	0.0
不明・無回答	12	12.0	9	9.0

(1) - 6 休んでみることが出来なかった理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22-6、小学生児童調査…問 28-6〕

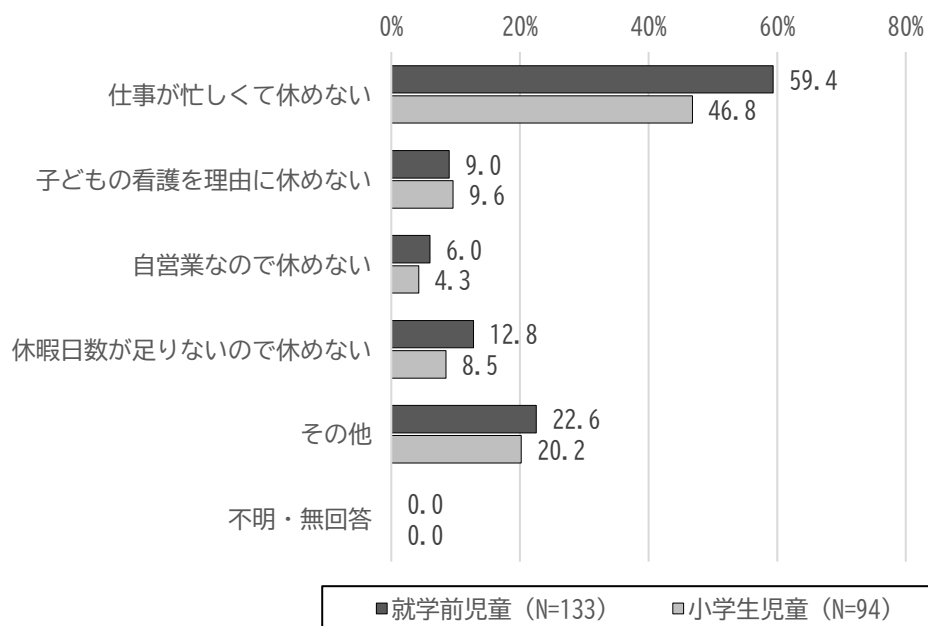
仕事を休んでみることができなかった理由については、「仕事が忙しくて休めない」が就学前児童で 67.0%、小学生児童で 65.0%と最も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「休暇日数が足りないので休めない」の割合が、小学生児童は「仕事が忙しくて休めない」「休暇日数が足りないので休めない」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査

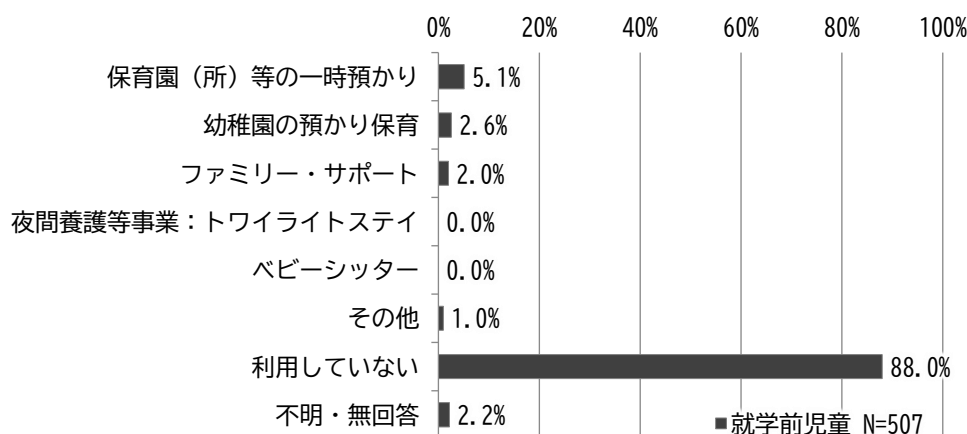


8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 保護者の用事で不定期的に利用している事業の有無〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23〕

就学前児童で、保護者の用事で不定期的に利用している事業については、「利用していない」が88.0%と最も高くなっています。利用している事業では、「保育園（所）等の一時預かり」が5.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が2.6%となっています。

1年間の利用日数については、「保育園（所）等の一時預かり」で「1日」、「幼稚園の預かり保育」で「2日」と「10～19日」、「ファミリー・サポート」で「3日」の割合が高くなっています。



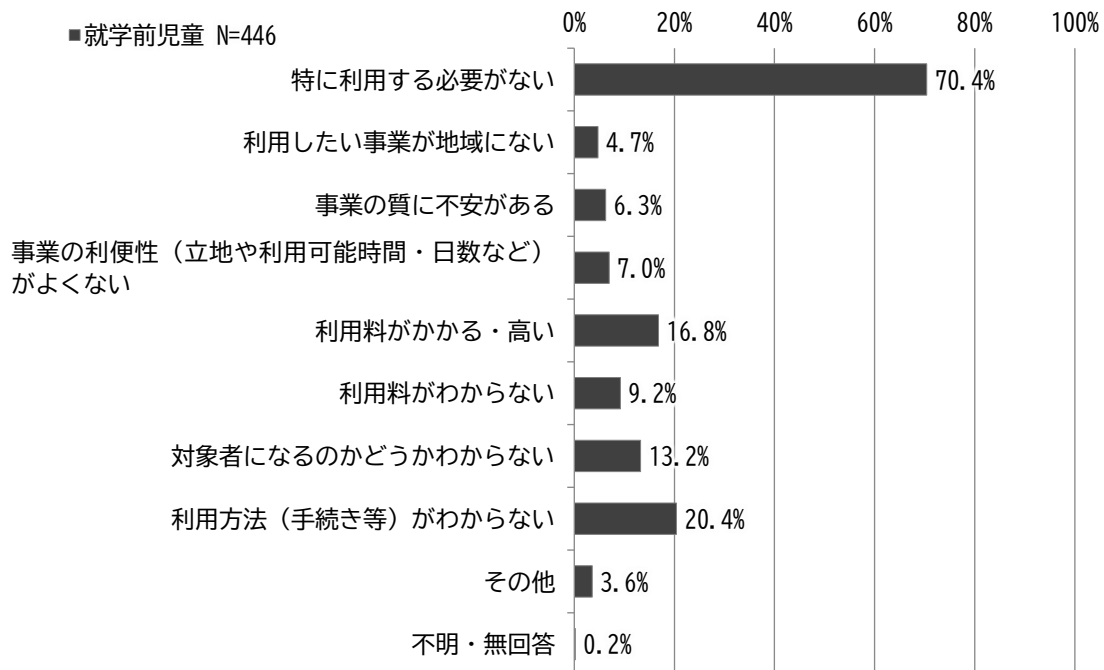
◎ 1年間の利用日数〈数量回答〉《「利用していない」以外を選んだ方》

年間利用日数	かり 育 園 （ 所 ） の 一 時 預		幼 稚 園 の 預 か り 保 育		フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト		イ 夜 間 養 護 等 事 業 ・ ト ワ		ベ ビ ー シ ッ タ ー		そ の 他	
	N=26		N=13		N=10		N=0		N=0		N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
0日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
1日	7	26.9	0	0.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	2	7.7	3	23.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3日	3	11.5	1	7.7	3	30.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	1	7.7	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日～19日	2	7.7	3	23.1	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20日～29日	2	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30日以上	5	19.2	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
不明・無回答	4	15.4	2	15.4	1	10.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0

(1) で「利用していない」を選んだ方

(1) - 1 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23-1〕

就学前児童で、現在利用していない理由については「特に利用する必要がない」が70.4%と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」が20.4%となっています。

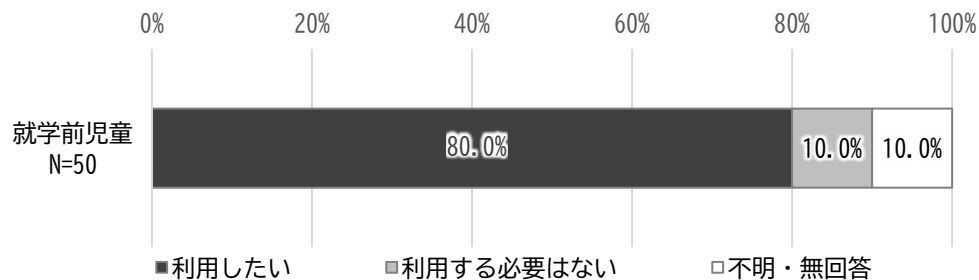


(1) で一時預かり等を「利用している」を選んだ方

(2) 保護者の用事で今後も事業を利用する必要があるかの有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 24〕

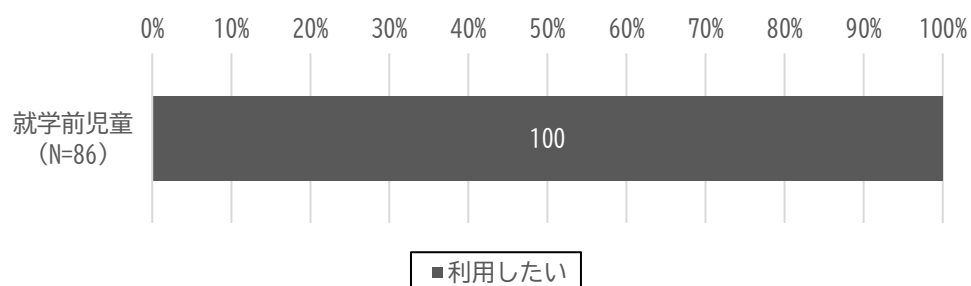
就学前児童で、保護者の用事で今後も事業を利用する必要があるかについては、「利用したい」が80.0%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「利用したい」の割合が低くなっています。

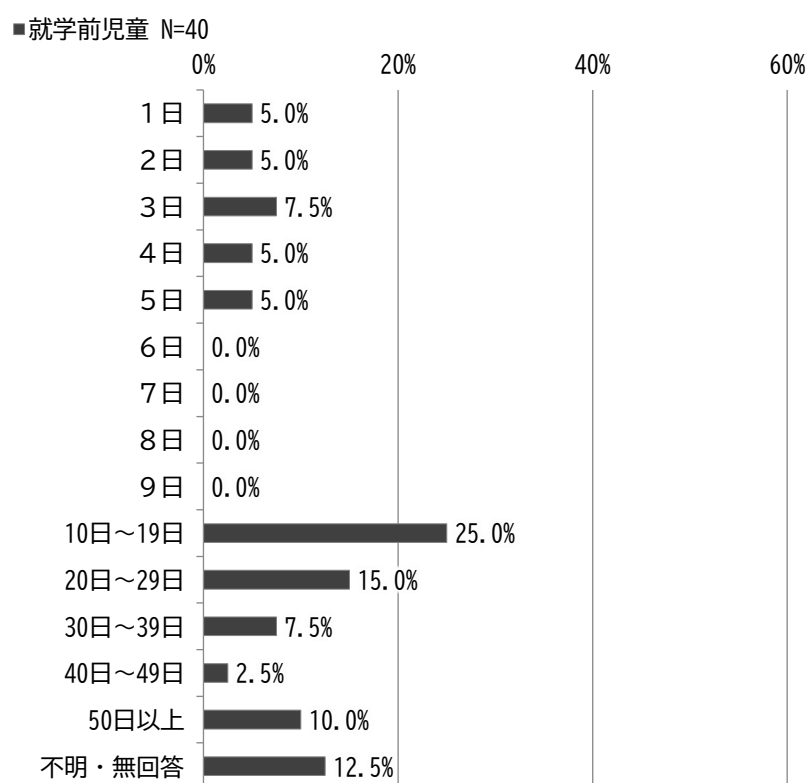
[令和元年度]調査



(2) で「利用したい」を選んだ方

就学前児童で、不定期に利用したい事業の年間日数の合計については「10～19日」が25.0%と最も高くなっています。

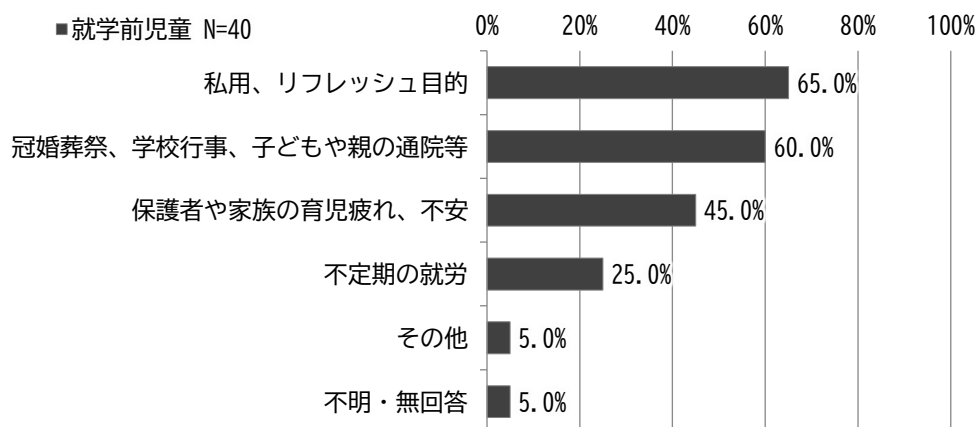
①利用したい年間日数の合計〈数量回答〉



就学前児童で、不定期に利用したい事業の目的別内訳については「私用、リフレッシュ目的」が65.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が60.0%となっています。

不定期に利用したい事業の目的別年間利用日数については、「私用、リフレッシュ目的で利用したい日数」が「10～19日」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が「1日」「2日」「3日」、「保護者や家族の育児疲れ、不安」が「2日」「6日」の割合が高くなっています。

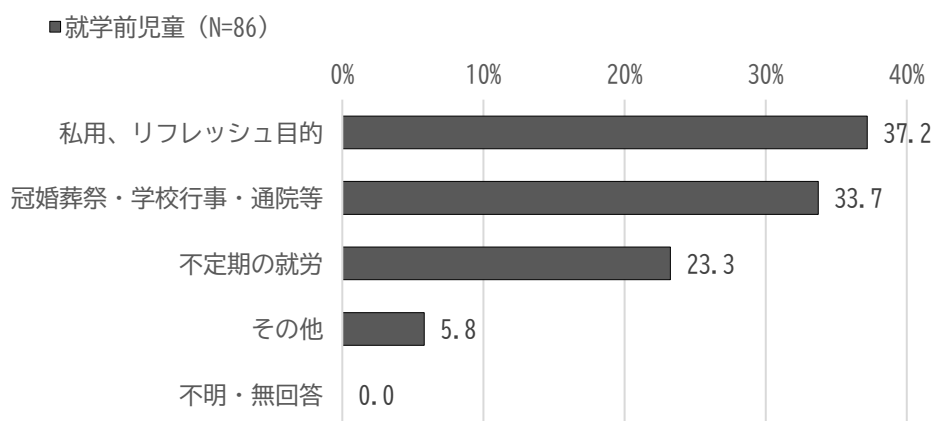
②利用したい目的の内訳〈複数回答〉



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「私用、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院」の割合が高くなっています。

[令和元年度]調査



③目的別年間利用日数〈数量回答〉

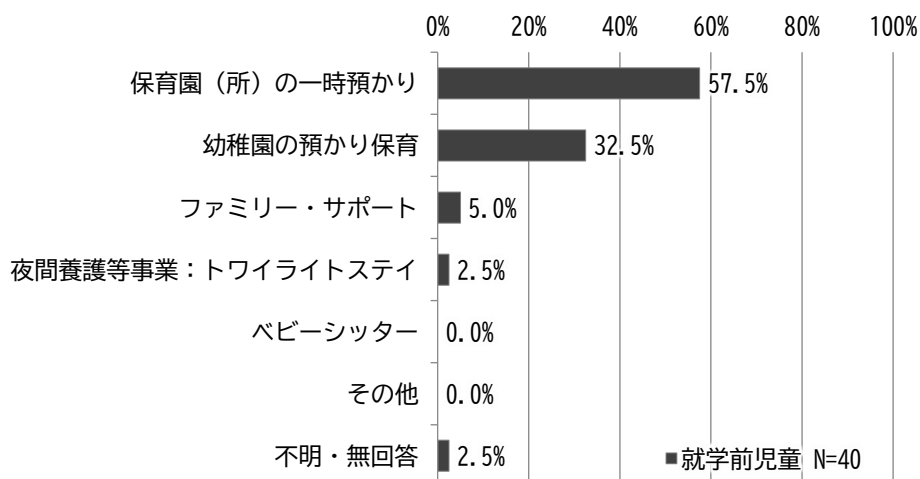
目的別年間利用日数	私的、リフレッシュ		冠婚葬祭、子どもや親の通院等事		保護者や家族の育児・不安		不定期の就労		その他	
	N=26		N=24		N=18		N=10		N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	2	7.7	4	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	1	3.8	4	16.7	3	16.7	2	20.0	0	0.0
3日	2	7.7	4	16.7	1	5.6	0	0.0	2	100.0
4日	0	0.0	0	0.0	2	11.1	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	3	12.5	2	11.1	0	0.0	0	0.0
6日	4	15.4	3	12.5	3	16.7	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	1	5.6	0	0.0	0	0.0
8日	2	7.7	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日～19日	8	30.8	1	4.2	1	5.6	2	20.0	0	0.0
20日～29日	2	7.7	1	4.2	1	5.6	1	10.0	0	0.0
30日～39日	1	3.8	0	0.0	1	5.6	1	10.0	0	0.0
40日～49日	1	3.8	0	0.0	1	5.6	0	0.0	0	0.0
50日以上	1	3.8	0	0.0	1	5.6	2	20.0	0	0.0
不明・無回答	1	3.8	3	12.5	1	5.6	2	20.0	0	0.0

(2)で「利用したい」を選んだ方

(2)－1 保護者の用事で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問24－1〕

就学前児童で、保護者の用事で子どもを預ける場合、どのような形態が望ましいかについては、「保育園（所）の一時預かり」が57.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が32.5%となっています。

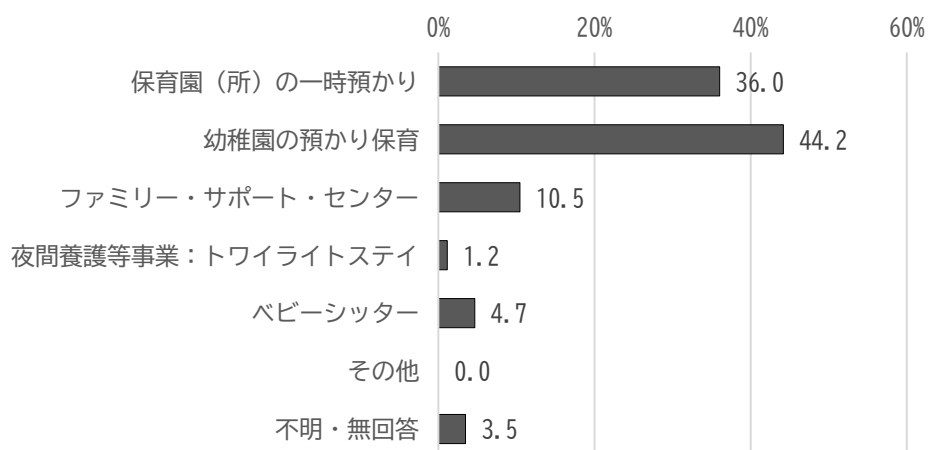


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は「保育園（所）の一時預かり」の割合が高く、「幼稚園の預かり保育」の割合が低くなっています。

〔令和元年度〕調査

■就学前児童（N=86）

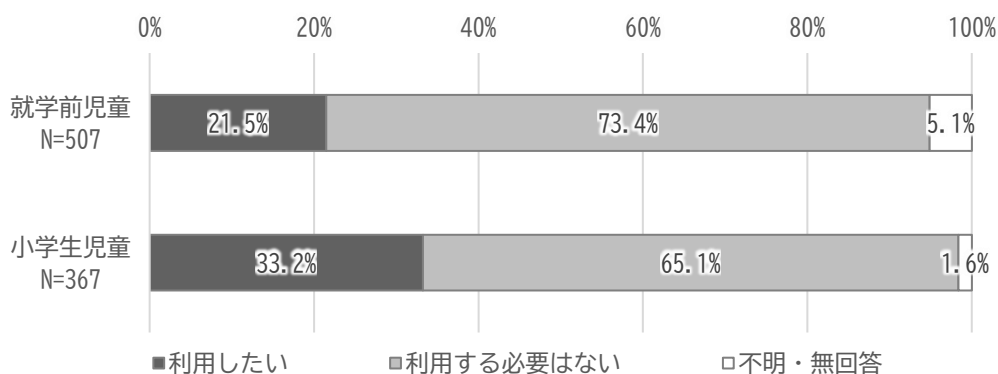


(3) 保護者の用事により、家族以外に預ける宿泊を伴う一時預かり等の利用希望の有無、利用目的、必要な泊数

〔就学前児童調査…問 25、小学生児童調査…問 29〕

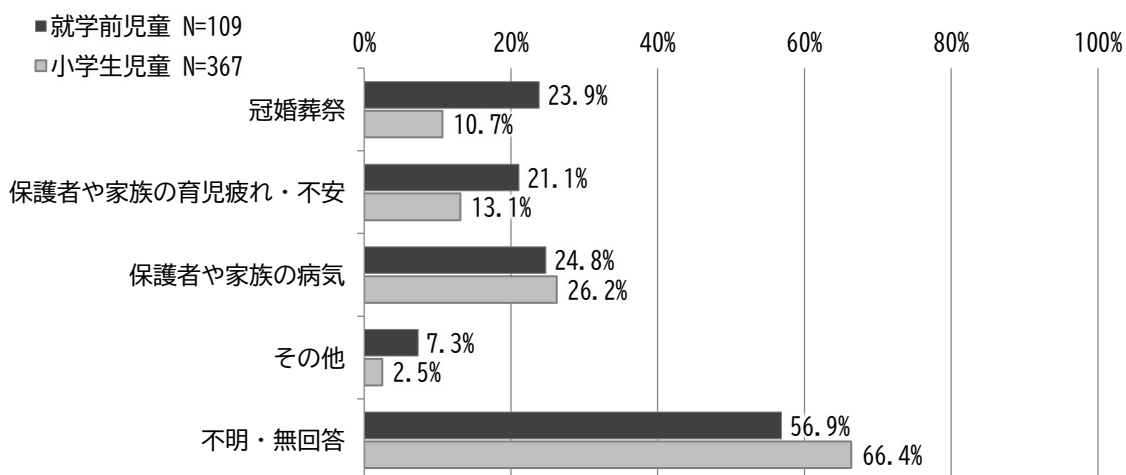
保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった宿泊を伴う一時預かり等の利用希望については「利用したい」が就学前児童で 21.5%、小学生児童で 33.2%、となっています。

①宿泊を伴う一時預かり等の利用の有無〈単数回答〉



保護者の用事により、宿泊を伴う一時預かり等の利用の目的別内訳については「保護者や家族の病気」が就学前児童で 24.8%、小学生児童で 26.2%と最も高く、次いで就学前児童で「冠婚葬祭」が 23.9%、小学生児童で「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 13.1%となっています。

②利用目的〈複数回答〉



保護者の用事により、宿泊を伴う一時預かり等の利用の目的別年間利用希望泊数については、就学前児童では「冠婚葬祭」、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が「1泊」、「保護者や家族の病気」が「2泊」の割合が高くなっています。小学生児童では、「冠婚葬祭」では「1泊」、「保護者や家族の育児疲れ・不安」では「2泊」「保護者や家族の病気」では「1泊」と「2泊」が最も高くなっています

③目的別内訳宿泊〈数量回答〉

【就学前児童】	冠婚葬祭		保護者や家族の育児疲れ・不安		保護者や家族の病気		その他	
	N=26		N=23		N=27		N=8	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	13	50.0	9	39.1	7	25.9	1	12.5
2泊	6	23.1	6	26.1	8	29.6	1	12.5
3泊	4	15.4	1	4.3	3	11.1	0	0.0
4泊	1	3.8	0	0.0	0	0.0	1	12.5
5泊	1	3.8	0	0.0	4	14.8	1	12.5
6泊	0	0.0	2	8.7	1	3.7	0	0.0
7泊	1	3.8	2	8.7	3	11.1	1	12.5
8泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	0	0.0	3	13.0	1	3.7	1	12.5
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	25.0

【小学生児童】	冠婚葬祭		保護者や家族の育児疲れ・不安		保護者や家族の病気		その他	
	N=13		N=16		N=32		N=3	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	6	46.2	4	25.0	9	28.1	0	0.0
2泊	4	30.8	5	31.3	9	28.1	0	0.0
3泊	1	7.7	2	12.5	5	15.6	2	66.7
4泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	1	7.7	1	6.3	2	6.3	1	33.3
6泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	0	0.0	0	0.0	3	9.4	0	0.0
8泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	0	0.0	4	25.0	1	3.1	0	0.0
不明・無回答	1	7.7	0	0.0	3	9.4	0	0.0

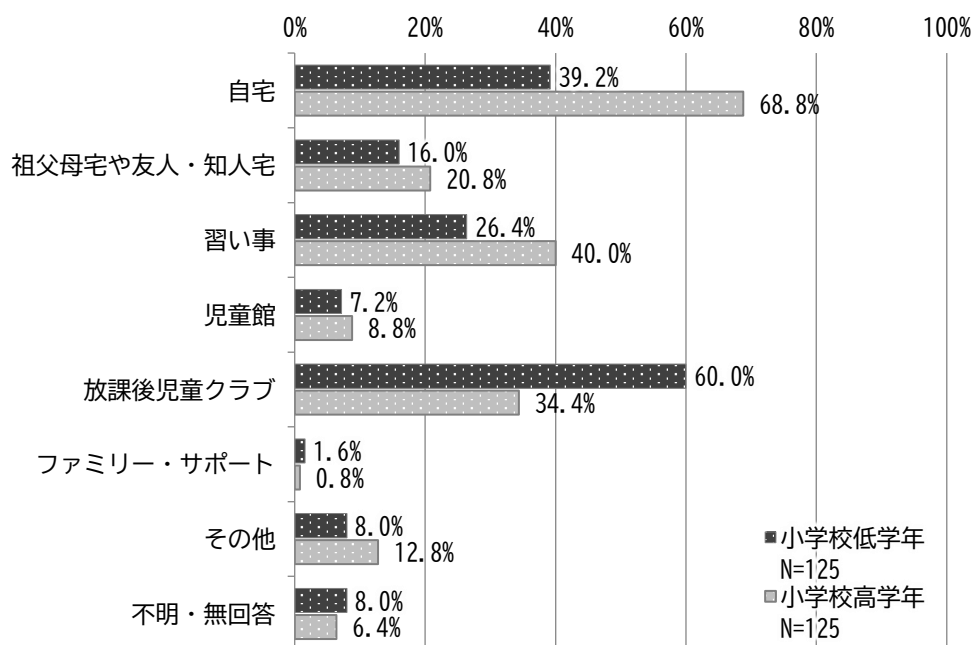
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

◆就学前児童（5歳以上）

（１）小学校就学後、小学校低学年（１～３年生）の間、小学校高学年（４～６年生）の間、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 26、問 27〕

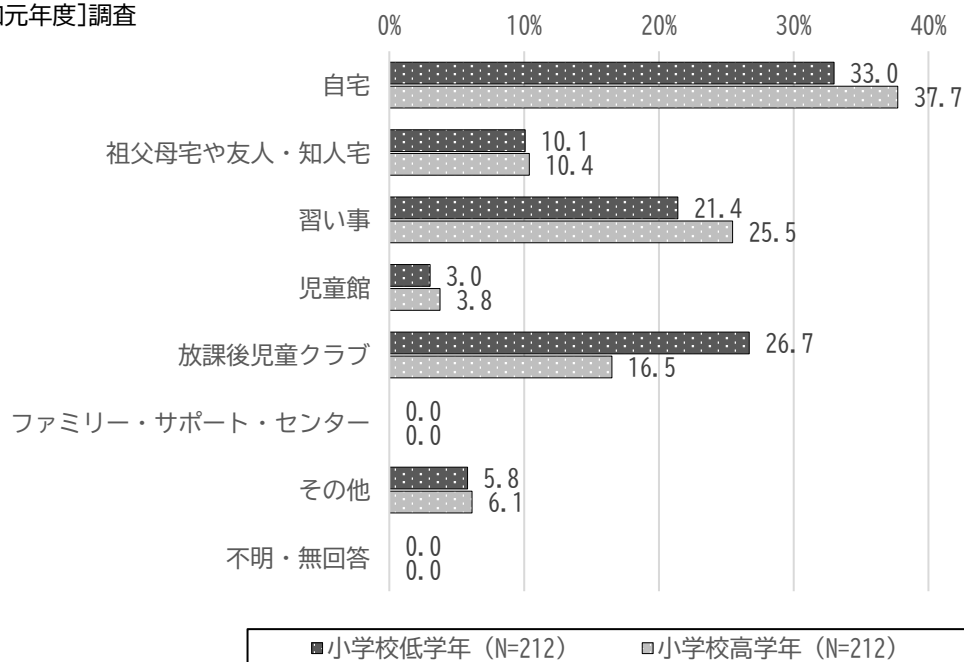
就学前児童で、小学校就学後、小学校低学年の間、小学校高学年の間、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、小学校低学年の間は、「放課後児童クラブ」が60.0%と最も高く、次いで「自宅」が39.2%となっています。小学校高学年の間は、「自宅」が68.8%と最も高く、次いで「習い事」が40.0%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

小学校低学年の間の令和5年度調査結果は「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。小学校高学年の間は、「自宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査



就学前児童で、過ごしている場所における週当たりの利用日数について、小学校低学年の間は、「自宅」「放課後児童クラブ」で「5日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」で「1日」の割合が高くなっています。小学校高学年の間は、「自宅」「放課後児童クラブ」で「5日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」で「2日」の割合が高くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」も高くなっています。

①週当たりの利用日数〈数量回答〉

【小学校低学年】	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		児童館		放課後児童クラブ		ファミリー・サポート		その他	
	N=49		N=20		N=33		N=9		N=75		N=2		N=10	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	3	6.1	9	45.0	19	57.6	1	11.1	1	1.3	0	0.0	4	40.0
2日	8	16.3	4	20.0	10	30.3	2	22.2	4	5.3	1	50.0	3	30.0
3日	11	22.4	2	10.0	3	9.1	2	22.2	12	16.0	1	50.0	0	0.0
4日	4	8.2	0	0.0	1	3.0	2	22.2	8	10.7	0	0.0	0	0.0
5日	18	36.7	3	15.0	0	0.0	2	22.2	45	60.0	0	0.0	1	10.0
6日	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	2	2.7	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	5	10.2	1	5.0	0	0.0	0	0.0	3	4.0	0	0.0	2	20.0

【小学校高学年】	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		児童館		放課後児童クラブ		ファミリー・サポート		その他	
	N=86		N=26		N=50		N=11		N=43		N=1		N=16	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
0日	1	1.2	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1日	7	8.1	8	30.8	15	30.0	2	18.2	1	2.3	0	0.0	5	31.3
2日	5	5.8	8	30.8	23	46.0	3	27.3	4	9.3	1	100.0	2	12.5
3日	7	8.1	3	11.5	9	18.0	1	9.1	3	7.0	0	0.0	3	18.8
4日	2	2.3	1	3.8	1	2.0	2	18.2	4	9.3	0	0.0	2	12.5
5日	25	29.1	3	11.5	1	2.0	2	18.2	10	23.3	0	0.0	2	12.5
6日	0	0.0	1	3.8	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	39	45.3	1	3.8	1	2.0	1	9.1	20	46.5	0	0.0	2	12.5

就学前児童で、放課後の時間を「放課後児童クラブ」で過ごさせたい方の利用希望時間について、小学校低学年の間、小学校高学年の間ともに「17 時」の割合が、それぞれ高くなっています。

②「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ」を選んだ方》

放課後児童クラブの 利用時間	【小学校低学年】		【小学校高学年】	
	N=75		N=43	
	件数	%	件数	%
13時	0	0.0	1	2.3
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	1.3	0	0.0
16時	4	5.3	0	0.0
17時	30	40.0	12	27.9
18時	26	34.7	7	16.3
19時	12	16.0	3	7.0
20時	1	1.3	0	0.0
不明・無回答	1	1.3	20	46.5

【令和元年度調査結果との比較】

小学校低学年の間の令和5年度調査結果は「17 時」、「18 時」の割合が高くなっています。小学校高学年の間は、「17 時」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査

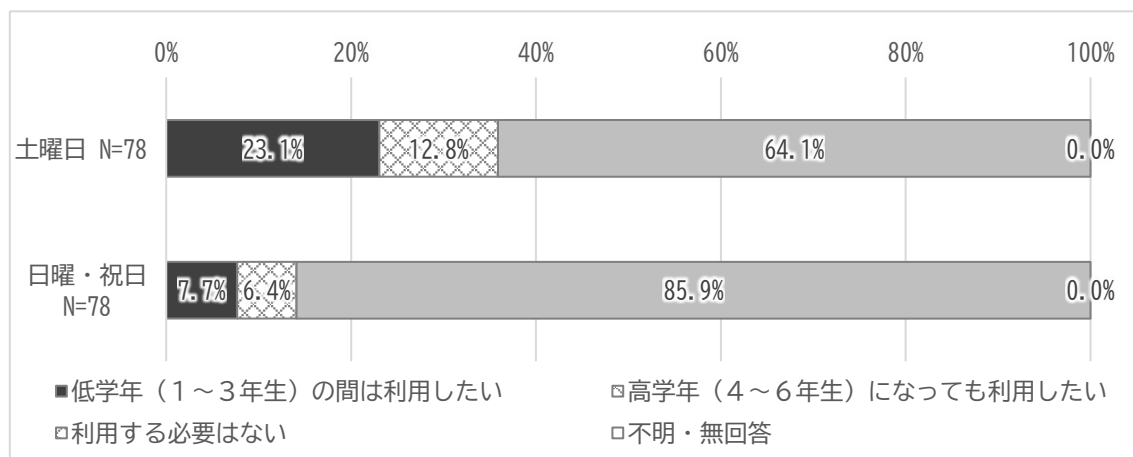
放課後児童クラブの 利用時間	【小学校低学年】		【小学校高学年】	
	N=106		N=70	
	件数	%	件数	%
16時	0	0.0	0	0.0
17時	17	16.0	9	12.9
18時	17	16.0	8	11.4
19時	3	2.9	2	2.8
不明・無回答	69	65.1	51	72.9

(1) で「放課後児童クラブ」を選んだ方

(2) 放課後児童クラブの土曜日と日曜・祝日の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 28〕

就学前児童で、土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望状況について、「低学年の間は利用したい」が、土曜日で 23.1%、日曜・祝日で 7.7%、「高学年になっても利用したい」が土曜日で 12.8%、日曜・祝日で 6.4%となっています。



就学前児童で、土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望時間について、開始時間は、土曜日、日曜・祝日ともに「8時」、終了時間は、土曜日、日曜・祝日ともに「18時」とそれぞれ高くなっています。

【令和元年度調査結果との比較】

土曜日の開始時間の令和5年度調査結果は「8時」の割合が高くなっています。日曜・祝日の開始時間は、「10時」の割合が低くなっています。土曜日の終了時間は「18時」の割合が高くなっています。日曜・祝日の終了時間は、「18時」の割合が高く「19時」が低くなっています。

◎利用希望時間〈数量回答〉

【開始時間】

開始時間	土曜日		日曜・祝日	
	N=28		N=11	
	件数	%	件数	%
6時台以前	0	0.0	0	0.0
7時	3	10.7	3	27.3
8時	19	67.9	6	54.5
9時	5	17.9	2	18.2
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	3.6	0	0.0

【令和元年度】調査

開始時間	土曜日		日曜日・祝日	
	N=42		N=20	
	件数	%	件数	%
7時	5	11.9	4	20.0
8時	18	42.8	11	55.0
9時	10	23.8	3	15.0
10時	0	0.0	2	10.0
11時	1	2.4	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	2	4.8	0	0.0
不明・無回答	6	14.3	0	0.0

【終了時間】

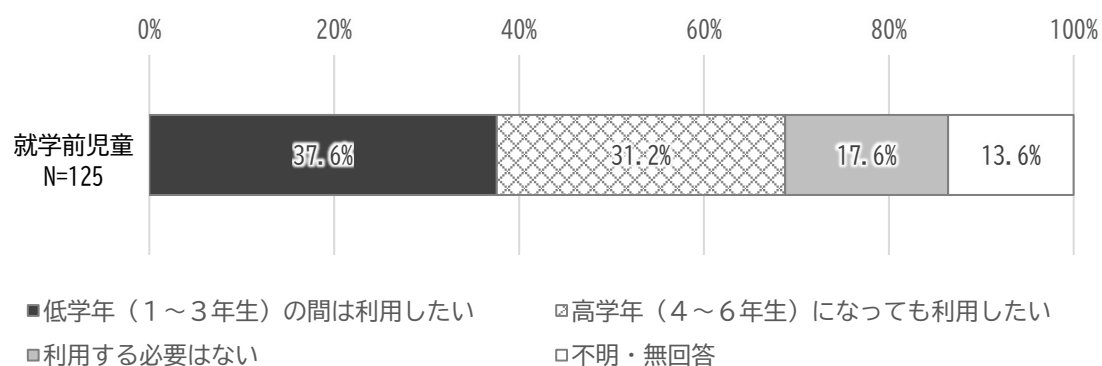
終了時間	土曜日		日曜・祝日	
	N=28		N=11	
	件数	%	件数	%
12時台以前	1	3.6	0	0.0
13時	2	7.1	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	3.6	0	0.0
16時	2	7.1	0	0.0
17時	6	21.4	2	18.2
18時	13	46.4	7	63.6
19時	2	7.1	2	18.2
20時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	3.6	0	0.0

【令和元年度】調査

終了時間	土曜日		日曜日・祝日	
	N=42		N=20	
	件数	%	件数	%
13時	3	7.1	1	5.0
14時	1	2.4	0	0.0
15時	4	9.5	0	0.0
16時	0	0.0	1	5.0
17時	13	31.0	1	5.0
18時	10	23.8	4	20.0
19時	5	11.9	9	45.0
20時以降	0	0.0	4	20.0
不明・無回答	6	14.3	0	0.0

（３）長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29〕

就学前児童で、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について、「低学年の間は利用したい」が37.6%、「高学年になっても利用したい」が31.2%となっています。



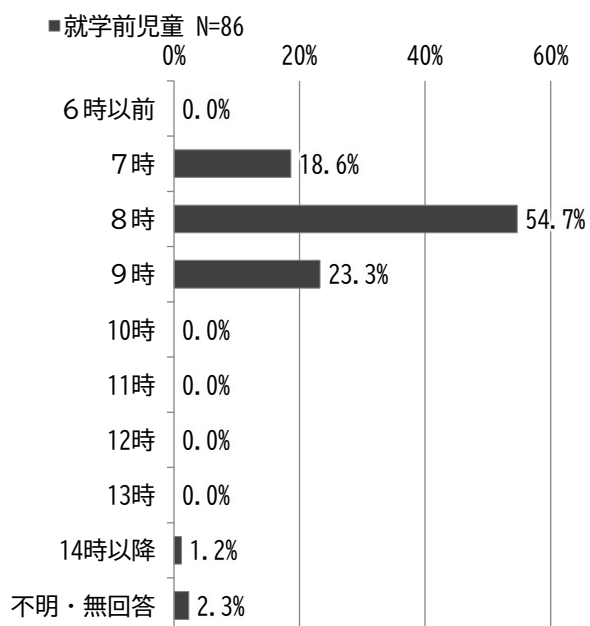
就学前児童で、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望時間について、開始時間は「8時」が54.7%、終了時間は「17時」が40.7%となっています。

【令和元年度調査結果との比較】

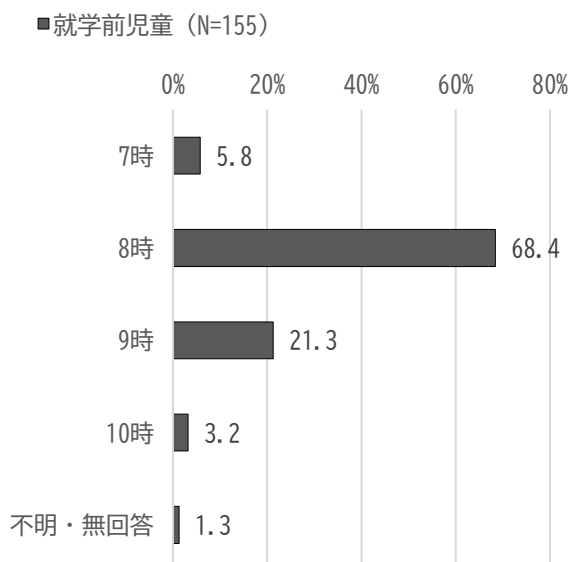
「開始時間」の令和5年度調査結果は「7時」の割合が高く、「8時」の割合が低くなっています。

◎利用希望時間〈数量回答〉

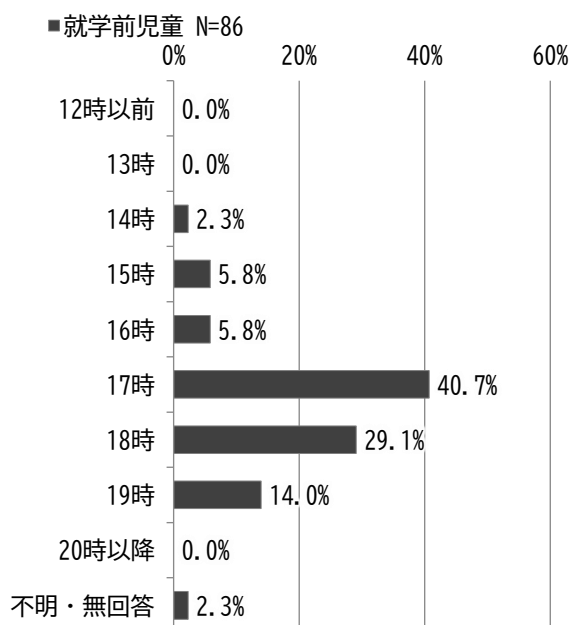
【開始時間】



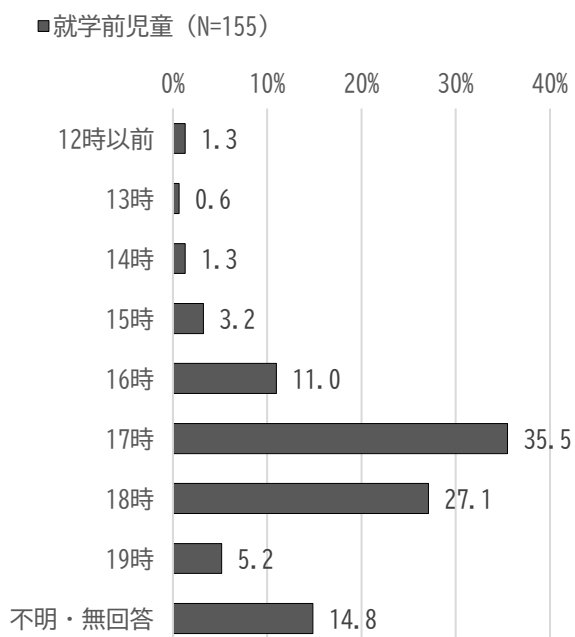
【令和元年度】調査



【終了時間】



【令和元年度】調査

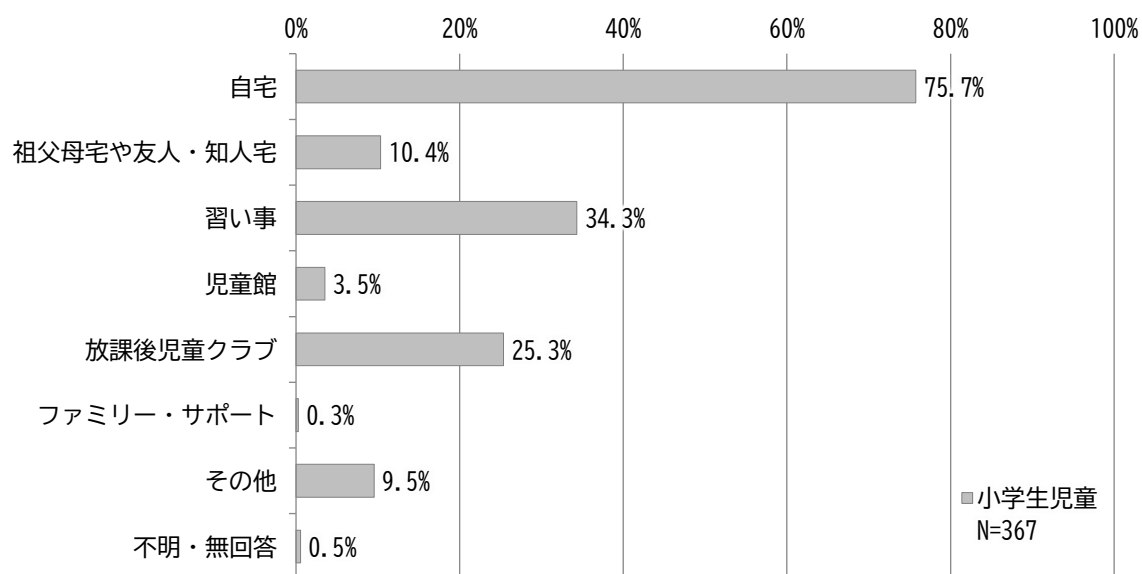


◆小学生児童

(4) 子どもは、放課後どのような場所で過ごしているか〈複数回答〉

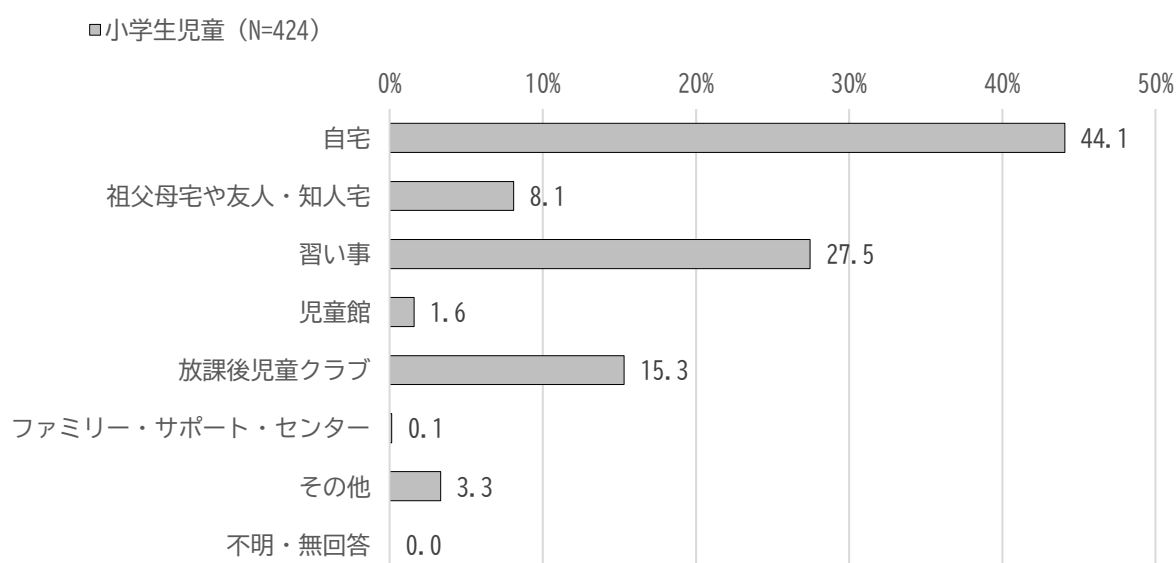
〔小学生児童調査…問 21〕

小学生児童で、子どもが放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、「自宅」が75.7%と最も高く、次いで「習い事」が34.3%となっています



【令和元年度調査結果との比較】

小学生児童の令和5年度調査結果は、「自宅」「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。



小学生児童で、過ごしている場所における週当たりの利用日数について、「自宅」「放課後児童クラブ」で「5日」、「習い事」で「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」で「1日」の割合が、それぞれ高くなっています。

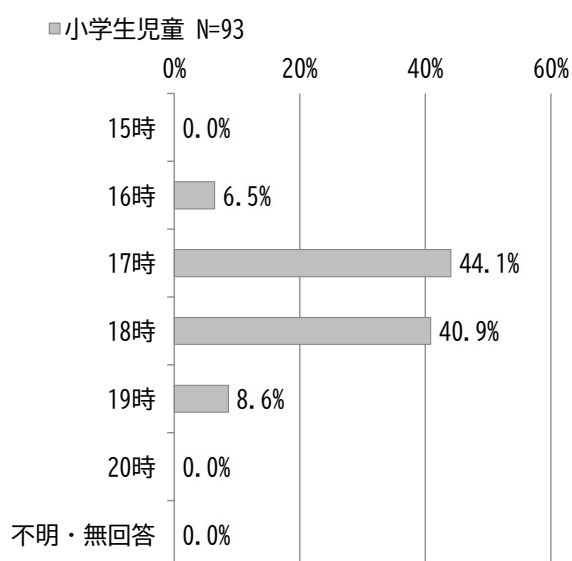
子どもが放課後の時間を「放課後児童クラブ」で過ごさせたい方の利用希望時間については「17時」の割合が高くなっています。

①週当たりの利用日数〈数量回答〉

【小学生児童】	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		児童館		放課後児童クラブ		ファミリー・サポート		その他	
	N=278		N=38		N=126		N=13		N=93		N=1		N=35	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	18	6.5	9	23.7	16	12.7	4	30.8	2	2.2	0	0.0	5	14.3
2日	16	5.8	3	7.9	30	23.8	1	7.7	4	4.3	0	0.0	5	14.3
3日	15	5.4	1	2.6	8	6.3	2	15.4	11	11.8	1	100.0	4	11.4
4日	10	3.6	0	0.0	12	9.5	1	7.7	22	23.7	0	0.0	5	14.3
5日	66	23.7	7	18.4	6	4.8	0	0.0	50	53.8	0	0.0	1	2.9
6日	3	1.1	0	0.0	2	1.6	0	0.0	2	2.2	0	0.0	0	0.0
7日	14	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	136	48.9	18	47.4	52	41.3	5	38.5	2	2.2	0	0.0	15	42.9

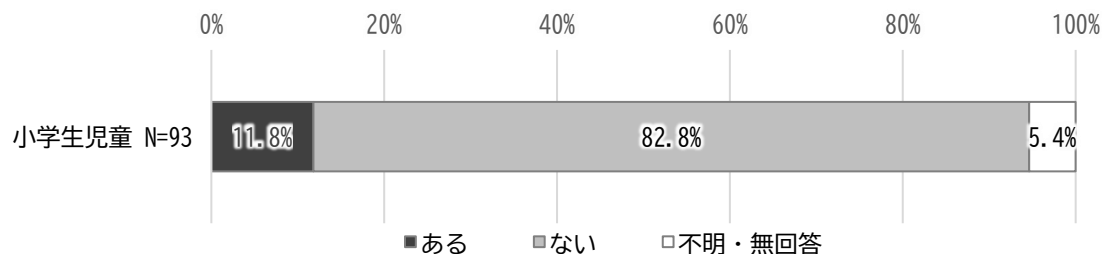
《「放課後児童クラブ」を選んだ方》

①「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉



小学生児童で、「放課後児童クラブ」の土・日の利用の有無について、「ない」が82.8%と最も高くなっています。

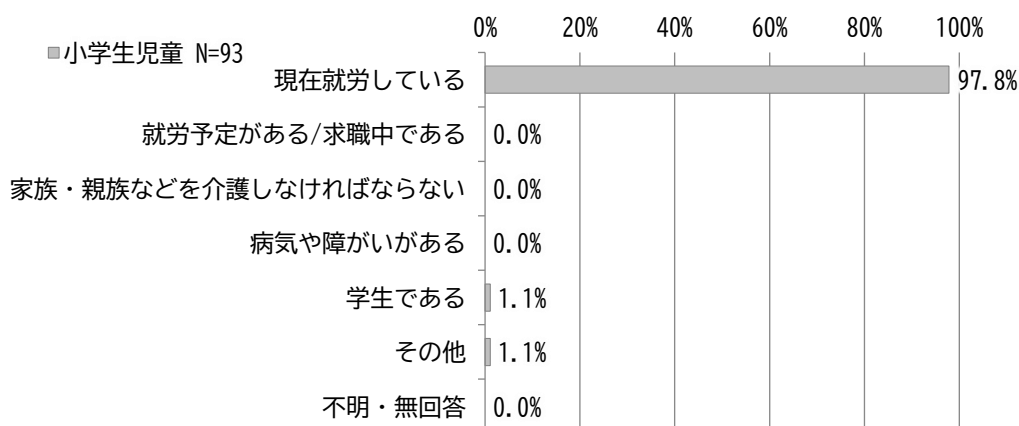
②「放課後児童クラブ」の土・日の利用状況〈単数回答〉



(4)で「放課後児童クラブ」を選んだ方

(5) 利用している理由〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 22〕

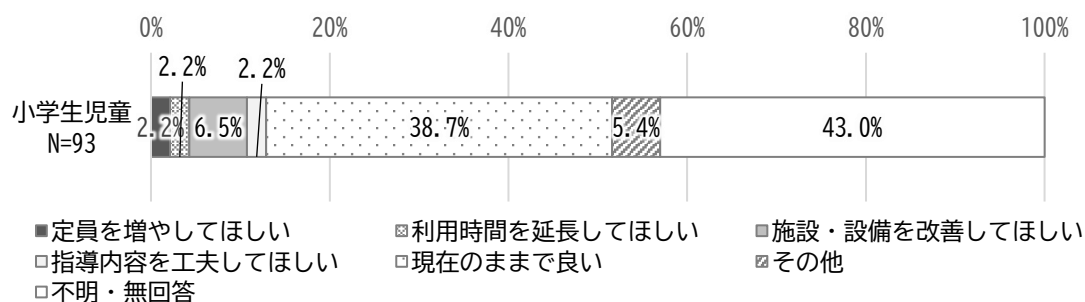
小学生児童で、放課後児童クラブを利用している理由について、「現在就労している」が97.8%と最も高くなっています。



(4)で「放課後児童クラブ」を選んだ方

(6) 放課後児童クラブに対しての要望〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 23〕

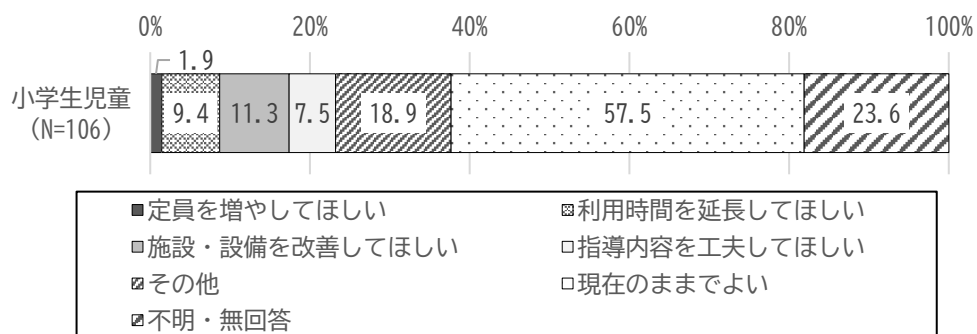
小学生児童で、放課後児童クラブに対して感じていることについて、「現在のままで良い」が38.7%と最も高く、次いで「施設・設備を改善してほしい」が6.5%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

小学生児童の令和5年度調査結果は、「現在のままでよい」の割合が低くなっています。

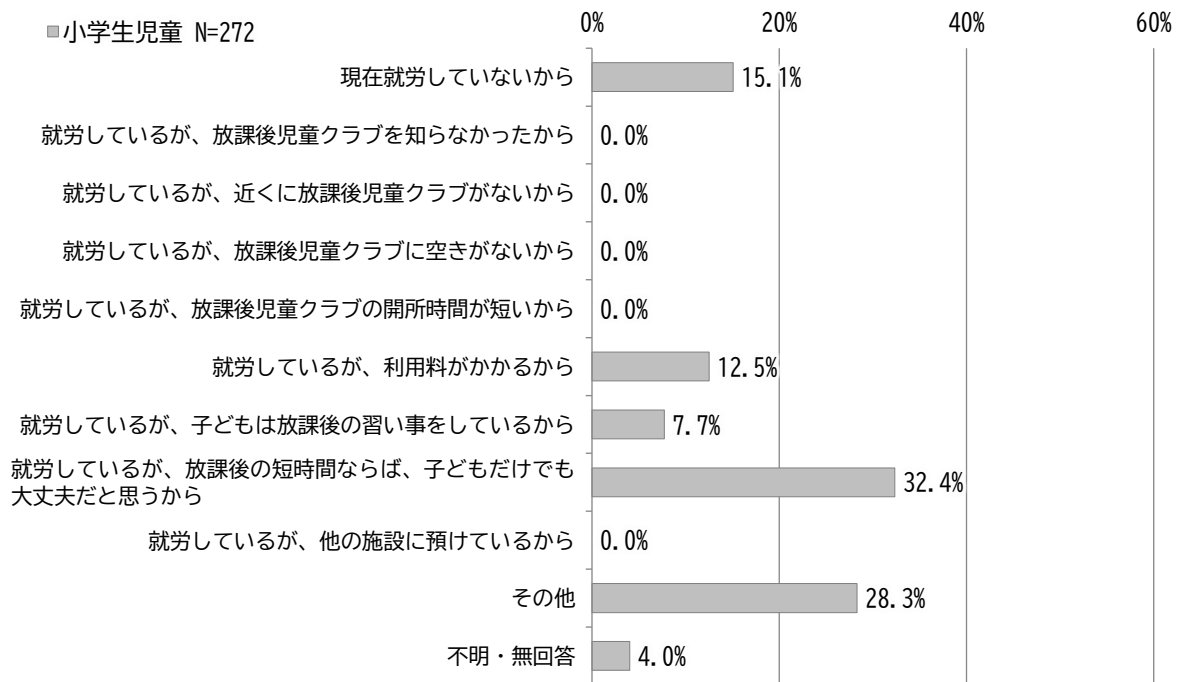
【令和元年度】調査



(4) で「放課後児童クラブ」以外を選んだ方

(7) 利用していない理由〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 24〕

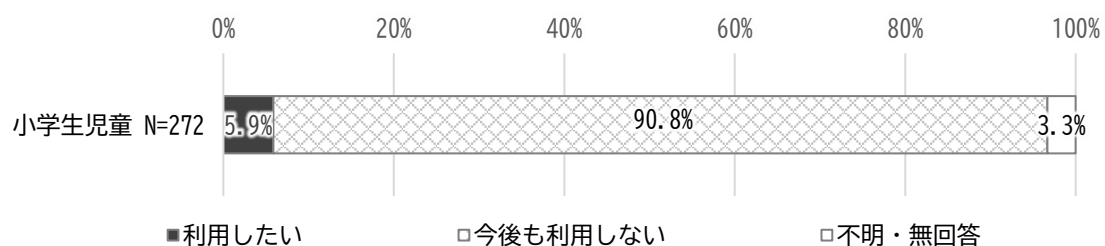
小学生児童で、放課後児童クラブを利用していない理由について、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 32.4%と最も高く、次いで「現在就労していないから」が 15.1%となっています。



(4) で「放課後児童クラブ」以外を選んだ方

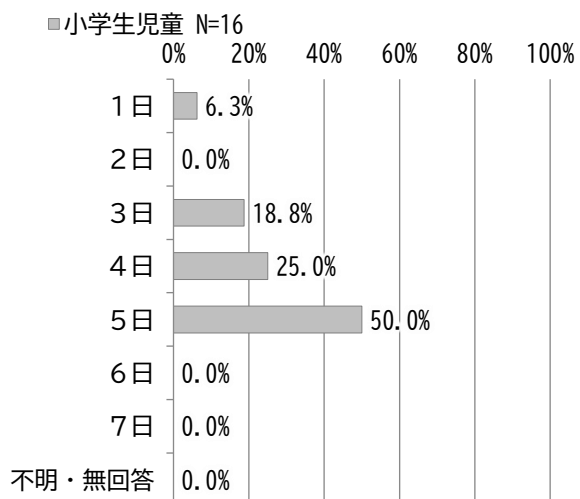
(8) 放課後児童クラブの今後の利用希望の意向〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 25〕

小学生児童で、今後の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」が 5.9%となっています。

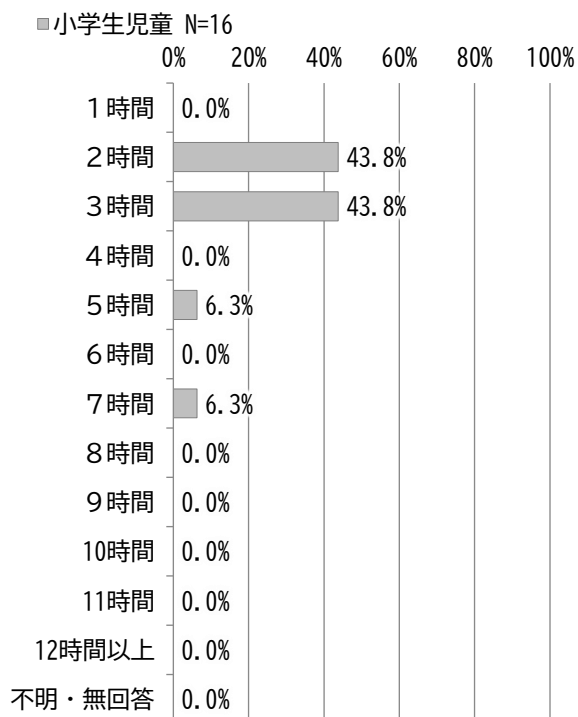


小学生児童で、今後、放課後児童クラブを利用したい方の1週間の利用希望日数は、「5日」が最も高く、50.0%となっています。1日当たりの利用希望時間は、「2時間」と「3時間」で43.8%と最も高くなっています。

①1週間の利用希望日数〈数量回答〉



②利用希望時間数〈数量回答〉

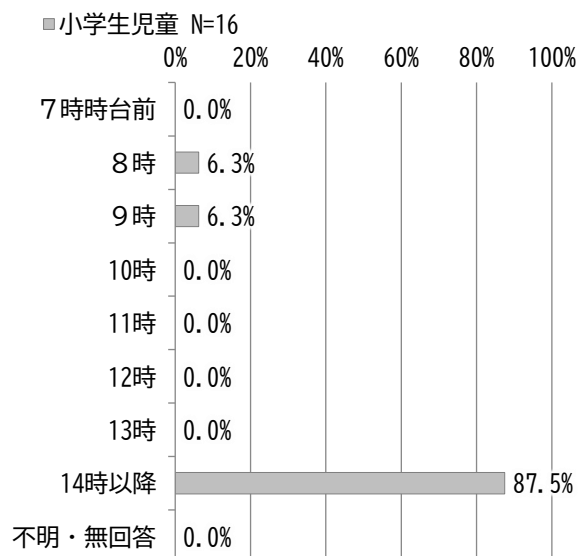


小学生児童で、今後、放課後児童クラブを利用したい方の利用希望時間帯について、開始時間では「14時以降」、終了時間では「18時」の割合が高くなっています。

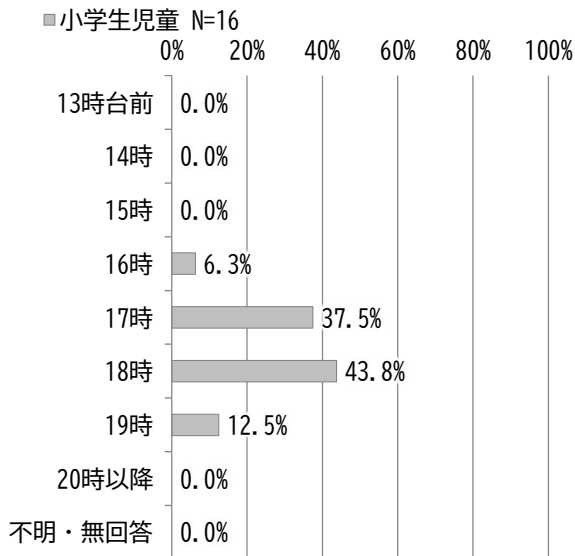
土・日の利用時間では、「1時間」が31.3%と最も高くなっています。開始時間では、「9時」が18.8%、終了時間では、「16時」「17時」が12.5%で最も高くなっています。

③利用希望時間帯〈数量回答〉

【開始時間】



【終了時間】



④土・日の利用希望 時間数〈数量回答〉

土日の利用希望時間数	N=16	
	件数	%
1時間	5	31.3
2時間	0	0.0
3時間	1	6.3
4時間	0	0.0
5時間	1	6.3
6時間	0	0.0
7時間	0	0.0
8時間	2	12.5
9時間	1	6.3
10時間	0	0.0
11時間	0	0.0
12時間	0	0.0
不明・無回答	6	37.5

⑤土・日の利用希望時間帯〈数量回答〉

【開始時間】

土日開始時間	N=16	
	件数	%
7時	1	6.3
8時	2	12.5
9時	3	18.8
10時	1	6.3
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時	0	0.0
14時以降	2	12.5
不明・無回答	7	43.8

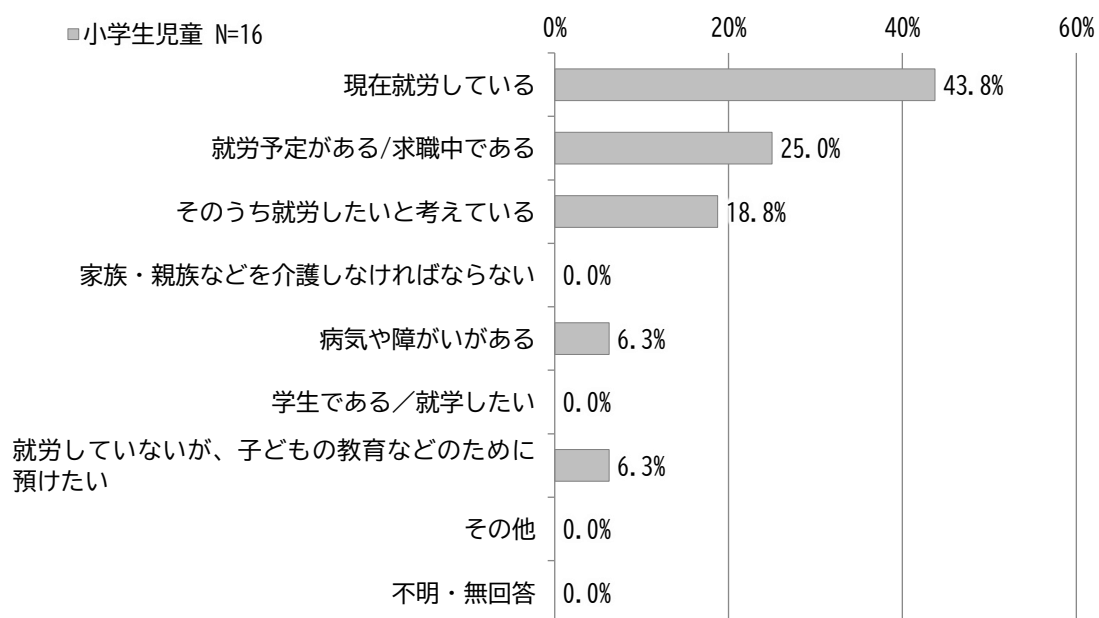
【終了時間】

土日開始時間	N=16	
	件数	%
13時	1	6.3
14時	1	6.3
15時	1	6.3
16時	2	12.5
17時	2	12.5
18時	1	6.3
19時	1	6.3
20時以降	0	0.0
不明・無回答	7	43.8

(8)で「利用したい」を選んだ方

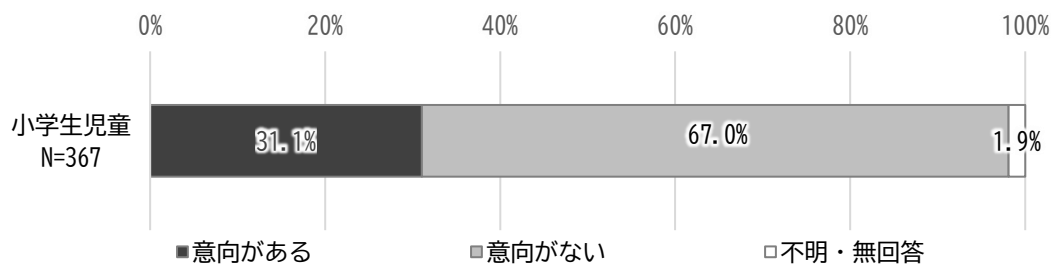
(8)－1 利用したい理由〈単数回答〉〔小学生児童調査…問25－1〕

小学生児童で、今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、「現在就労している」が43.8%と最も高くなっています。



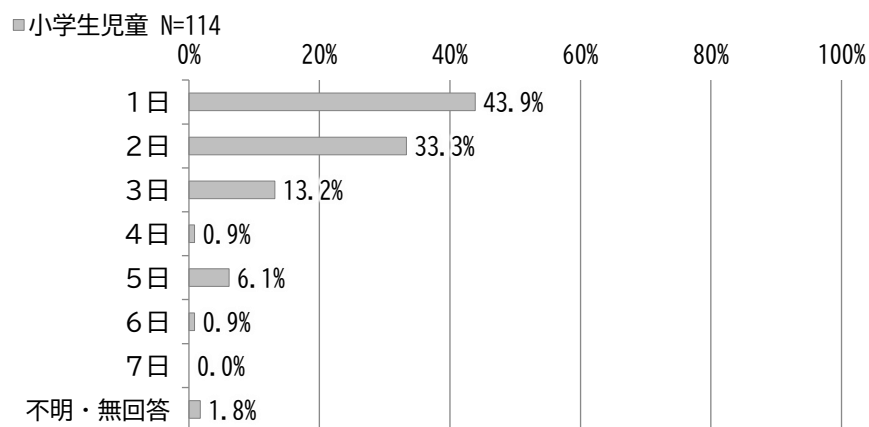
（９）「放課後子ども教室」の利用意向と利用希望日数〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 26〕

小学生児童で、放課後子ども教室の利用意向について、「意向がある」が31.1%となっています。



小学生児童で、放課後子ども教室を利用したい方の1週間の利用希望日数は「1日」が43.9%と最も高く、次いで「2日」が33.3%となっています。

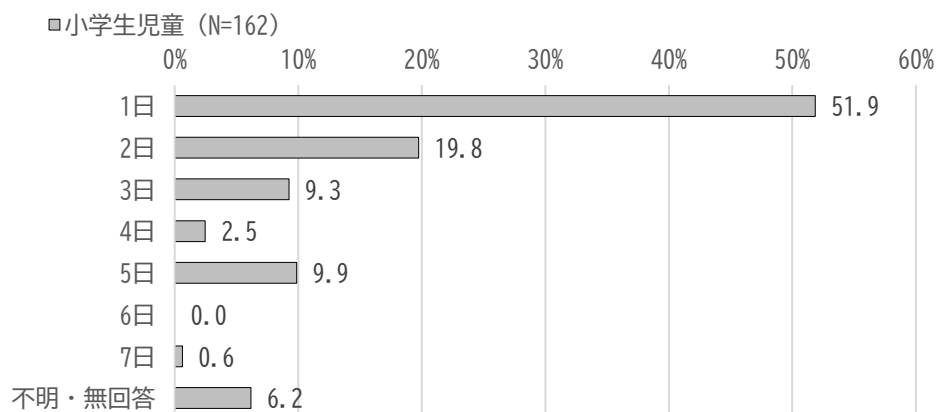
◎1週間の利用希望日数〈数量回答〉



【令和元年度調査結果との比較】

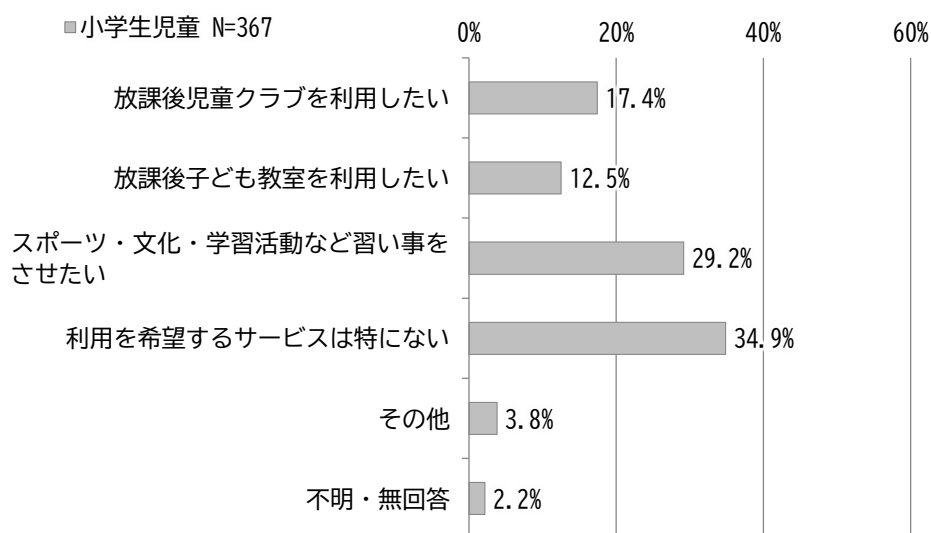
小学生児童の令和5年度調査結果は、1週間の利用希望日数が「2日」の割合が高くなっています。

〔令和元年度〕調査



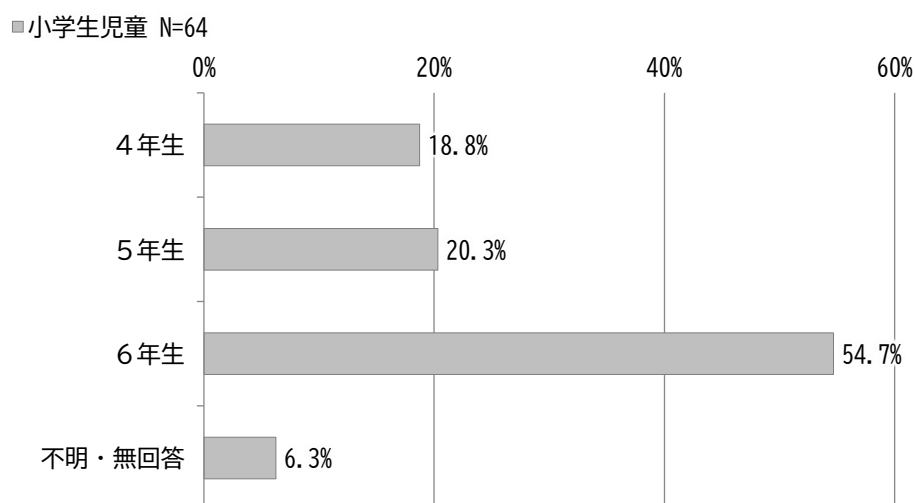
(10) 小学4年生以降の放課後の過ごし方〈単数回答〉〔小学生児童調査…問27〕

小学生児童で、小学4年生以降の放課後の過ごし方について、「利用を希望するサービスは特にない」が34.9%と最も高く、次いで「スポーツ・文化・学習活動など習い事をさせたい」が29.2%となっています。



小学生児童で、小学4年生以降の放課後の過ごし方で「放課後児童クラブを利用したい」を選んだ方の利用希望学年は、「6年生」までが54.7%と最も高くなっています。

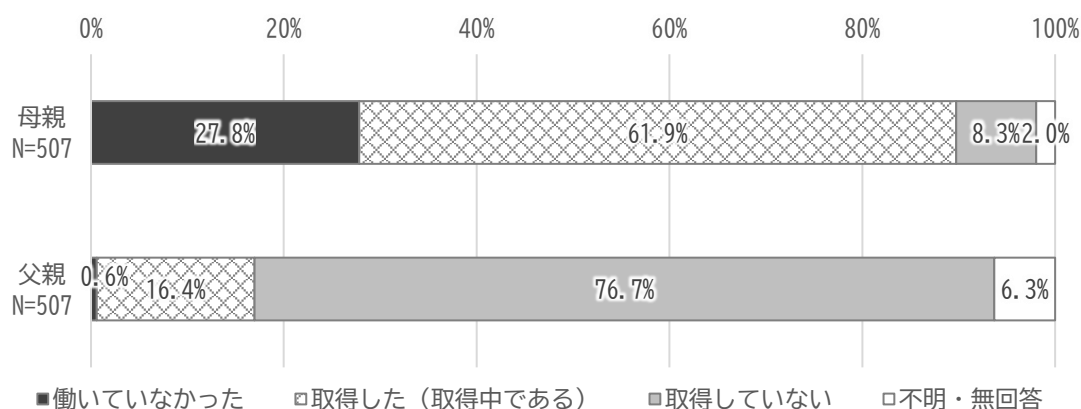
◎「放課後児童クラブ」を利用する場合の利用希望学年〈数量回答〉



10 職場の両立支援制度について（就学前児童）

（１）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30〕

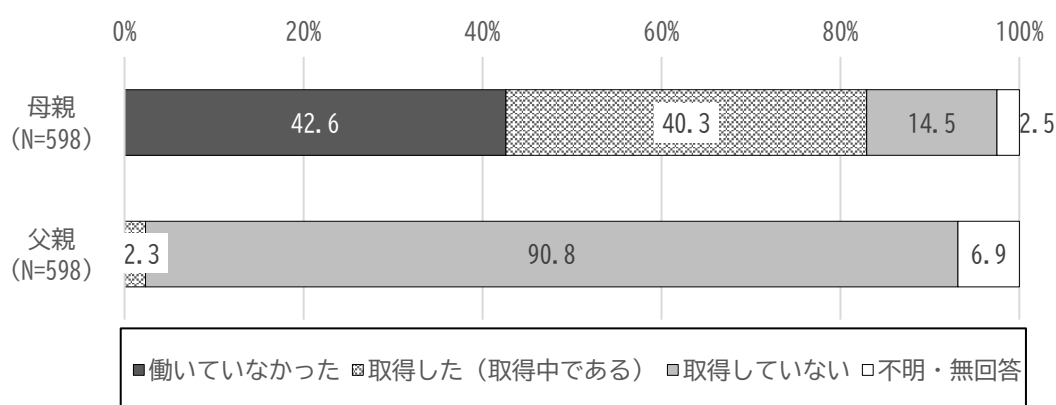
就学前児童で、子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況について、母親では「取得した（取得中である）」が61.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」が27.8%となっています。父親では「取得していない」が76.7%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が16.4%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

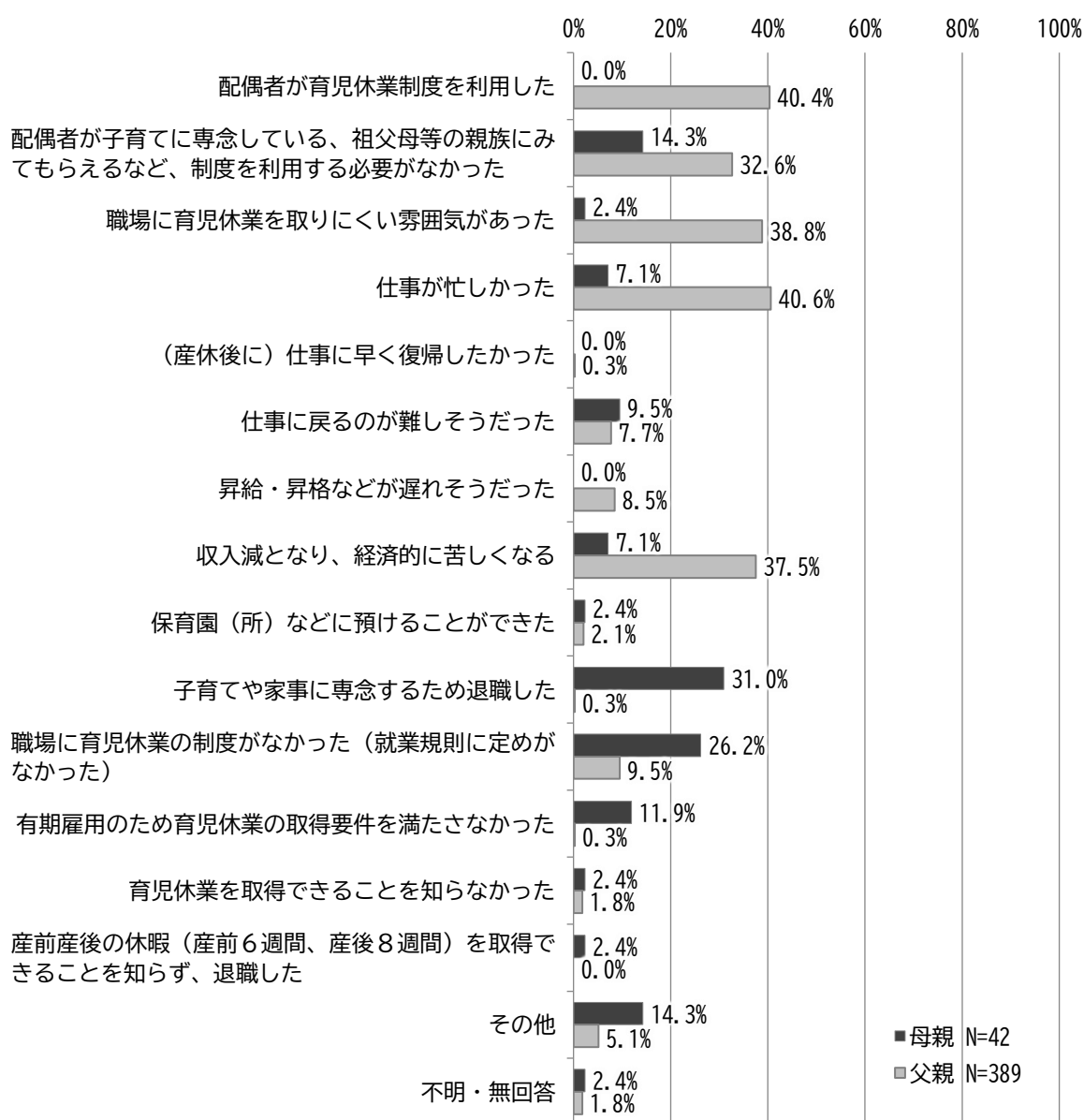
就学前児童の令和5年度調査結果は、母親は「取得した（取得中である）」の割合が高く、「働いていなかった」の割合が低くなっています。父親は「取得した（取得中である）」の割合が高く、「取得していない」の割合が低くなっています。

〔令和元年度〕調査



就学前児童で、育児休業を取得していない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が31.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が26.2%となっています。父親は「仕事が忙しかった」が40.6%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が40.4%となっています。

◎取得していない理由〈複数回答〉《「取得していない」を選んだ方》

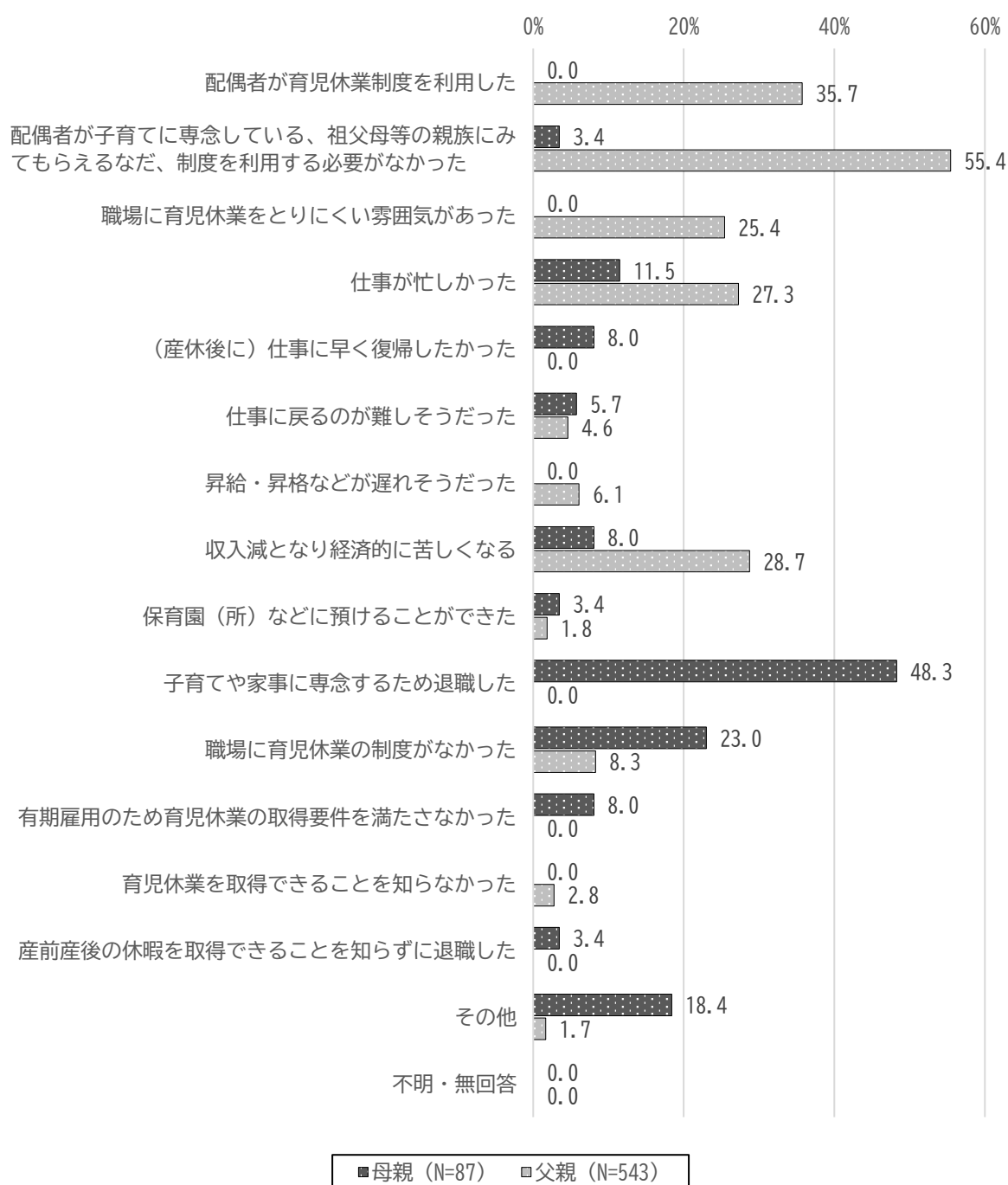


【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の母親の令和5年度調査結果は、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が高く、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が低くなっています。

父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が高く、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が低くなっています。

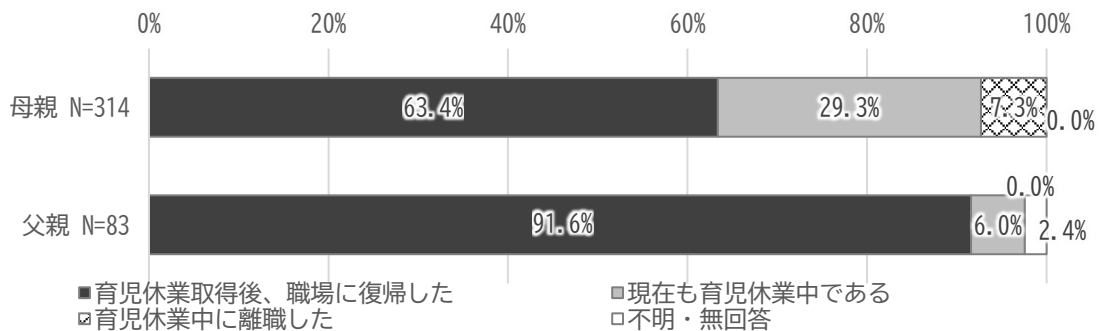
〔令和元年度〕調査



（１）で「取得した（取得中である）」を選んだ方

（１）－１ 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30－１〕

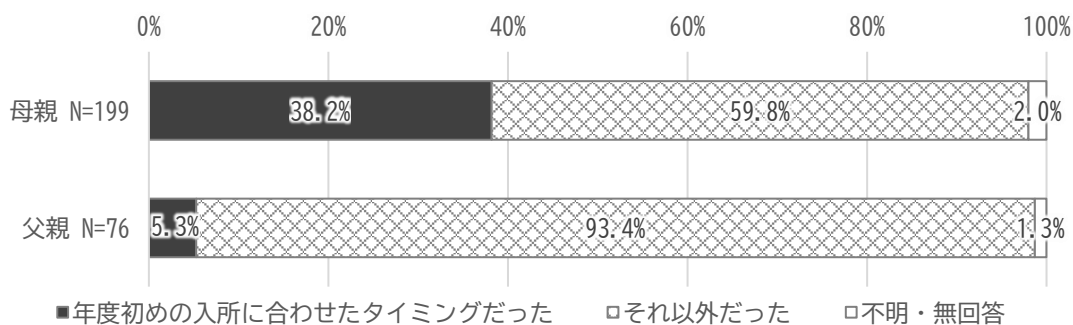
就学前児童で、育児休業取得後、職場に復帰したかについて、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が63.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が29.3%となっています。父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が6.0%となっています。



（１）－１で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

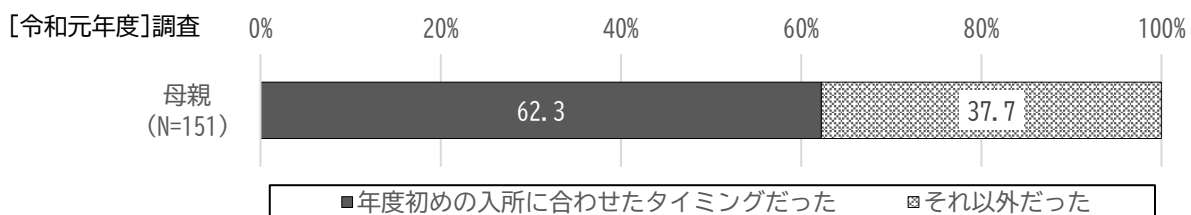
（１）－２ 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30－２〕

就学前児童で、職場復帰の時期が年度初めの保育所に合わせたかについて、母親は「それ以外だった」が59.8%と最も高く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が38.2%となっています。父親は「それ以外だった」が93.4%と最も高く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が5.3%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

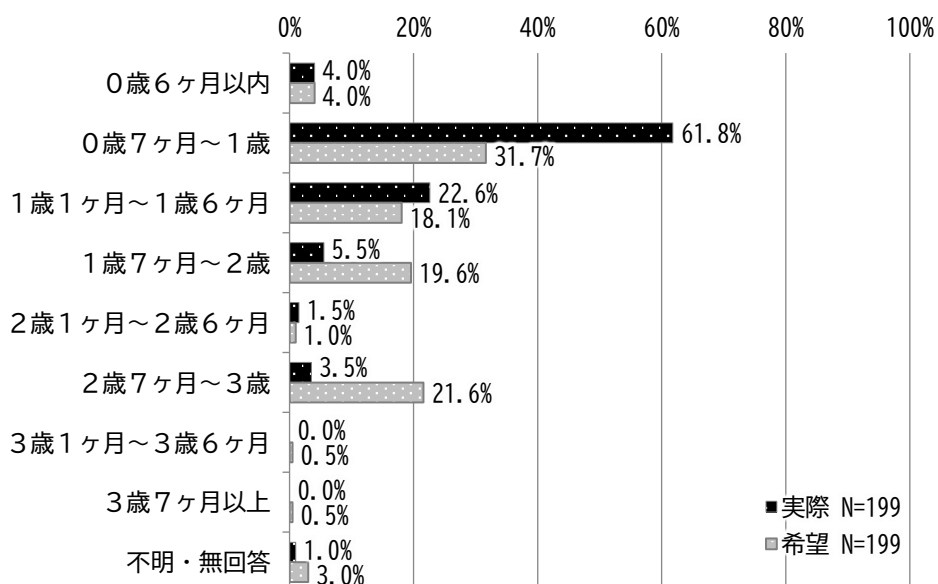
就学前児童の母親の令和5年度調査結果は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が低く、「それ以外だった」の割合が高くなっています。



(1) - 3 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 30 - 3〕

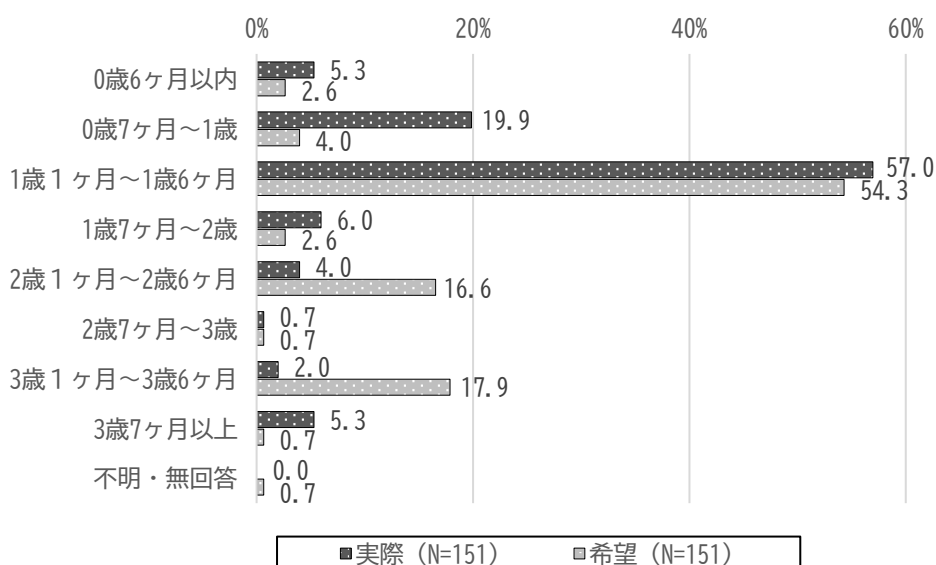
就学前児童で、育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについて、母親は、実際・希望ともに「0歳7ヶ月～1歳」が最も高くなっています。父親は、実際・希望ともに「0歳6ヶ月以内」が最も高くなっています。

【母親】

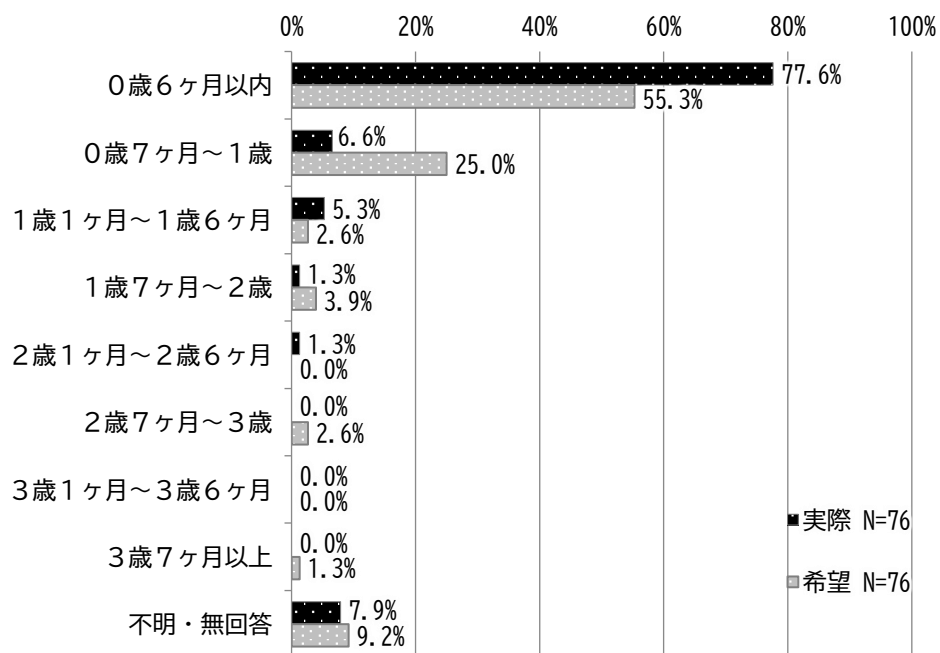


【令和元年度調査結果との比較】

母親の実際の令和5年度調査結果は「0歳7ヶ月～1歳」の割合が高く、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」の割合が低くなっています。母親の希望は「0歳7ヶ月～1歳」「1歳7ヶ月～2歳」「2歳7ヶ月～3歳」の割合が高く、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」「2歳1ヶ月～2歳6ヶ月」の割合が低くなっています。

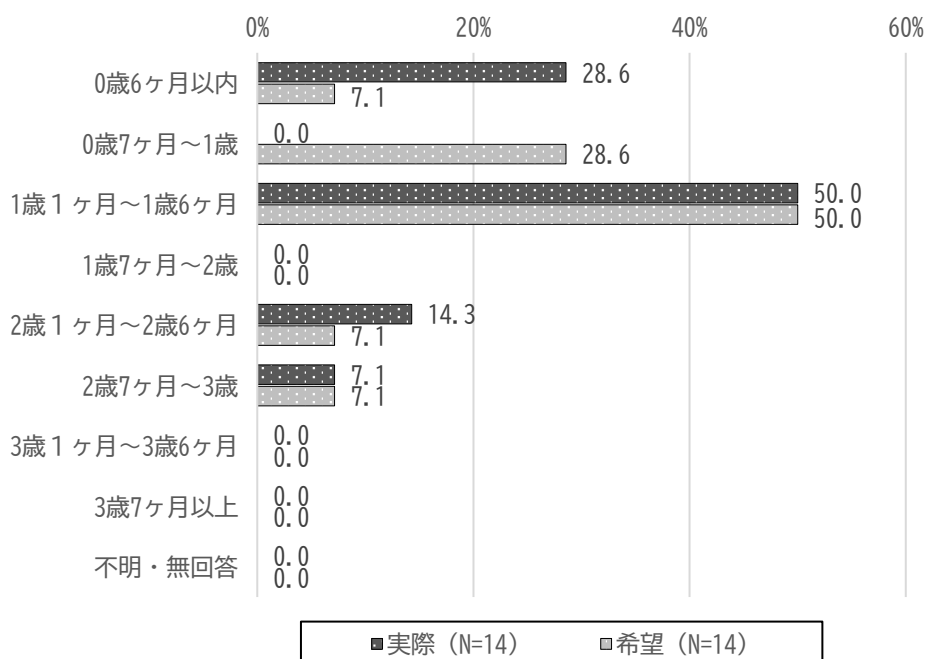


【父親】



【令和元年度調査結果との比較】

父親の実際の令和5年度調査結果は「0歳6ヶ月以内」の割合が高く、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」「2歳1ヶ月～2歳6ヶ月」の割合が低くなっています。父親の希望は、「0歳6ヶ月以内」の割合が高く、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」の割合が低くなっています。



(1) - 4 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉

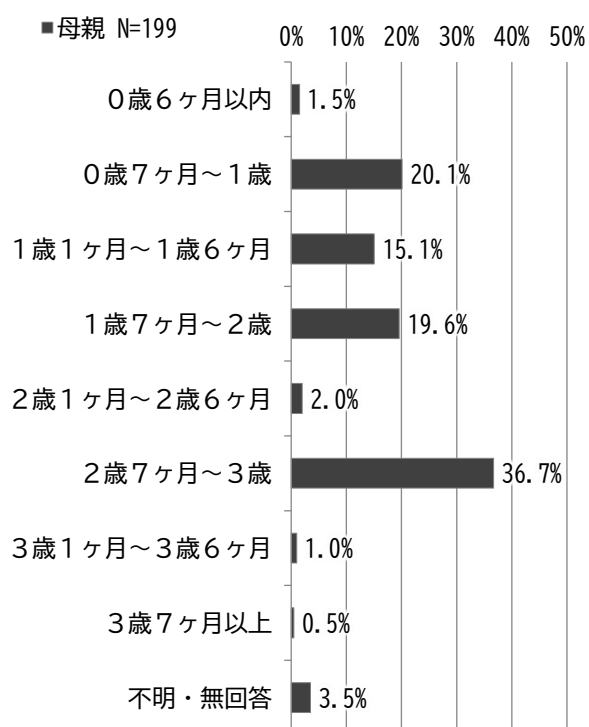
〔就学前児童調査…問30-4〕

就学前児童で、職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったかについて、母親は「2歳7ヶ月～3歳」が最も高くなっています。父親は「0歳6ヶ月以内」が最も高くなっています。

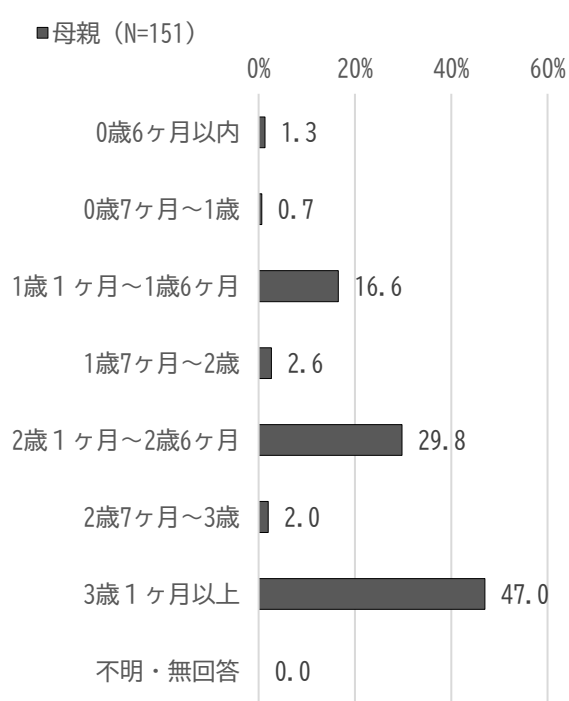
【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の母親の令和5年度調査結果は、「0歳7ヶ月～1歳」「1歳7ヶ月～2歳」「2歳7ヶ月～3歳」の割合が高く、「2歳1ヶ月～2歳6ヶ月」「3歳1ヶ月以上」の割合が低くなっています。

【母親】



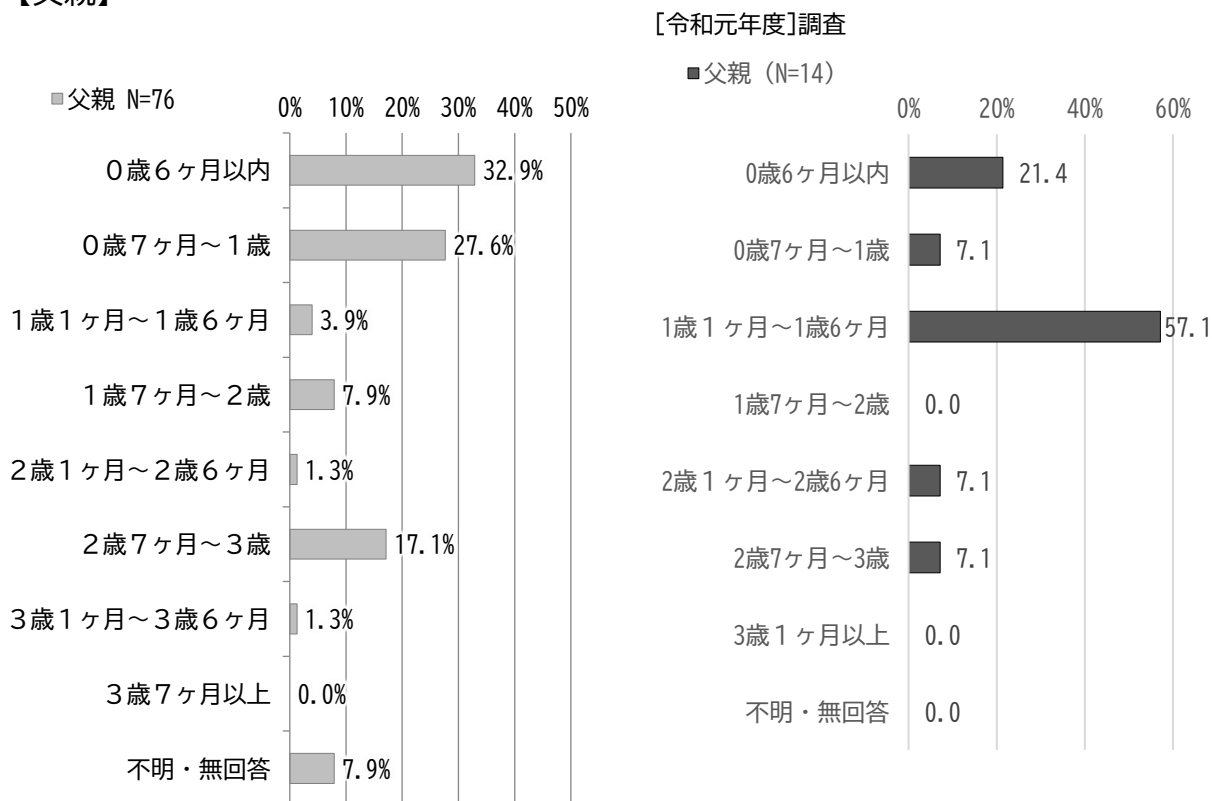
〔令和元年度〕調査



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の父親の令和5年度調査結果は、「0歳6ヶ月以内」「0歳7ヶ月～1歳」「2歳7ヶ月～3歳」の割合が高く、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」の割合が低くなっています。

【父親】



(1) - 3で実際の復帰と希望が異なる方

(1) - 5 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 30-5〕

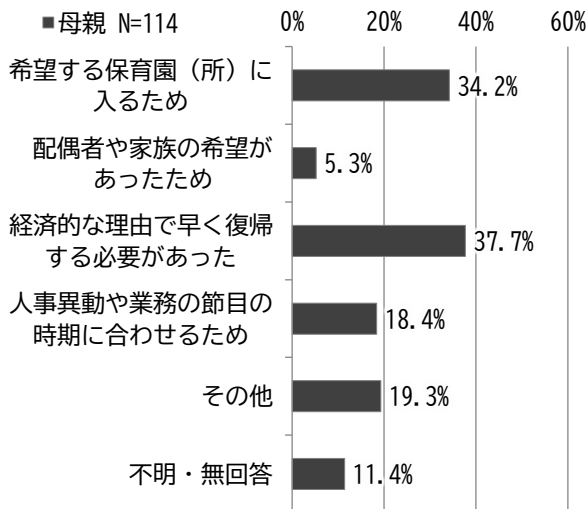
就学前児童で、育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由について、「希望」より早く復帰した母親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が37.7%(43件)と最も高くなっています。「希望」より遅く復帰した母親は「希望する保育園(所)に入れなかったため」が35.7%(5件)となっています。

【令和元年度調査結果との比較】

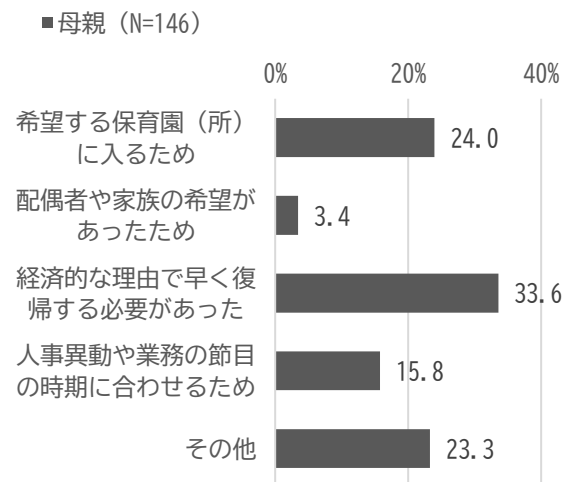
希望より早く復帰した母親の令和5年度調査結果は、「希望する保育園(所)に入るため」の割合が高く、希望より遅く復帰した母親は「子どもの成長を重視したため」の割合が低くなっています。

【母親】

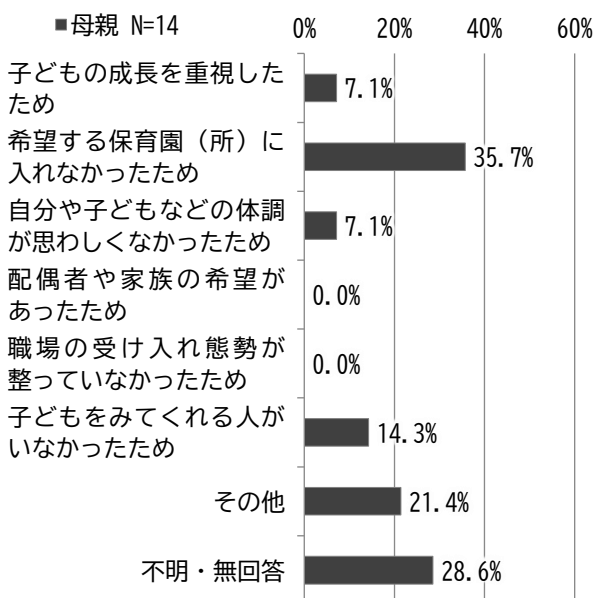
① 「希望」より早く復帰した方



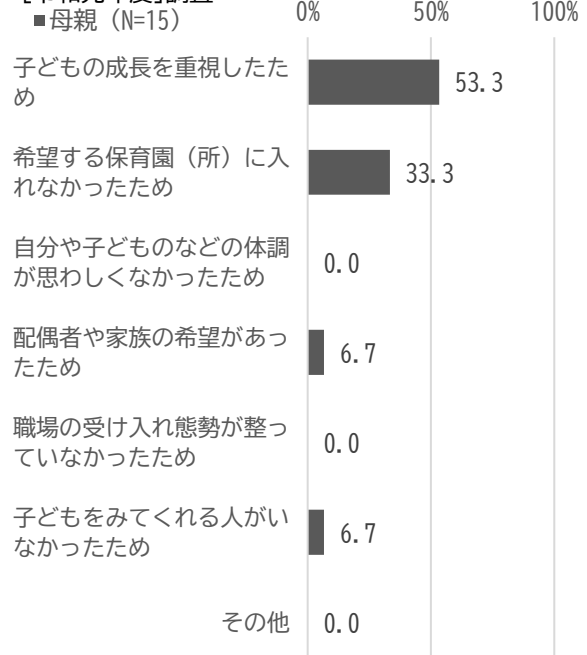
〔令和元年度〕調査



② 「希望」より遅く復帰した



〔令和元年度〕調査



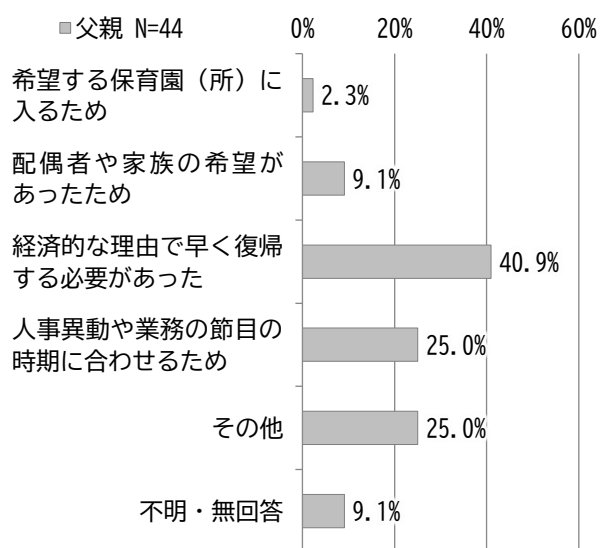
就学前児童で、育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由については、「希望」より早く復帰した父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が40.9%(18件)と最も高くなっています。「希望」より遅く復帰した父親は「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が33.3%(2件)となっています。

【令和元年度調査結果との比較】

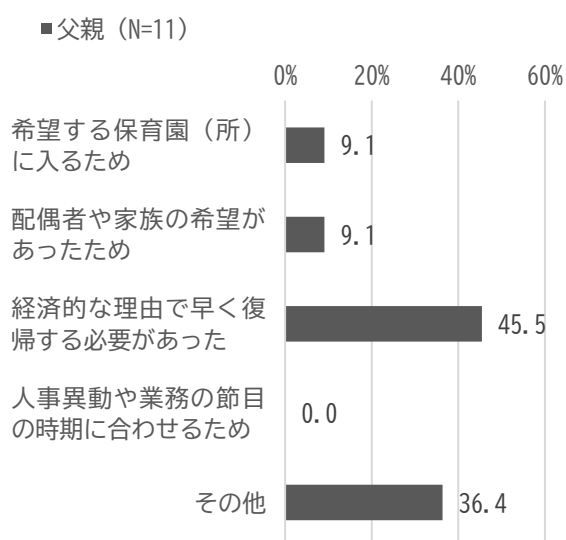
希望より早く復帰した父親の令和5年度調査結果は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が高くなっています。

【父親】

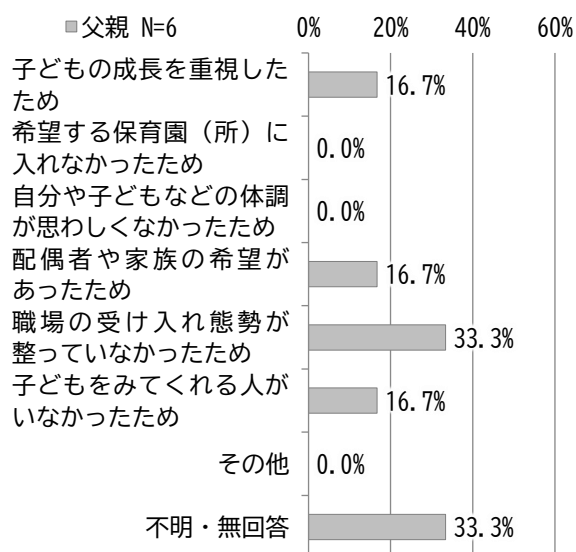
①「希望」より早く復帰した方



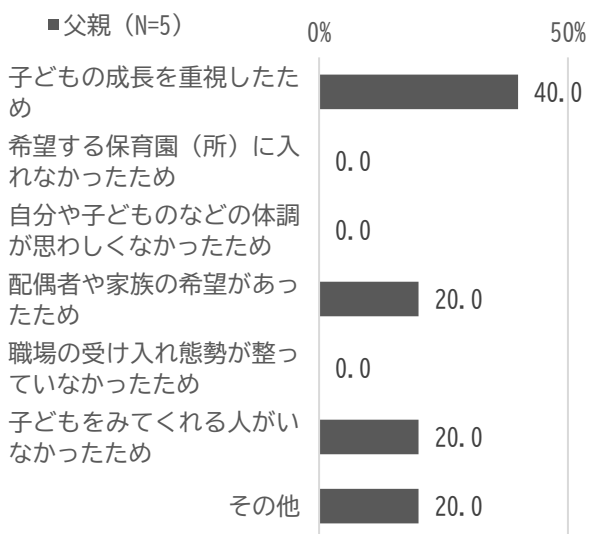
【令和元年度】調査



②「希望」より遅く復帰した



【令和元年度】調査

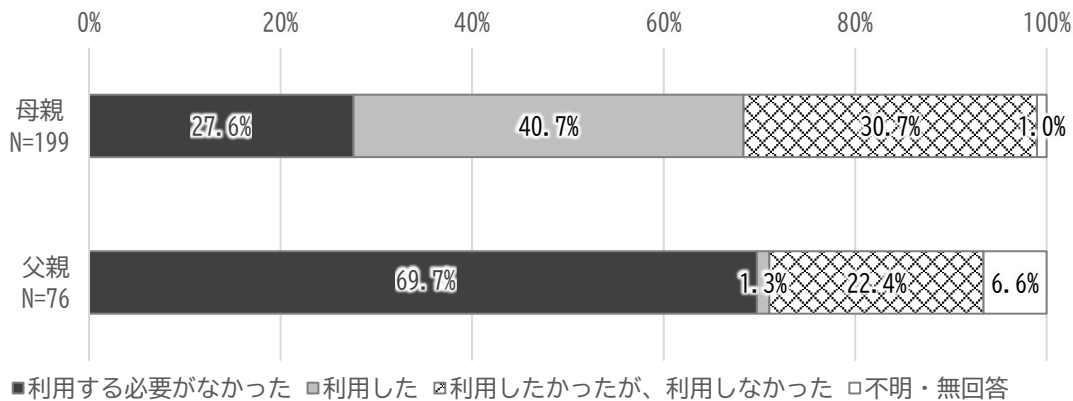


(1) - 1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(1) - 6 職場復帰時に、短時間勤務制度を利用したか〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 30 - 6〕

育児休業から職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかについて、母親は「利用した」が40.7%と最も高くなっています。父親は「利用する必要がなかった」が69.7%と最も高くなっています。

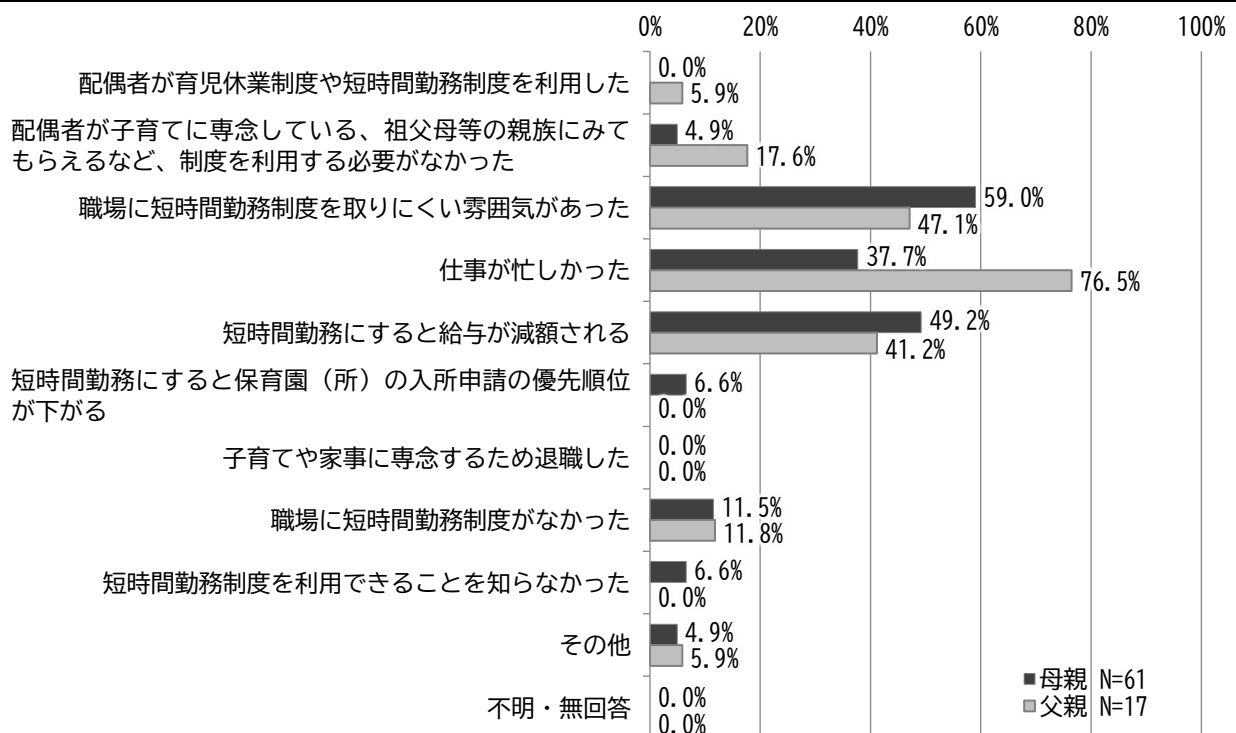


(1) - 6で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選んだ方

(1) - 7 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 30 - 7〕

就学前児童で、短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由について、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が59.0%(36件)と最も高くなっています。父親は「仕事が忙しかった」が76.5%(13件)と最も高くなっています。

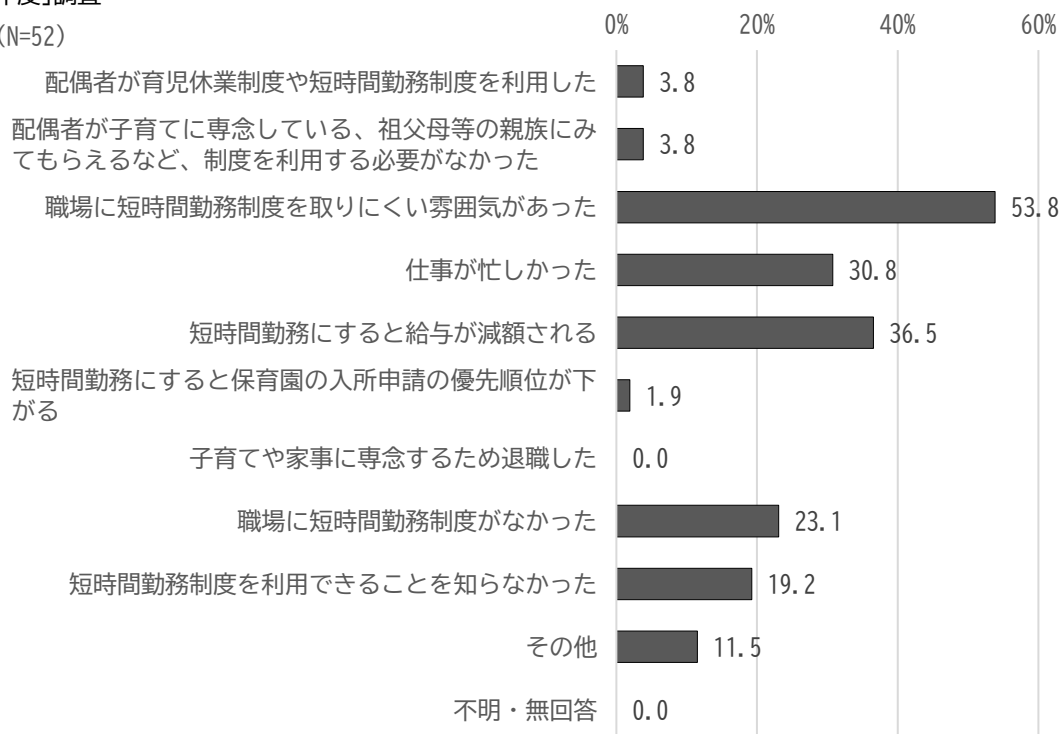


【令和元年度調査結果との比較】

母親の令和5年度調査結果は「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が高く、「職場に短時間勤務制度がなかった」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が低くなっています。

【令和元年度】調査

■母親（N=52）

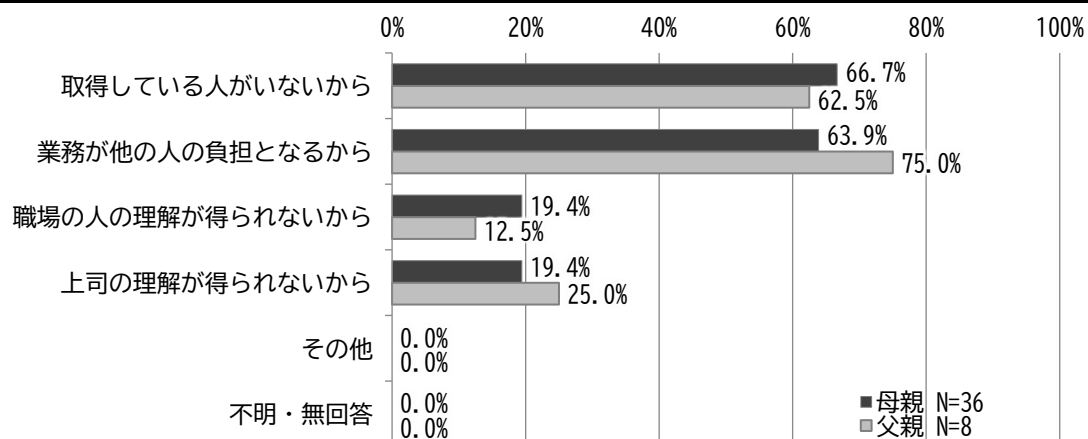


(1)-7で「職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」を選んだ方

(1) - 8 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 30-8〕

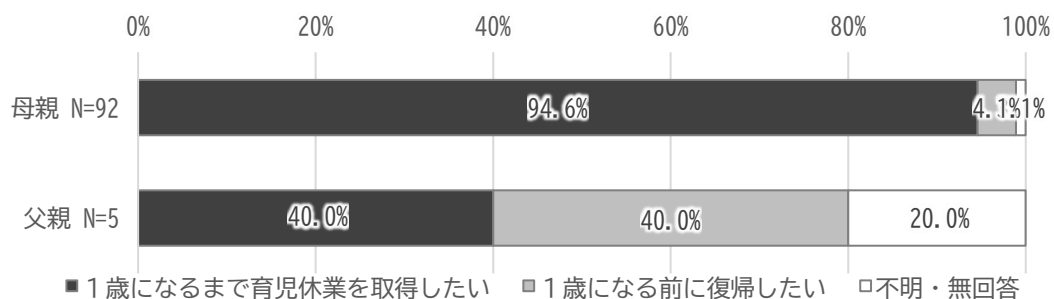
就学前児童で、職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由について、母親は「取得している人がいないから」が66.7%(24件)と最も高く、次いで「業務が他の人の負担となるから」が63.9%(23件)になっています。



(1) - 1で「現在も育児休業中である」を選んだ方

(1) - 9 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問30-9〕

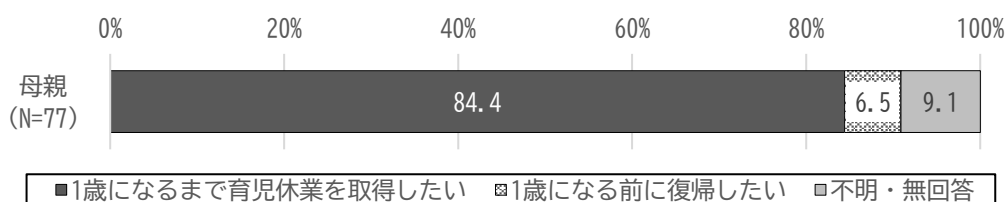
就学前児童で、現在も育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについて、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が94.6%(87件)と最も高く、父親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳になる前に復帰したい」がともに40.0%(2件)となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の母親の令和5年度調査結果は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が高くなっています。父親の前回の回答はなし。

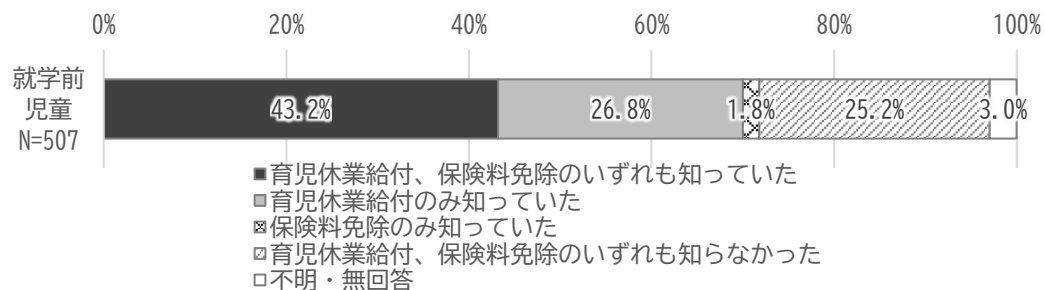
〔令和元年度〕調査



(1) -10 育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 30-10〕

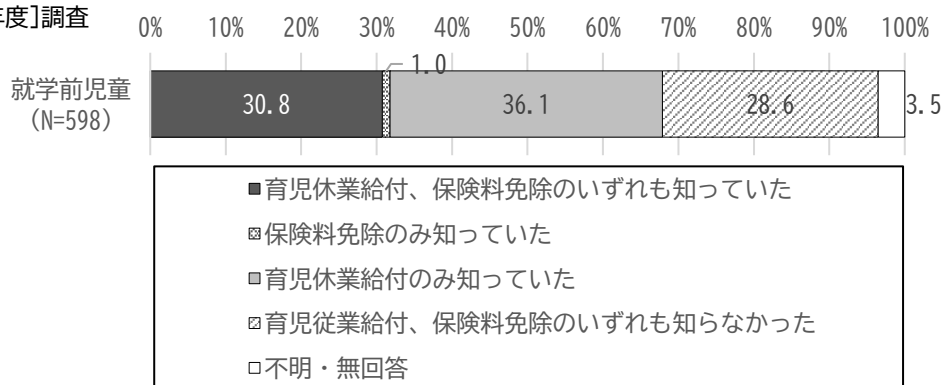
就学前児童で、育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度について、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が43.2%と最も高くなっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が高くなっています。

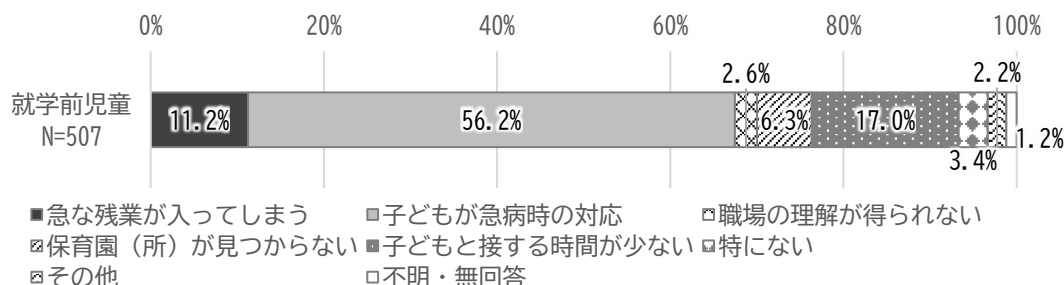
〔令和元年度〕調査



(1) -11 仕事と子育てを両立で困難だと感じること〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 30-11〕

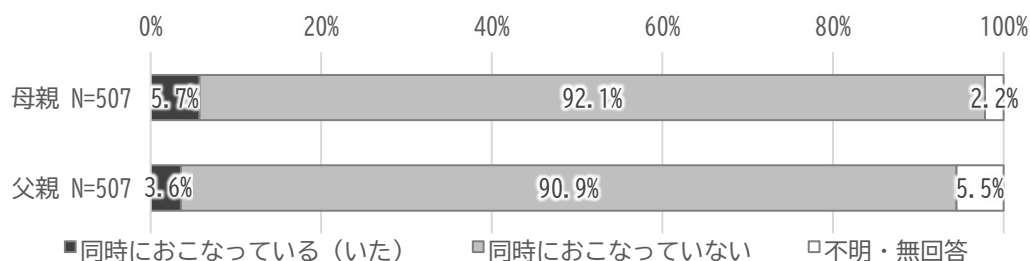
就学前児童で、仕事と子育てを両立する上で、大変だと感じることについて、「子どもが急病時の対応」が56.2%(285件)と最も高くなっています。



(1) -12 子育てと介護を同時に行っている(いた)ことがあったか〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 30-12〕

就学前児童で、子育てと介護を同時におこなっている(いた)かについて、母親、父親ともに「同時におこなっていない」が最も高くなっています。

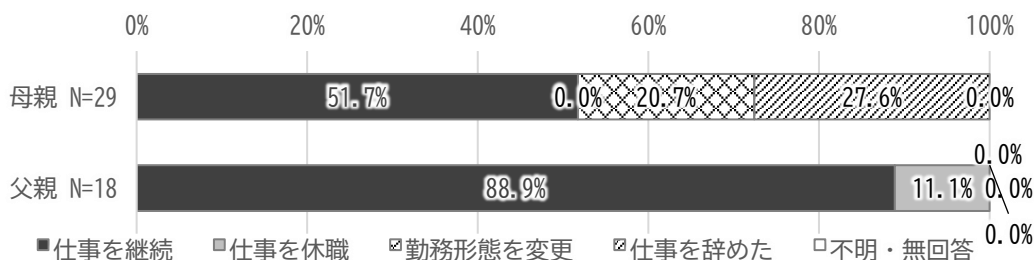


(1) -12で「同時におこなっている(いた)」を選んだ方

(1) -13 仕事について〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 30-13〕

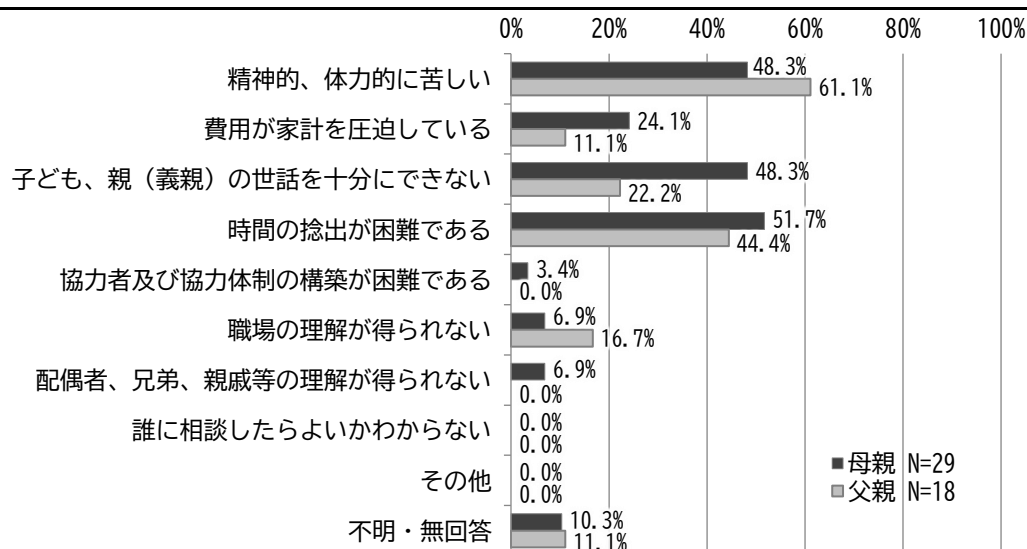
就学前児童で、子育てと介護を同時におこなっている(いた)方の仕事について、母親、父親ともに「仕事を継続」が最も高くなっています。



(1) - 12で「同時におこなっている(いた)」を選んだ方

(1) - 14 大変だと感じている(いた)事がったか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 30-14〕

就学前児童で、子育てと介護を同時におこなっている(いた)方の仕事について、母親では、「時間の捻出が困難である」が51.7%(15件)と最も高くなっています。父親は「精神的、体力的に苦しい」が61.1%(11件)と最も高くなっています。

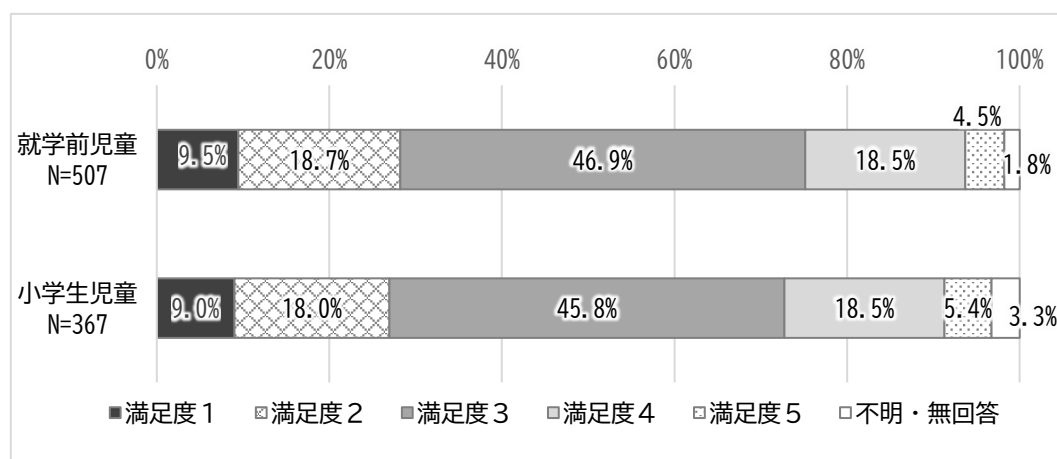


11 子育て支援対策について

(1) 居住地の子育ての環境や支援の満足度〈単数回答〉

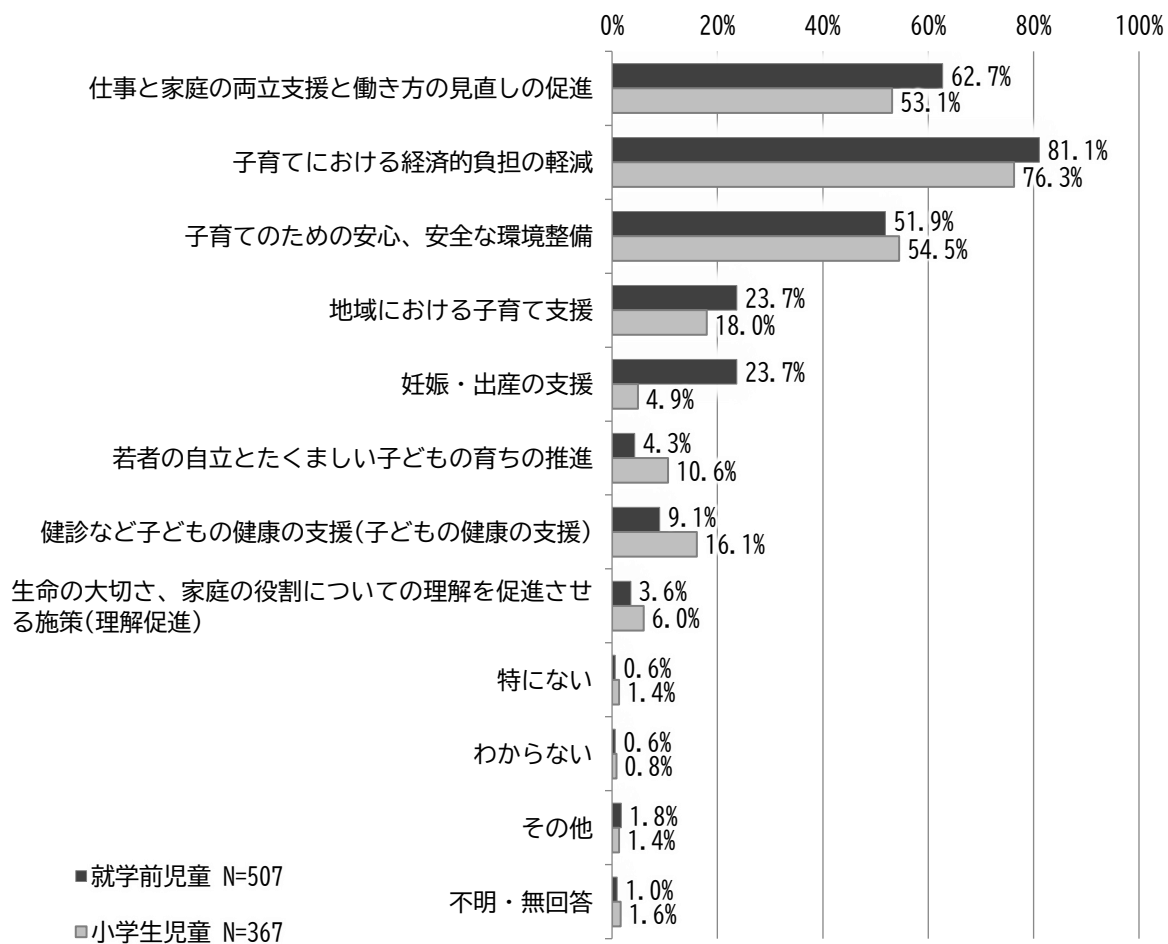
〔就学前児童調査…問 31、小学生児童調査…問 30〕

住んでいる地域における子育ての環境や支援への満足度について、「満足度が低い」（「満足度 1」と「満足度 2」の合計）が就学前児童で 28.2%、小学生児童で 27.0%、「満足度が高い」（「満足度 4」と「満足度 5」の合計）が就学前児童で 23.1%、小学生児童で 24.0%となっています。



（２）望ましい子育て支援施策〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 31－１、小学生児童調査…問 31〕

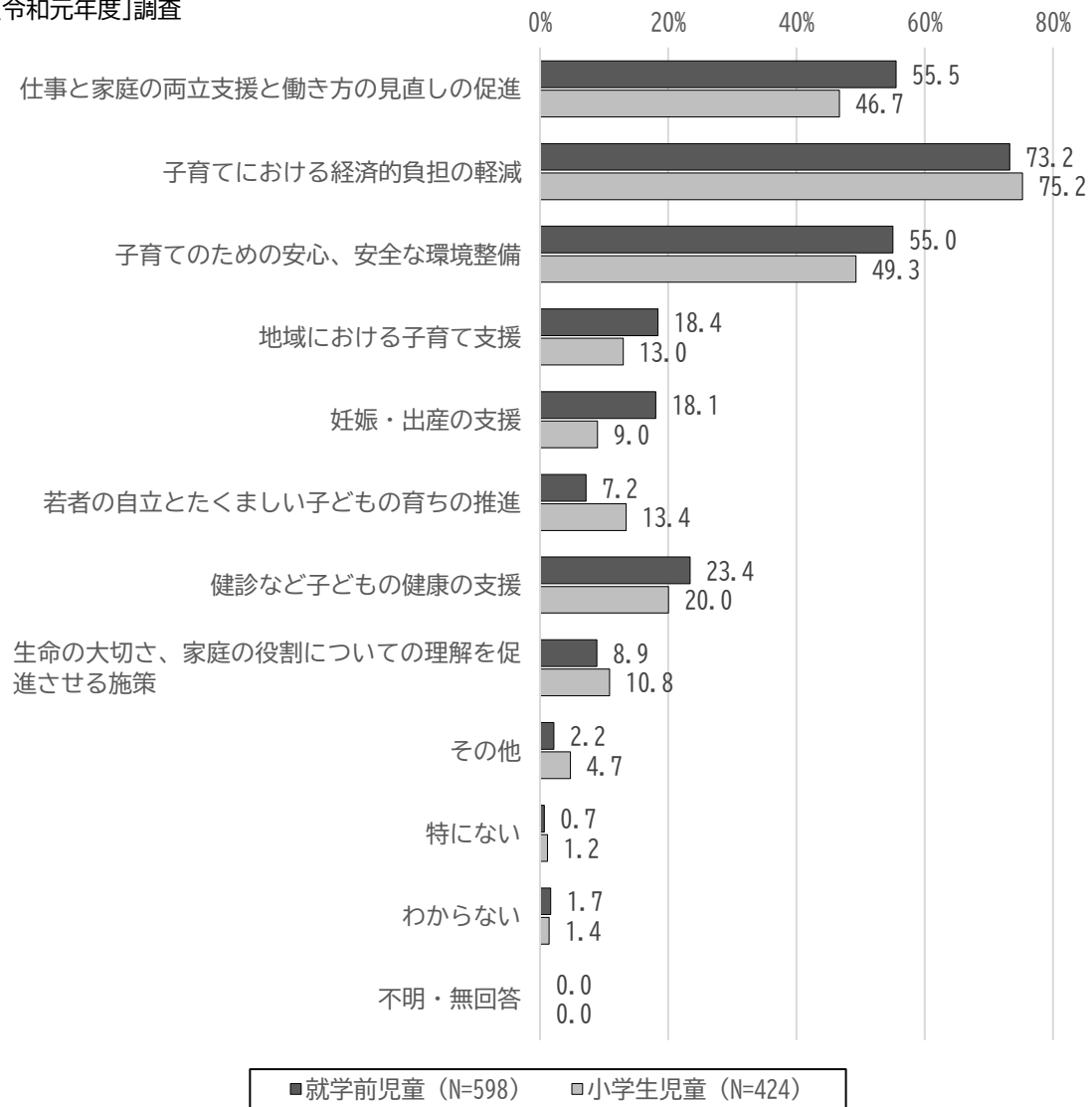
望ましい子育て支援施策について、「子育てにおける経済的負担の軽減」が就学前児童で 81.1%、小学生児童で 76.3%と最も高く、次いで就学前児童で「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が 62.7%、小学生児童が「子育てのための安心、安全な環境整備」で 54.5%となっています。



【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和５年度調査結果は、「健診など子どもの健康の支援(子供の健康の支援)」の割合が低くなっています。

[令和元年度]調査



(3) 子育てに必要な施策などの情報の入手方法〈複数回答〉

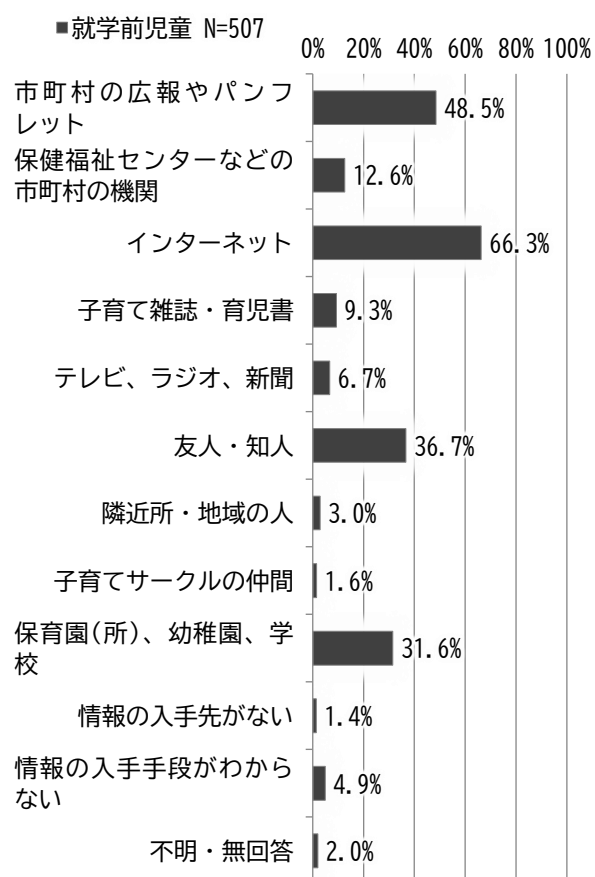
〔就学前児童調査…問31-2、小学生児童調査…問32〕

子育てに必要な施策などの情報をどのように入手しているかについて、就学前児童が「インターネット」で66.3%、小学生児童が「市町村の広報やパンフレット」で57.8%と最も高く、次いで、就学前児童で「市町村の広報やパンフレット」で48.5%、小学生児童で「インターネット」が52.3%となっています。

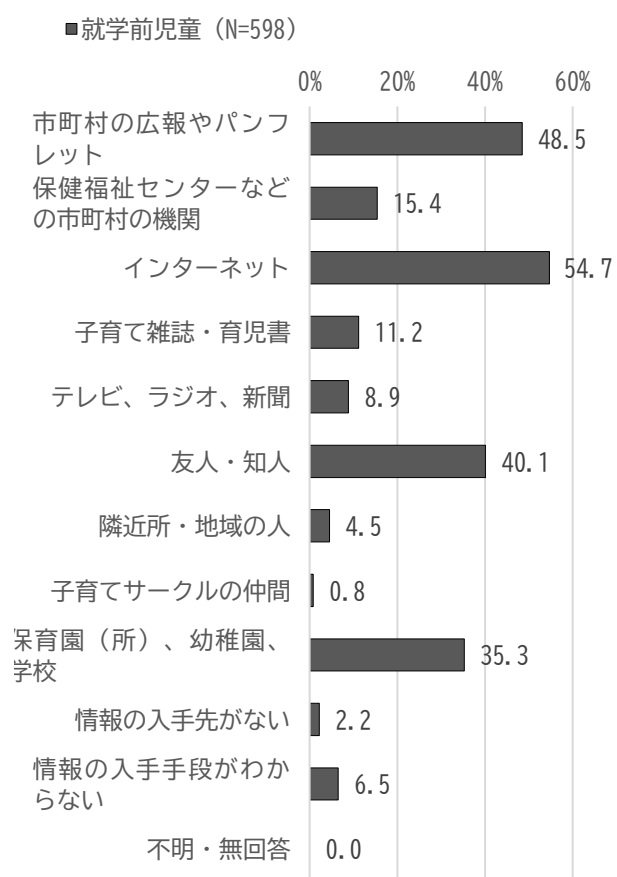
【令和元年度調査結果との比較】

就学前児童の令和5年度調査結果は、「インターネット」の割合が高くなっています。

〔就学前児童〕



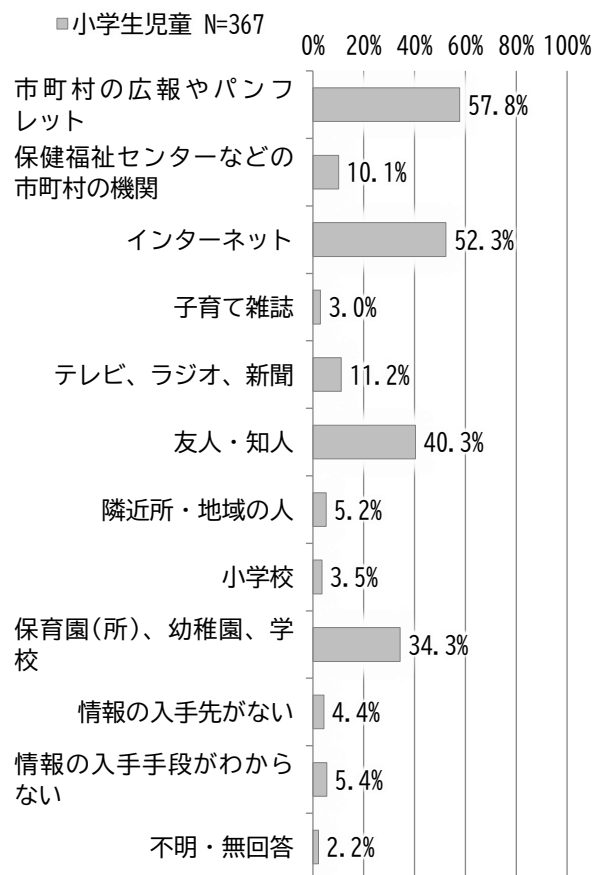
〔令和元年度〕調査



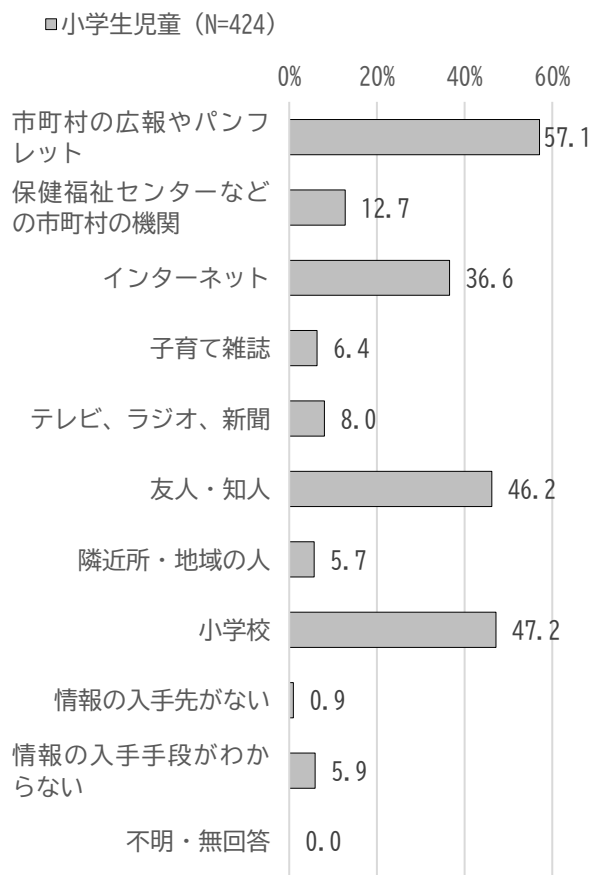
【令和元年度調査結果との比較】

小学生児童の令和5年度調査結果は、「インターネット」の割合が高くなっています。

[小学生児童]



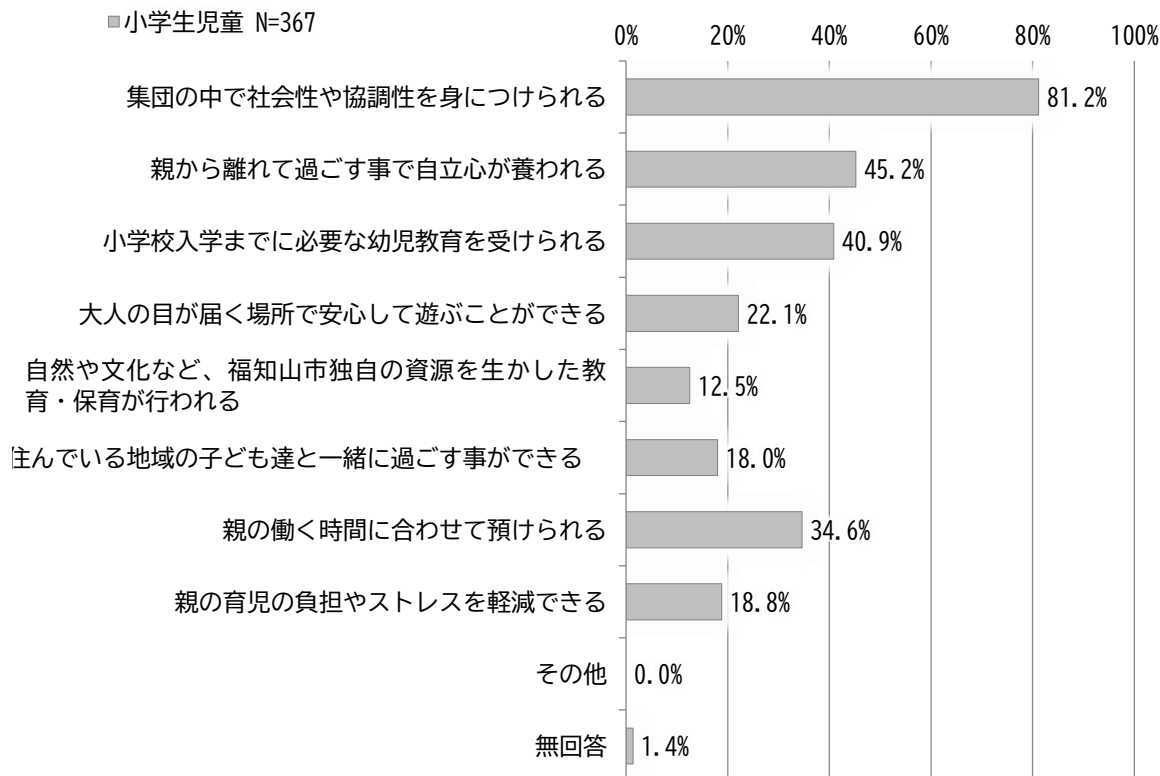
[令和元年度]調査



（４）乳幼児期の幼稚園・保育園（所）等の望ましいと思う役割〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 33〕

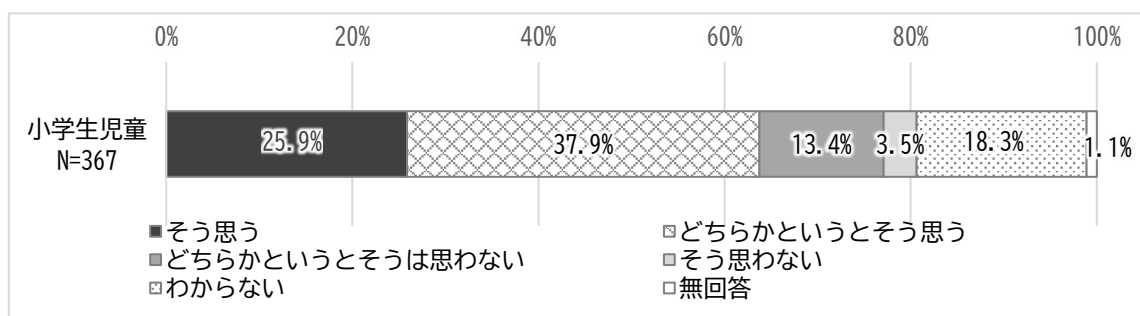
乳幼児期の幼稚園・保育園（所）等の望ましいと思う役割について、「集団の中で社会性や協調性を身につけられる」が81.2%と最も高く、次いで「親から離れて過ごす事で自立心が養われる」が45.2%となっています。



（５）これからも子どもに福知山市で育ってほしいと思うか〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 34〕

小学生児童で、これからも子どもに福知山市で育ってほしいと思うかについて、「そう思う」（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）が63.8%、「そう思わない」（「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計）が16.9%となっています。



福知山市 第二期子ども・子育て支援事業計画の策定に係る
子育てニーズアンケート調査
【結果報告書】

発行：福知山市役所 保健福祉部 子ども政策室

〒620-0035 京都府福知山市字内記 100 番地

TEL：(0773) 24-7011 FAX：(0773) 22-9073

令和6年7月
